
令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会

目 次

令和5年度事業実施概要	1
事業報告	
Ⅰ 地域福祉活動の推進	
Ⅰ－1 支え合う地域づくりの推進	3
Ⅰ－2 福祉サービス利用者の自立支援	31
Ⅰ－3 生活困窮世帯等の自立促進	38
Ⅱ 福祉人材の養成・確保	
Ⅱ－1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	46
Ⅱ－2 福祉人材の養成・資質の向上	61
Ⅲ 推進体制の充実・強化	
Ⅲ－1 社会福祉施設・団体等の活動促進	82
Ⅲ－2 法人運営の機能強化	91

令和5年度事業実施概要

社会福祉を取り巻く環境は、市町村を基盤とした地域福祉の推進が図られる一方で、国際情勢の不安定化や急速に進む少子高齢化等の影響により、物価高や担い手の不足、生活困窮世帯の増加や格差の拡大、人と人とのつながりの希薄化による孤立・孤独の問題など複雑かつ多様な生活・福祉課題が顕在化しています。

さらに、地域住民の福祉ニーズや生活課題が複合化、深刻化するなか、とりわけ高齢者等の困窮や住まい確保の困難さ、孤立・孤独問題等、従来の福祉の枠組みでは十分な対応が困難な課題を抱える人びとが増え、包括的な支援体制の構築が急がれています。

また、物価高などの厳しい社会経済情勢や人口減少により、福祉人材の確保はさらに困難さを増しています。

こうしたなか、地域福祉の中核的推進組織である県社協は、複雑化・複合化してきた福祉ニーズに的確に応えるために、「地域共生社会の実現」を基本理念に、「地域福祉活動の推進」、「福祉人材の養成・確保」、「推進体制の充実・強化」の3つの基本目標と7つの推進項目を掲げ、事業を推進してまいりました。

具体的な事業として、新型コロナ特例貸付の償還に当たって、生活に困窮している方々の早期支援のために市町村社会福祉協議会の相談支援体制を整備する「地域くらし・ささえあい事業」に新たに取り組むとともに、引き続き貸付の償還免除や償還猶予など償還事務を行い、適切な債権管理に努めてまいりました。

また、福祉・介護人材確保事業や介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業、介護の入門的研修事業の実施など介護未経験者や高齢者等の多様な人材の参入促進に取り組んだ他、介護ロボット相談窓口設置事業を実施し、介護ロボットの普及・促進を図ることで介護現場の負担軽減に取り組みました。

さらに、地域福祉について県民の関心と理解を深めるため、広報紙「ふくしのひろば」やホームページをリニューアルし情報発信の強化に努めました。

以上に加え、地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進、ボランティア活動の促進、福祉サービスの利用支援や苦情解決の推進、すこやか長寿社会づくり運動の推進等についても、関係機関・団体と連携を図りながら引き続き取り組みました。

なお、九州社会福祉協議会連合会の事務局として、7月の九州北部豪雨災害や令和6年1月に発生した能登半島地震への九州地区の社協職員の災害派遣等の調整を行うとともに、県ボランティアセンターとして、市町村社会福祉協議会と連携し、応援職員の派遣要請等に対応し、被災地の復旧・復興に寄与できるよう努めました。

事業報告

I 地域福祉活動の推進

I-1 支え合う地域づくりの推進		地域福祉部															
1	福祉コミュニティづくりの推進	所管部署															
<p>令和5年度事業計画</p> <p>(1) 地域福祉推進支援事業 ア 巡回指導及び研修会への職員派遣</p> <p>イ 市町村等への情報提供</p> <p>ウ コミュニティワーカー研修(2コース)の実施</p>		<p>事業実施概要等</p> <p>在宅福祉サービス・地域福祉活動展開についての実施手法の指導や近隣保健福祉ネットワーク、社協運営等について、訪問及び研修会等での指導援助を行った。 市町村社協巡回指導数：10回 研修会等への指導：11回（市町村社協等）</p> <p>① 地域福祉の分野で先駆的な活動として取り組まれている県内外の有益な情報を収集し、県下の地域福祉関係者に情報発信するとともに市町村で開催された在宅福祉アドバイザー等の研修会に反映させた。</p> <p>② 県内の地域福祉の一層の推進に資するため、県内外の先進的な地域福祉の取組事例や関連情報を収集・整理し、市町村社協等に情報提供を行った。92回（文書、ファックス、メール）</p>															
		<p>具体的成果等</p> <p>市町村社協ほか関係機関等に積極的に出向き、福祉活動の支援に資することができた。</p> <p>最新情報等を迅速に提供することで、市町村社協運営に関する情報共有につながった。</p> <p>地域福祉に携わるコミュニティワーカーが、講義・演習を通じて地域を基盤としたソーシャルワークの理念・進め方を学ぶことにより、必要とされる資質・技能の向上が図られた。</p>															
<table border="1"> <tr> <td>コース</td> <td>基礎編</td> <td>実践編</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>令和6年2月19日（月）10:30-12:00</td> <td>令和6年2月19日（月）13:00-16:30</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>県社会福祉センター別館 会議室</td> <td>県社会福祉センター別館 会議室</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>24人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <p>〈講義〉 コミュニティソーシャルワークについて 〈講師〉 鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 教授 茶屋道 拓哉 氏</p> </td> <td> <p>〈講義〉 実例から学ぶコミュニティソーシャルワークの技法 〈講師〉 鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 教授 茶屋道 拓哉 氏</p> </td> </tr> </table>			コース	基礎編	実践編	開催日	令和6年2月19日（月）10:30-12:00	令和6年2月19日（月）13:00-16:30	会場	県社会福祉センター別館 会議室	県社会福祉センター別館 会議室	参加者	24人	24人	内容	<p>〈講義〉 コミュニティソーシャルワークについて 〈講師〉 鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 教授 茶屋道 拓哉 氏</p>	<p>〈講義〉 実例から学ぶコミュニティソーシャルワークの技法 〈講師〉 鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 教授 茶屋道 拓哉 氏</p>
コース	基礎編	実践編															
開催日	令和6年2月19日（月）10:30-12:00	令和6年2月19日（月）13:00-16:30															
会場	県社会福祉センター別館 会議室	県社会福祉センター別館 会議室															
参加者	24人	24人															
内容	<p>〈講義〉 コミュニティソーシャルワークについて 〈講師〉 鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 教授 茶屋道 拓哉 氏</p>	<p>〈講義〉 実例から学ぶコミュニティソーシャルワークの技法 〈講師〉 鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 教授 茶屋道 拓哉 氏</p>															

<p>(2) 福祉コミュニティづくり事業 ア あんしん・安全ネット ク セミナーの開催</p>	<p>公的サービス、見守り及びサロン活動だけでは対応できない、地域住民の多様な生活課題に対応し“誰もが安心して安全な生活をおくれる地域社会”を作るという観点から、県内の先駆的な活動为例に、従来の小地域ネットワーク活動を核とした地域住民の幅広い生活課題に対応する新たな小地域福祉活動の展開方を協議することとを目的に、オンラインでセミナーを開催した。</p>	<p>各地域における住民主体の支え合いや社協・自治体の関わり方について幅広く共有することができた。また、オンラインで実施したことで、県内各地から多くの関係者の参加を得ることができた。</p>						
<table border="1"> <tr> <td>開催日・形式</td> <td>令和5年9月8日(金)・オンライン (ZOOM)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>696人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <p>(1) 開会挨拶 健康体操：座ったままできる簡単な体操 始良市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 迫間 朋子 氏</p> <p>(2) ふれあいいきいきサロン担当 竹田 麻衣 氏</p> <p>(3) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：薩摩川内市 藤川地区本保自治会 会長 久保 力 氏 肝付町 第1層生活支援コーディネーター 安藤 真一 氏 龍郷町 保健福祉課 主事 岩元 薫 氏 生活支援コーディネーター 龍宮 美智乃 氏</p> </td> </tr> </table>			開催日・形式	令和5年9月8日(金)・オンライン (ZOOM)	参加者	696人	内容	<p>(1) 開会挨拶 健康体操：座ったままできる簡単な体操 始良市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 迫間 朋子 氏</p> <p>(2) ふれあいいきいきサロン担当 竹田 麻衣 氏</p> <p>(3) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：薩摩川内市 藤川地区本保自治会 会長 久保 力 氏 肝付町 第1層生活支援コーディネーター 安藤 真一 氏 龍郷町 保健福祉課 主事 岩元 薫 氏 生活支援コーディネーター 龍宮 美智乃 氏</p>
開催日・形式	令和5年9月8日(金)・オンライン (ZOOM)							
参加者	696人							
内容	<p>(1) 開会挨拶 健康体操：座ったままできる簡単な体操 始良市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 迫間 朋子 氏</p> <p>(2) ふれあいいきいきサロン担当 竹田 麻衣 氏</p> <p>(3) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：薩摩川内市 藤川地区本保自治会 会長 久保 力 氏 肝付町 第1層生活支援コーディネーター 安藤 真一 氏 龍郷町 保健福祉課 主事 岩元 薫 氏 生活支援コーディネーター 龍宮 美智乃 氏</p>							
<p>イ サロン活動研究会の開催 (1回)</p>	<p>サロン活動を支援する関係者の資質向上、情報交換の場を提供することを通し、サロン活動の一層の普及・定着を図ることを目的に、「ふれあい・いきいきサロン研究会inかごま」を高年齢者サロンをテーマに開催した。 <期 日>：令和6年2月22日(木) <会 場>：かごま県民交流センター 1階 県民ホール他 <参加者>：216名 <内 容>：全体会 「高年齢者サロン活動事例紹介」 状況説明 鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 事例発表1 霧島地区 高千穂リゾート自治会 茶ロシ・リゾート 代表 竹永 克子 氏 副代表 桐野 美津代 氏 事例発表2 鹿屋市社会福祉協議会 地域福祉課 曾原 真継子 氏</p>	<p>各地域の事例発表や分科会を通じて、高年齢者サロンの活動を支援する関係者の資質向上が図られるとともに、有意義な情報交換の場を提供することができた。</p>						

1	福祉コミュニティづくりの推進	地域福祉部
令和5年度事業計画		具体的成果等
事業実施概要等		
<p>事例発表3 さつま町社会福祉協議会 地域福祉係 柳田 道輝 氏</p> <p>分科会 【第1分科会】高齢者サロンいどばた会議 進行：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 【第2分科会】スクエアステップ講座 講師：国立大学法人 鹿屋体育大学ホーツ生命科学系 教授 中垣内 真樹 氏</p> <p>【第3分科会】ペーパークラフト講座 講師：鹿児島県レクリエーション協会 指導員 徳永 孝子 氏 指導員 山元 圭子 氏</p>	<p>「地域共生社会の実現をめざして～とともに生きる豊かな地域社会づくり～」をテーマとして、地域福祉推進大会を開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和5年11月10日(金)</p> <p>〈会 場〉 川商ホール（鹿児島市民文化ホール）第1ホール</p> <p>〈参加者数〉 940人</p> <p>〈内 容〉</p> <p>① 式典（表彰）</p> <p>② 記念講演 演 題：「地域共生社会の実現をめざして～とともに生きる豊かな地域社会づくり～」 （講師）鹿児島国際大学 福祉社会学部 社会福祉学科 教授 高橋 信行 氏</p> <p>③ パネルディスカッション テーマ：「地域共生社会の実現に向けて～多様な参加・協働による地域の支え合い～」 （パネリスト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いちき串木野市社会福祉協議会 久木崎 祐一 氏 ・ 社会福祉法人天祐会 居宅介護支援センター・七福神 管理者 吉永 とも子 氏 ・ 細山田校区子ども食堂 代表者 上山 晴美 氏 （助言者） 	<p>永年にわたり地域福祉の発展に寄与された方々の表彰や地域福祉に関する記念講演及びパネルディスカッションの開催により、地域福祉を推進する社協や関係機関・団体等が、今後の地域福祉のあり方を考える機運の醸成につながった。</p> <p>また、幅広い関係機関から多数の参加を得ることができた。</p>
<p>(3) 地域福祉推進大会の開催</p> <p>ア 開催期日 令和5年11月10日(金)</p> <p>イ 場所 川商ホール （鹿児島市民文化ホール）</p> <p>ウ 内容 (ア) 永年地域福祉の発展に寄与された方々の表彰 (イ) 地域福祉の推進に関する講演 (ウ) 見守り活動等の実践報告</p> <p>エ 参加者数 1,200人程度</p>		

<p>(4) 県社会福祉協議会会長表彰事業 表彰審査会の開催（1回）</p>	<p>・鹿児島国際大学 福祉社会学部 社会福祉学科 教授 高橋 信行 氏</p> <p>永年，社会福祉の向上に貢献された個人と団体を表彰し，本県に おける社会福祉の一層の向上を図った。 なお，表彰は「地域福祉推進大会」において行った。</p> <p>〈表彰〉</p> <table border="0"> <tr><td>① 民生委員児童委員</td><td>16人</td></tr> <tr><td>② ホームヘルパー</td><td>12人</td></tr> <tr><td>③ 相談員</td><td>5人</td></tr> <tr><td>④ 社会福祉施設の長及び職員</td><td>104人</td></tr> <tr><td>⑤ 社会福祉事業関係団体の役員</td><td>38人</td></tr> <tr><td>⑥ 社会福祉事業関係団体</td><td>4団体</td></tr> <tr><td>⑦ ボランティア個人</td><td>16人</td></tr> <tr><td>⑧ ボランティアグループ・団体</td><td>7団体</td></tr> <tr><td>⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者</td><td>0人</td></tr> </table> <p>合計（191人,11団体）</p> <p>〈審査会〉 令和5年8月24日（木）開催</p>	① 民生委員児童委員	16人	② ホームヘルパー	12人	③ 相談員	5人	④ 社会福祉施設の長及び職員	104人	⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	38人	⑥ 社会福祉事業関係団体	4団体	⑦ ボランティア個人	16人	⑧ ボランティアグループ・団体	7団体	⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者	0人	<p>全体の表彰数は対前年度72.9%であり，民生委員・児童委員が対前年度45.7%（19人減），ホームヘルパーが対前年比85.7%（2人減），社会福祉施設の長及び職員が対前年度78.2%（29人減）となった。</p> <p>表彰は，永年にわたり社会福祉の充実発展に尽力された多くの福祉関係者の励みとなっている。</p>
① 民生委員児童委員	16人																			
② ホームヘルパー	12人																			
③ 相談員	5人																			
④ 社会福祉施設の長及び職員	104人																			
⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	38人																			
⑥ 社会福祉事業関係団体	4団体																			
⑦ ボランティア個人	16人																			
⑧ ボランティアグループ・団体	7団体																			
⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者	0人																			
<p>2 ボランティア活動の促進</p> <p>(1) 県ボランティアセンターの運営 県ボランティアコーディネーターの設置</p> <p>イ 県ボランティアセンター運営委員会の開催</p>	<p>県ボランティアセンター事業の推進を図るため，ボランティアコーディネーターを設置し，来所や電話でのボランティア相談や保険加入手続き等に対応したほか，主催事業の企画・実施，全社協や市町村社協が実施するボランティア関係講座及び研修等の場において運営支援や指導助言等を行った。</p> <p>また，令和5年7月大雨災害（福岡県久留米市）や令和6年能登半島地震（石川県）についても，県内応援職員の派遣調整や現地災害ボランティアセンターの運営支援に従事するなどした。</p> <p>県ボランティアセンター事業の適正な運営を図るため，運営委員会を次のとおり開催した。</p> <table border="0"> <tr><td>〈日〉</td><td>令和6年3月8日（金）</td><td>午前10時から午前11時30分まで</td></tr> <tr><td>〈会場〉</td><td>県社会福祉センター7階</td><td>第3会議室</td></tr> <tr><td>〈内容〉</td><td>委員長の選出</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>令和5年度事業実施状況について</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>令和6年度事業実施計画案について</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他（能登半島地震への対応状況等）について</td><td></td></tr> </table>	〈日〉	令和6年3月8日（金）	午前10時から午前11時30分まで	〈会場〉	県社会福祉センター7階	第3会議室	〈内容〉	委員長の選出			令和5年度事業実施状況について			令和6年度事業実施計画案について			その他（能登半島地震への対応状況等）について		<p>所管部署 ボランティアセンター</p> <p>多様な相談への対応や各種研修の企画及び実施，各団体が実施するボランティア講座等の支援を行うことを通して，ボランティアへの理解と関心を高めることにつながった。</p> <p>今後の適正なボランティアセンター運営にかかる貴重なご意見を運営委員からいただいたことができた。</p>
〈日〉	令和6年3月8日（金）	午前10時から午前11時30分まで																		
〈会場〉	県社会福祉センター7階	第3会議室																		
〈内容〉	委員長の選出																			
	令和5年度事業実施状況について																			
	令和6年度事業実施計画案について																			
	その他（能登半島地震への対応状況等）について																			

	<p>島市社協が設置する災害ボランティアセンターの設置運営訓練に対し、訓練資材の貸出し及び当日の運営支援を行った。 なお、訓練は感染拡大防止のため参加人数の制限が設けられ、この訓練には、鹿児島市社協と県社協のみの参加となった。</p> <p>〈日 時〉 令和6年1月13日（土） 午前9時00分から午後12時30分まで</p> <p>〈会 場〉 鹿児島市立名山小学校グラウンド</p> <p>〈参加者〉 30人（鹿児島市社協28人、県社協職員2人）</p> <p>〈内 容〉 鹿児島市災害ボランティアセンター設置・運営訓練 鹿児島市社協職員を中心に、災害ボランティアセンターでのボランティア受付、オリエンテーション、マッチング、被災者ニーズの聞き取り、活動報告等の一連の模擬動作を行い、使用資材やスタッフの動きなどについて確認した。 なお、今回初めてQRコード読み込みによるボランティア受付と活動報告を取り入れた訓練を行った。</p>	<p>ードによるボランティア受付と活動報告が効果的であることと理解が関係者に周知できた。 参加者数：対前年度 10人増</p>
<p>才 指導・連絡・研修</p>	<p>① 市町村ボランティアセンター等への個別支援等</p> <p>ア 市町村社協等が実施する市民向けのボランティア講座や福祉教育に関する講座、行政機関や教育機関等からの要請による講義及び助言等を次のとおり行った。 〔講座等支援回数〕 地区社協連協及び市町村社会福祉協議会 16回 その他（学校や地域包括支援センター等） 4回 計20回</p> <p>イ 市町村社協による災害支援体制構築に向けた支援等 市町村社協等の災害支援体制強化の一環として、青年会議所との応援協定締結を推進してきており、枕崎市社協と枕崎青年会議所の協定が令和5年5月24日（水）に締結されたことから、これをもってすべての青年会議所との協定が完了した。</p> <p>② 全国社会福祉協議会（全社協）及び九州社会福祉協議会連合会（九社連）の主催会議等への参加（下線付きはオンライン会議） <u>(7) 都道府県・指定都市社協ボランティア・市民活動センター所長・担当者会議（全社協）</u> <u>(イ) 都道府県・指定都市社協福祉教育担当者会議（全社協）</u> <u>(ウ) 社協の災害支援体制と活動強化に関する会議（全社協）</u> <u>(エ) 市区町村災害ボランティアセンター運営者研修会指導者養成研修（全社協）</u></p>	<p>前年度より多くの指導要請に応えられた。 ・指導回数：対前年度 2回増</p> <p>オンラインの活用により会議や研修参加の機会を確保できたことで、最新の情勢や情報等の収集につながった。</p>

2 ボランティア活動の促進	事業実施概要等	所管部署	ボランティアセンター																			
令和5年度事業計画	<p>(ホ) 九州各県・指定都市社会福祉協議会業務部課長会議（九社連）</p>	<p>具体的成果等</p>																				
<p>カ 被災地支援ほか災害対応関連の取組</p>	<p>九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、福岡県久留米市災害ボランティアセンターに対して、市町村社協と連携し、次のとおり運営支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="486 607 783 1615"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>期間</th> <th>派遣人員</th> <th>派遣人員の内訳</th> <th>主な業務等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">久留米市災害VC</td> <td>7/28 ～7/31</td> <td>4人</td> <td>市町村社協 2人(阿久根市) 県社協 2人</td> <td rowspan="4">災害VCの運営支援 (ニース調査班)</td> </tr> <tr> <td>8/3 ～8/6</td> <td>4人</td> <td>市町村社協 2人(鹿児島市、薩摩川内市) 県社協 2人</td> </tr> <tr> <td>8/16 ～8/20</td> <td>3人</td> <td>市町村社協 2人(薩摩川内市、始良市) 県社協 1人</td> </tr> <tr> <td>8/24 ～8/28</td> <td>3人</td> <td>市町村社協 2人(いちき串木野市、肝付町) 県社協 1人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先	期間	派遣人員	派遣人員の内訳	主な業務等	久留米市災害VC	7/28 ～7/31	4人	市町村社協 2人(阿久根市) 県社協 2人	災害VCの運営支援 (ニース調査班)	8/3 ～8/6	4人	市町村社協 2人(鹿児島市、薩摩川内市) 県社協 2人	8/16 ～8/20	3人	市町村社協 2人(薩摩川内市、始良市) 県社協 1人	8/24 ～8/28	3人	市町村社協 2人(いちき串木野市、肝付町) 県社協 1人	<p>大規模自然災害で被災した地域の復旧・復興は寄与することができた。</p>	
派遣先	期間	派遣人員	派遣人員の内訳	主な業務等																		
久留米市災害VC	7/28 ～7/31	4人	市町村社協 2人(阿久根市) 県社協 2人	災害VCの運営支援 (ニース調査班)																		
	8/3 ～8/6	4人	市町村社協 2人(鹿児島市、薩摩川内市) 県社協 2人																			
	8/16 ～8/20	3人	市町村社協 2人(薩摩川内市、始良市) 県社協 1人																			
	8/24 ～8/28	3人	市町村社協 2人(いちき串木野市、肝付町) 県社協 1人																			
<p>(2) 福祉教育推進事業 ア 児童・生徒のふれあいボランティア活動啓発促進事業の推進</p>	<p>地域における児童・生徒の様々なボランティア活動にスタンプを付与し、スタンプが一定量貯まると活動認定証を交付する取り組みを普及啓発するため、スタンプを700個、カードを小学校用10,000枚と中学校・高校用20,000枚作成し、実施入市町村社協へ配布した。また、未導入の市町村社協へ導入を促すための働きかけを随時行うとともに、この事業の担当者を対象にした連絡会を開催した。</p> <p>① 導入促進 延べ8市町村の社協や教育委員会、小中高校等への訪問し事業説明を行ったほか、未導入の3市町村社協へ電話等による働きかけを行った結果、新たに大和村社協が導入を決め、令和5年度中に事業を開始した。</p> <p>② 担当者オンライン連絡会 〈日 時〉令和6年2月15日(木) 午前10時から午前11時50分まで 〈参加社協〉導入社協 23カ所、参加者数 35人</p>	<p>導入促進に向けて積極的に働き掛けたことで、この事業を導入する社協が37社協から38社協に増えた。</p> <p>既導入社協（37社協）</p> <p>鹿児島市、薩摩川内市、伊佐市、垂水市、日置市、南さつま市、南大隅町、始良市、志布志市、さつま町、霧島市、西之表市、龍郷町、伊仙町、天城町、喜界町、肝付町、鹿屋市、湧水町、南九州市、阿久根市、曾於市、中種子町、南種子町、出水市、奄美市、錦江町、屋久島町。</p>																				

<p>イ 大学・短大生等ボランティア活動連携促進事業の推進</p>	<p>〈内容〉 事業説明：ボランティア活動の意義と役割について 講師：県社協ボランティアセンター推進員 事例発表：南九州市社協 意見交換会：他機関との連携、住民への広報啓発及び他事業との連携のあり方、この事業における始業前・放課後（学校内）の取扱いについて ま と め：県社会福祉課、ボランティアセンター</p> <p>③ 活動認定証の交付状況（単位：延べ人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>義務学校</th> <th>高校生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度までの累計 A</td> <td>5,531</td> <td>371</td> <td>14</td> <td>366</td> <td>6,282</td> </tr> <tr> <td>令和5年度実績 B</td> <td>918</td> <td>42</td> <td>8</td> <td>55</td> <td>1,023</td> </tr> <tr> <td>交付総数 (A+B)</td> <td>6,449</td> <td>413</td> <td>22</td> <td>421</td> <td>7,305</td> </tr> </tbody> </table>	区分	小学生	中学生	義務学校	高校生	合計	前年度までの累計 A	5,531	371	14	366	6,282	令和5年度実績 B	918	42	8	55	1,023	交付総数 (A+B)	6,449	413	22	421	7,305	<p>長島町, 瀬戸内町, 徳之島町, 和泊町, 知名町, 与論町, 大崎町, 東串良町, 宇検村</p> <p>新規導入社協（1社協）</p> <p>大和村</p>
区分	小学生	中学生	義務学校	高校生	合計																					
前年度までの累計 A	5,531	371	14	366	6,282																					
令和5年度実績 B	918	42	8	55	1,023																					
交付総数 (A+B)	6,449	413	22	421	7,305																					
<p>イ 大学・短大生等ボランティア活動連携促進事業の推進</p>	<p>県内の大学・短大生を対象にボランティア活動機会の創出や活動活性化、大学・短大の枠を超えた連携・協働の促進を図るため、次の2つの取り組みを行った。</p> <p>① 大学・短大ボランティア支援担当職員連絡会 大学・短大生のボランティア活動の活性化を図るため、各大学・短大ボランティア支援担当職員との情報交換を次のとおり開催した。</p> <p>〈日時〉 令和5年8月30日（水）午後2時から午後4時 〈会場〉 県社会福祉センター7階 大会議室 〈内容〉 当センターからの活動報告等 イ 大学からの情報提供（学生の動向やボランティア活動状況等） ウ ボランティアワールドの運用に向けた説明と質疑応答</p> <p>〈参加大学〉 鹿児島大学、鹿児島純心大学、志学館大学、鹿児島立短期大学、鹿児島純心女子短期大学、第一幼児教育短期大、鹿児島体育大学、鹿児島国際大学、第一工科大学、鹿児島女子短期大学 計 10大学から10人（全校）</p>	<p>ボランティアワールド開設準備検討会協力メンバーによるブレゼンもあり、開設後の広報・周知への学校からの協力についても快諾を得ることができた。</p>																								

2	ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
令和5年度事業計画		事業実施概要等	
<p>② ボランティアワールドの開設 県内の大学・短大生が自発的にボランティア活動に取り組むきっかけと定着を図るため、ボランティアワールド（SNSを活用した参加しやすい仕組みと環境）の令和6年度中の本運用に向けた準備に取り組んだ。</p> <p>ア 開設ワーキングチームの設置 大学・短大生の参加しやすい仕組みや環境づくりなど具体的な作業を行うため、開設準備ワーキングチームを設置した。 （メンバー）4人（鹿児島大学1人、鹿児島国際大学2人、鹿児島県立短期大学1人）</p> <p>〈活動内容〉① SNS（Instagram）によるエントリーの仕組みや掲載内容等の設計、広報チラシ案作成等（3回） ② 大学・短大等ボランティア支援担当職員連絡会でのプレゼンテーション（1回） ③ 大学・短大（学生課等）への訪問による広報 ④ 令和5年9月に受入登録団体（子ども食堂や福祉施設等）の募集開始 ⑤ 令和5年10月から試行版による試行運用の開始と学生のエントリー開始</p> <p>イ 運用実績 ①（13団体） ② 学生エントリー数（6人）</p>		<p>ワーキングチームに学生の参加を得たことで、学生が多く利用するSNS媒体や好みやすい情報入手方法など、学生目線の「ボランティアワールド」づくりができた。</p>	
<p>ウ 福祉教育推進セミナー等の開催 （7）福祉教育サポーターセミナー（1回） （4）福祉教育推進セミナー（1回） （介護実習・普及センターとの共管事業）</p>		<p>住民主体の福祉の学びや取り組みの広がりをねらった「福祉教育サポーターセミナー」と学校での福祉教育・ボランティア体験学習の広がりをねらった「福祉教育推進セミナー」に分けて実施したことで、対象者の違いによる取組手法やテーマ設定等の違い・留意点などが明確になり、取組み方への理解がより深まった。</p>	

	<p>〈日 時〉 令和5年6月23日（金） 午後1時30分から午後4時30分まで</p> <p>〈参加者〉 110人（市町村社協職員，市町村福祉担当職員，市町村教育委員会職員，民生委員児童委員等）</p> <p>〈内 容〉</p> <p>ア 説 明：「福祉教育推進員の役割と機能について」 ～プラットフォームの構築について～ 説明者：県社協ボランティアセンター 推進員</p> <p>イ 事例紹介1：「ハートプロジェクトを活用したタレント派遣」 ～わいわい福祉ひろばの運営を通して～ 発表者：大分県中津市社協 地域福祉課長 吉田瑞穂 氏 同 上 ボランティアコーディネーター 越原美樹 氏</p> <p>ウ 事例紹介2 「住民主体の地域福祉の実践」 ～地域共生社会の実現に向けた社協の果たすべき役割～ 発表者：宮崎県日向市社協 地域福祉課長 梅田大介 氏 同 上 主 事 加藤正憲 氏</p> <p>エ 質疑応答及び意見交換</p>	
	<p>② 福祉教育推進セミナー（集合型） このセミナーは，教職員や幅広い福祉関係者を対象に，学校と多様な地域の関係者による福祉教育の推進や連携のあり方などを具体的に学ぶ機会として次のとおり開催した。 なお，鹿児島県総合教育センター主催のボランティア・福祉教育短期研修講座受講生（教員）も参加して一緒に学習した。</p> <p>〈日 時〉 令和5年11月22日（水）午後1時30分から午後4時40分まで</p> <p>〈場 所〉 かごしま県民交流センター 大研修室 第4</p> <p>〈参加者〉 43人（市町村社協職員，市町村教委，市町村福祉担当職員，小中高校教職員，民生委員・児童委員等）</p> <p>〈内 容〉</p> <p>ア 事例発表1 「地域で育む福祉教育の推進について」 発表者：南大隅町社協 地域福祉係主任 大竹野佑介 氏</p> <p>イ 事例発表2 「鹿児島大学附属小での福祉教育の取り組み」 ～総合的な学習の時間の実践を通して～ 発表者：鹿児島大学附属小学校 教諭 砂野優樹 氏 同 上 5，6年生児童</p>	<p>福祉教育推進セミナーについては，県総合教育センターと連携したことで，教職員からも多数の参加につながり，学校での福祉教育の広がりの足がかりとなった。</p>

2	ボランティア活動の促進 令和5年度事業計画	ボランティアセンター 所管部署	ボランティアセンター 具体的な成果等
	<p style="text-align: center;">事業実施概要等</p> <p>ウ 講 演 「福祉教育が生み出すもの ～サービス・ラーニングが生成するつながり、変容～」 講 師：東海大学健康学部 准教授 市川享子 氏 エ 質 疑 応 答 及 び 意 見 交 換 オ 事 業 説 明 「介 護 実 習 ・ 普 及 セ ン タ ー の 業 務 に つ い て」 説 明 者： 介 護 実 習 ・ 普 及 セ ン タ ー 職 員</p> <p>③ その他（全社協との連携による福祉教育関係事業） ア 全 国 福 祉 教 育 推 進 員 研 修 鹿 児 島 会 場（全 社 協 か ら の オ ン ラ イ ン 講 義 と 現 地 会 場 の 併 用） 「令和5年度全国福祉教育推進員研修」に係る鹿児島県域 分の演習プログラムの運営及び指導を担った。</p> <p>〈日 時〉 令和5年8月10日（水） 午前10時から午後5時まで 〈会 場〉 県社会福祉センター7階 第3会議室 〈受 講 決 定 数〉 肝付町1人、南さつま市1人、薩摩川内市1人、 錦江町1人、日置市1人の計5人 〈修 了 者 数〉 上記と同じ 〈内 容〉 開 会 式 ・ オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 演 習 1 「福 祉 教 育 プ ロ グ ラ ム を 磨 く」 演 習 2 「福 祉 教 育 ネ ッ ト ワ ー ク を 考 え る」 全 体 会 「研 修 の リ フ レ ク シ ョ ン ・ ま と め」 〈演 習 指 導 等〉 県 社 協 ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 主 事 及 び 推 進 員 イ 全 国 福 祉 教 育 推 進 員 研 修 修 了 者 の フ ォ ロ ー ア ャ ッ プ 研 修 鹿 児 島 会 場 修 了 者 の フ ォ ロ ー ア ャ ッ プ と 取 組 状 況 に 関 す る 情 報 交 換 等 を 行 う た め に 今 年 度 か ら 開 始 し た。</p> <p>〈日 時〉 令和6年2月14日（水） 午後2時から午後4時まで 〈会 場〉 県社会福祉センター2階 ボランティアルーム 〈受 講 決 定 数〉 曾 於 市 3 人、 始 良 市 1 人、 南 さ つ ま 市 1 人、 薩 摩 川 内 市 2 人、 日 置 市 1 人、 錦 江 町 1 人、 肝 付 町 1 人、 県 社 協 3 人 の 計 1 3 人 〈内 容〉 ① 講 義： 福 祉 教 育 の 現 状 と 課 題 に つ い て ② 演 習： 福 祉 教 育 プ ロ グ ラ ム 作 成 ③ 振 り 返 り 及 び 情 報 交 換 〈演 習 指 導 等〉 県 社 協 ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 推 進 員</p>	<p>都道府県社協がサテライトの役割を担うことで、全社協が進める地域の福祉教育プラットフォームを担う人材育成に寄与できた。 （修了者累計：県社協3人、市町村社協15人）</p>	

<p>(3) 養成・研修事業 ア ボランティアコーディネーター・ボランティア担当職員セミナーの開催（1回） セ ミナーの開催（1回）</p>	<p>ボランティア活動団体・NPO団体及び福祉関係団体等との連絡調整、活動プログラムの企画や需給調整、各種ボランティア活動者の養成及び災害対応等を担うボランティアコーディネーター・担当職員の資質向上等を図るため、次のとおり開催した。 〈日 時〉令和5年12月14日（木）～15日（金）（集合型） 〈参加者〉市町村協ボランティアコーディネーター・担当職員等 21人</p> <p>〈内 容〉 【1日目】 ①説明「市区町村ボランティア・市民活動センター強化方策2023について」 説明者：県社協ボランティアセンター所長 ②取組紹介「防災すごろくについて」 説明者：日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会 郷土活性化委員会委員長 荒殿裕樹 氏 ③1日目の振り返り・質疑応答</p> <p>【2日目】 ④報告「久留米市災害ボランティアセンター支援報告と課題等について」 説明者：県社協ボランティアセンター所長 ⑤講演「地域共生社会とダイバーシティマネジメント」 講師：株式会社ハタノシステム代表取締役専務 波多野麻美 氏 ⑥2日目の振り返り・質疑応答</p>	<p>専門職として必要とされる知識や役割などの習得及び実践力向上を図ることができた。 （参加者数：対前年度2人増）</p>
<p>イ 災害ボランティアセンター運営者研修の開催（2市町村協）</p>	<p>大規模災害時の被災者支援に重要な役割を果たす災害ボランティアセンターの持続的かつ安定的かつ安定的な運営には、地域の住民や関係機関・団体、ボランティア活動者など地域内の様々な担い手の参加と協力による“地域協働型”の災害ボランティアセンター運営が重要であることから、次のとおり龍郷町とさつま町の2社協をモデル指定し、「災害ボランティアセンター運営者研修」を開催した。 なお、この研修内容については、全社協が令和4年度に開発した「災害ボランティアセンター運営者研修プログラム」に準拠した形で開催した。</p> <p>① 龍郷町社協 〈日 時〉令和6年1月13日（土）～14日（日） 〈場 所〉龍郷町保健福祉センターどうくさくさあや館 〈修了者数〉33人</p>	<p>「被災者の置かれている状況の理解」や「災害ボランティアセンター運営訓練」「災害ボランティアセンターのレイアウト検討」などの講義や演習を通して、災害ボランティアセンター開設時に必要とされる知識や役割などの習得及び実践力向上を図ることができた。</p>

2 ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
令和5年度事業計画	事業実施概要等	具体的成果等
	<p>② さつま町社協 (日 時) 令和6年1月29日(月)～30日(火) (場 所) 宮之城ひまわり館 (修了者数) 18人 【事業説明会】 (日 時) 令和5年7月13日(木) 午前10時30分から午後0時00分 (開催形式) オンライン (参加社協) 14市町村社協 (説明内容) ① 災害ボランティアセンター運営者研修プログラムの概要と実施上の留意点について ② 災害ボランティアセンター運営者研修＜モデル事業＞の実施要綱説明とモデル事業への参加について ③ 質疑応答</p>	
(4) 広報啓発事業 ア ホームページ等による情報提供	<p>① 広報紙への掲載(年3回) 県社協広報紙「ふくしのひろば」にボランティアセンターが行う事業や災害ボランティアセンターについての情報など最新のボランティア関連記事を掲載し、広報に努めた。 (部 数) 13,700部×3回 (配布先) 市町村社協、市町村、学校、銀行、病院、その他関係機関・団体等</p> <p>② その他ホームページ等による情報提供 県社協ホームページ内に、ボランティアに関する活動種別や内容等の基本的事項を常時掲載するとともに、助成金情報や市町村社協に登録するボランティア団体等の最新情報、そのほか被災地の災害ボランティアセンター開設状況や被災者支援の取組状況等を更新・掲載するなど情報発信に努めた。 また、県社協公式SNS(Facebook)に、ボランティアセンター事業等の告知や報告等を随時掲載した。</p>	<p>広報紙で活動事例等を紹介すること、県民やボランティア活動団体等への啓発や活動の推進が図られた。 また、検索性や即時性の高い情報をホームページ・SNS等で情報提供することで、迅速かつ効率的な情報提供が図られた。</p>
イ 啓発用品の整備・提供 (7) ボランティア手帳の発行 (発行部数3,000部)	市町村社協等が開催するボランティア講座や研修会用の資料として、また学校での「総合的な学習の時間」等の学習用として活用できる「私のボランティア手帳」を7,365部配布した。	

<p>(イ) 啓発用物品の貸出・整備等</p>	<p>ボランティア学習・介護体験講座等に使用する疑似体験セット、車椅子、アイマスク等の貸し出しについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大警戒基準のレベル2以上となっていた令和5年5月7日までの期間は貸し出しを停止した。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う令和5年5月8日から貸し出しを再開し、学校や市町村社協等へ次のとおり貸し出した。</p>	<p>貸し出しを再開したことから、貸出数が前年度比大幅増となった。(対前年度285増)</p>																																											
<p>(貸出状況) (令和6年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">年度</th> <th rowspan="2">貸出状況</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いす(台)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アイマスク(個)</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>白杖(本)</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>42</td> <td></td> </tr> <tr> <td>着ぐるみ(体)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エルタートライ(高齢者体験セット)(体)</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>178</td> <td></td> </tr> <tr> <td>妊婦体験セット(体)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>151</td> <td>0</td> <td>285</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			品名	年度			貸出状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	車いす(台)	1	0	7		アイマスク(個)	35	0	52		白杖(本)	35	0	42		着ぐるみ(体)	0	0	3		エルタートライ(高齢者体験セット)(体)	80	0	178		妊婦体験セット(体)	0	0	3		合計	151	0	285	
品名	年度			貸出状況																																									
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																										
車いす(台)	1	0	7																																										
アイマスク(個)	35	0	52																																										
白杖(本)	35	0	42																																										
着ぐるみ(体)	0	0	3																																										
エルタートライ(高齢者体験セット)(体)	80	0	178																																										
妊婦体験セット(体)	0	0	3																																										
合計	151	0	285																																										
<p>(ウ) ボランティアルーム・コーナー(会議室)の提供</p>	<p>ボランティアグループ等の活動の利便性を確保するため、同グループ等が行う研修会や講習会、打合せ等の場に活用できる会議室を提供した。 ボランティアルーム：利用回数 81回、利用人員619人 ボランティアコーナー：利用回数 83回、利用人員357人</p>	<p>ボランティアルーム 利用回数：対前年度 2回減 利用人員：対前年度 39人増 ボランティアコーナー 利用回数：対前年度 15回減 利用人員：対前年度 7人減</p>																																											
<p>ウ その他の啓発・普及 (7) サマーボランティア体験月間の実施</p>	<p>サマーボランティア体験月間(7月～8月) 地域や社会福祉施設等でのボランティア・介護体験等とおし、県民のボランティア活動への理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動への参加のきっかけづくりとするため、「サマーボランティア体験月間」の実施を市町村社協へ呼びかけた。</p> <p>〈内容〉プログラム数：122件(県内21市町村社協が実施) 高齢者施設での食事配膳・散歩の同行・お話し相手・レクリエーション等の体験、保育施設での保育ボランティア体験、障害児・者施設でのボランティア体験、点字・手話体験、心肺蘇生法や災害時の炊き出し実演・体験、高齢者サロン・子育てサロンでのボランティア体験、おもちゃや病院での修理ボランティア体験、募金活動体験、障害者スポーツ体験、福祉施設内の清掃や消毒等、高齢者疑似体験・車いす・アイマスク体験等の</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、昨年度より体験プログラム数が約3.6倍、参加者数が約2倍、実施社協も約2倍に増えたもののコロナ禍前の水準には戻らなかった。 ・プログラム件数： 対前年度 88件増 ・実施社協数： 対前年度11社協増 ・参加者総数： 対前年度837人増</p>																																											

2	ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
	令和5年度事業計画	具体的成果等	
(イ) ボランティアTシャツ等の頒布	<p>〈参加者数〉1,581人 (男463人・女1,118人、小学生計336人、中学生計453人、高校生計400人、その他大学生から社会人等162人)</p> <p>ボランティアTシャツ・半袖ポロシャツの頒布 ボランティアTシャツと半袖ポロシャツを製作し、有料頒布した。また、令和5年度に発生した災害による被災者支援に役立ててもらったため、頒布益金から総額20万円を次のとおり寄付した。</p> <p>〈頒布着数〉Tシャツ…710着、半袖ポロシャツ…3,847着 〈義援金〉…福岡県令和5年7月豪雨災害義援金へ10万円 ボランティア・NPO活動サポート募金「ボラサポ・令和5年7月豪雨」へ10万円</p>	<p>ボランティア活動等に対する普及啓発が図られた。また、収益の一部を令和5年の大雨災害被災者に、義援金として寄付することができた。</p> <p>・頒布着数：対前年度 Tシャツ229着増、ポロシャツ643着増</p>	
(ウ) 届け!みんなの使用済切手(使用済切手でボランティア)	<p>県内の事業所や個人等から寄せられた使用済切手を換金・積み立て、令和5年に本県で開催された「特別全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)」の協賛物品として、アスリート等の滞在支援用具を購入し提供した。</p> <p>なお、協賛物品の内容や数量、そして事業開始から今年度までの換金実績及び累計額は次のとおり。</p> <p>〔協賛物品〕 シャワーチェア…50脚、S字フック…450本</p>	<p>使用済み切手の収集がボランティア活動に繋がることが徐々に県民に浸透しつつある。今後も「いつでもどこでも・だれでも」できるボランティアとして、多くの県民への周知に努めたい。</p>	

〔換金実績及び累計額等〕

	換金額 A	換金累計額 B	支出額 C	残額 D (B-C) <small>(翌年度への繰越額)</small>
令和元年度	106,000円	106,000円	0円	106,000円
令和2年度	46,175円	152,175円	0円	152,175円
令和3年度	115,090円	267,265円	0円	267,265円
令和4年度	93,000円	360,265円	0円	360,265円
令和5年度	158,000円	518,265円	358,100円	160,165円
合計額		518,265円	358,100円	160,165円

<p>(5) 市町村ボランティアセンターの活動促進</p> <p>ボランティア活動保険加入促進 助成事業（助成総額 800千円）</p>	<p>ボランティア活動に安心して参加できるようボランティア活動保険の加入を促進するため、同保険掛金の補助を行っている市町村社協に対し助成を行った。</p> <p>〈対象加入者数〉 12,909人（20市町村社協） 〈助成金額〉 800千円（@61.97円） 〈助成対象期間〉 令和5年4月～令和5年5月（2か月間） 〈助成条件等〉 1人あたり100円以上の助成を行う市町村社協</p>	<p>掛金補助を行うすべての市町村社協の財政支援に寄与できた。</p> <p>・加入者数：対前年度668人減 ・市町村数：対前年度 ±0社協</p>
<p>3 地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進</p>		
<p>(1) 生活支援センター体制構築事業</p> <p>市町村における生活支援体制整備支援（県生活支援体制推進センターの設置）</p> <p>(7) 市町村が設置する生活支援センターへの指導・助言、相談対応</p> <p>(イ) 高齢者支援にかかる担当の育成・研修について</p> <p>(ウ) その他、市町村が設置する生活支援センターへの支援</p> <p>(エ) その他、市町村が設置する協議体への支援</p>	<p>県生活支援体制推進センターを設置し、市町村が設置する生活支援センターへの指導・助言・相談対応や高齢者の支援にかかる担当の育成・研修についての支援など、市町村が実施する生活支援体制整備について支援を行った。</p> <p>① 市町村が設置する生活支援センターへの指導・助言・相談 〈相談件数〉（実件数） 78件 〈相談内容〉（延べ件数） 331件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議体の運営方法について 40件 ・生活支援センターの選任について 3件 ・地域ニーズの見える化、問題提起 47件 ・地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけについて 47件 ・関係者のネットワーク化について 55件 ・目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一について 52件 ・生活支援の担い手の養成やサービス開発について 44件 ・ニーズとサービスのマッチングについて 40件 ・その他 3件 <p>② 高齢者の支援にかかる担い手の育成・研修についての支援 〈研修支援回数〉 3回 〈市町村等数〉 1市2町</p> <p>③ その他、市町村が設置する生活支援センターの支援等 〈訪問支援回数〉 18回（オンライン1回含む） 〈市町村等数〉 13市4町</p>	<p>生活支援体制を整備すること を目的として市町村に配置された生活支援センターの 人材育成及び資質向上を図ることにより、地域住民が主体的に関わりながら地域課題を解決する地域包括ケアシステムの構築に資することができた。</p>
<p>イ 生活支援センター養成研修の企画 (7) 研修企画会議の開催 （年2回）</p>	<p>① 第1回研修企画会議 〈期 日〉 令和5年5月10日（水） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 12名 〈内 容〉 基礎編の内容検討、実践編の方向性について他</p>	

3	地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進		所管部署	地域福祉部 ボランティアセンター
令和5年度事業計画		事業実施概要等	具体的成果等	
(イ) 県独自カリキュラムの作成 (ウ) 生活支援コーディネーターのネットワーキング構築を目的とした情報交換会の立ち上げ支援	<p>② 第2回研修企画会議 <期 日> 令和5年9月1日(金) <形 式> オンライン(ZOOM) <参加者数> 14名 <内 容> 実践編の内容検討他</p> <hr/> <p>① 基礎編 <期 日> 令和5年7月19日(水) <会 場> かごしま県民交流センター4階大研修室第4 <参加者数> 49名 <内 容> 行政説明「地域包括ケアシステム構築の推進に向けて」 ・ 講義「生活支援コーディネーターの活動と協議体・地域資源について」 ・ 実践報告「生活支援コーディネーターの動き方」 ・ 意見交換「生活支援コーディネーターとしてのこれからの一歩」</p> <p>② 実践編 <期 日> 令和5年11月30日(木)～12月1日(金) <会 場> 献血プラザ鴨池クロス5階研修ホール <参加者数> 52名 <内 容> 特別講義「『お宝』を生かす地域づくり」 ・ 意見交換「研修ふりかえり」 ・ 実践報告「地域のつながりについて」 ・ 意見交換「『お宝』を生かす地域づくりを考える」</p>	生活支援コーディネーター養成研修や県生活支援体制推進コーディネーターの活動を分析評価し、今後の支援を効果的に展開することを目的とした「生活支援コーディネーター養成研修等評価会議」を開催した。 <期 日> 令和6年2月2日(水) <形 式> オンライン(ZOOM) <参加者数> 11名 <内 容>		
エ 生活支援コーディネーター養成研修並びに活動の評価(7) 研修等評価会議の開催(年1回)				

<p>(2) 住民参加型福祉サービス支援事業</p>	<p>1 生活支援コーディネーター養成研修に関する分析及び評価 2 県生活支援体制推進コーディネーター活動実績及び評価 3 次年度の研修内容の検討</p> <p>地域に暮らす高齢者や意欲のある地域住民に住民参加型福祉サービス活動への参加及び組織化・活性化を促し、持続的な生活支援の担い手養成等を図り、高齢者等の生活支援や介護予防の推進に努めた。</p> <p>この事業に参加意向を持つ市町村社協から次のとおり選定した。</p> <p>① 新規団体立上げ支援参加社協…錦江町「3団体」霧島市、鹿屋市、大崎町</p> <p>② 既存団体活性化支援参加社協…阿久根市、曾於市、龍郷町</p>	<p>住民参加型福祉サービス活動団体の新規団体の立上げ及び既存団体の活性化の支援を希望する市町村社協と連携し、新規団体立上げ支援を6団体、既存団体の活性化を3団体について支援し、地域におけるインフォーマルサービスの充実に寄与した。</p> <p>また、意見交換会を実施することにより、取組みや課題等を共有することで持続可能な団体づくりに向けた広域的な展開に期待が持てるようになった。</p>
<p>イ ワークショップや担い手養成講座等の実施 ウ 先進地域の視察調査</p>	<p>主な支援の実施内容</p> <p>① 4月団体代表と打ち合わせ後、団体支援員予定者との意見交換会を実施した。 ② 6月発足にむけての団体仕組みづくり→6月23日発足式を実施した(南日本新聞6月25日に記事掲載) ③ 定期的に活動の報告と情報共有のために集会を開いた。</p> <p>① 5月より3回を目安に自治会住民との座談会(地域を語る会)を開催した。 ② 地域課題の集いの場づくりに向け、8月21日地域食堂の開催した。開催後の住民の集まりで、本取組みを自治会から公民館の範囲に広げること決定した。 ③ 2月3日公民館単位での地域食堂を開催した。(鬼火焚きと同日開催)</p>	<p>会員数・おもなサービス</p> <p>支援会員25人 利用会員9人 (料金)30分500円 (サービス) ゴミ出し、買い物、庭の手入れ、布団干しなど</p>

3	地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進		地域福祉部 ボランティアセンター
	所管部署	地域福祉部 ボランティアセンター	
令和5年度事業計画			
事業実施概要等		具体的成果等	
新規団体立上げ支援		会員数・おもなサービス	
錦江町	<p>(2) 大原自治会</p> <p>(3) 大滝おたすけ隊</p>	<p>主な支援の実施内容</p> <p>④ 令和7年3月で閉校が決定した同地区の大原小学校が地域の拠点になる見直しのため、今後は錦江町社協等に引き継いだ。</p> <p>① 10月から1月にかけて神川上自治会で住民の困りごとについてのアンケート調査を実施した。</p> <p>② 1月から毎週水曜日の大滝サロンの中で地域の助け合いについて意見交換団体の立ち上げについて提案した。</p> <p>③ 3月24日自治会、27日高齢者クラブの総会にて大滝サロンのお披露目をし、27日から活動を始めた。</p>	<p>支援会員22人 利用会員0人 (料金) 30分500円 (サービス) 庭の草取り、墓掃除、買い物など</p>
霧島市	<p>三郷ドリームほつとサービス</p>	<p>① 6月新規立上げ支援員候補のメンバーへの事業説明を行い、新規団体設立にむけ継続して座談会を実施した。</p> <p>② 支援内容、保険、仕組みについて話し合いを重ね、7月28日から「三郷ドリームほつとサービス」の活動を開始した。</p> <p>③ 毎月1回団体中心メンバーとの活動報告とシステム見直しについて検討会を開催した。</p> <p>④ 12月買い物支援を開始した。</p> <p>⑤ 3月先進地視察研修を実施した。 (鹿屋市泉が丘きばいもんそ会、川東見守り隊)</p>	<p>支援会員13人 利用会員5人 (料金) ゴミ出し1回100円 その他 30分300円 (サービス) ゴミ出し、買い物・通院・墓参支援、庭の草取りなど</p>
鹿屋市	<p>上野おたすけ隊</p>	<p>① 5月上野町地域福祉協議会で有償ボランティアについて協議した。</p> <p>② 6月上野町の住民を対象に有償ボランティアについてアンケート調査を実施した。</p> <p>③ 7月～10月アンケート調査をもとに有償ボランティア団体の設立について協議を重ね年度内に設立をすることで合意した。</p> <p>④ 11月先進地視察研修を実施した。 (さつま町永野・サンスマイルおたすけ隊、西町ささえあい隊)</p> <p>⑤ 12月～1月利用対象者、サービス内容、料金、流れなどについて、具体的に協議を重ね開設の準備をした。</p> <p>⑥ 3月の発足式に向けて事前に住民に告知と会員登録の募集をした。 (読売新聞4月1日に記事掲載)</p>	<p>支援会員25人 利用会員10人 (料金) ゴミ出し1回100円 その他 30分300円 (サービス) ゴミ出し、見守り、買い物代行、災害時の支援、庭掃除、書類の代筆、スマホ説明など</p>

大崎町	菱田地区	<p>① 地域の互助活動に関心を示した5集落の民生委員への説明を行った。</p> <p>② 1月～3回アフターターを招き、地域の困りごとを含め地域づくりについて座談会を開催。</p> <p>※座談会を終え、参加者の意識が高まったため、今後も社協担当を中心に支え合いマップの見直し等を行いながら、地域の防災を含めた集落ごとの訓練を行う予定である。</p>	<p>① 地域の互助活動に関心を示した5集落の民生委員への説明を行った。</p> <p>② 1月～3回アフターターを招き、地域の困りごとを含め地域づくりについて座談会を開催。</p> <p>※座談会を終え、参加者の意識が高まったため、今後も社協担当を中心に支え合いマップの見直し等を行いながら、地域の防災を含めた集落ごとの訓練を行う予定である。</p>	<p>① 地域の互助活動に関心を示した5集落の民生委員への説明を行った。</p> <p>② 1月～3回アフターターを招き、地域の困りごとを含め地域づくりについて座談会を開催。</p> <p>※座談会を終え、参加者の意識が高まったため、今後も社協担当を中心に支え合いマップの見直し等を行いながら、地域の防災を含めた集落ごとの訓練を行う予定である。</p>
阿久根市	既存団体活性化支援 Kindness (カインドネス)	<p>① 6月他県・市町村の学生が行っている活動について伺いながら活動の進め方について話し合った。</p> <p>② 7月ミーティングの会場として利用している阿久根駅を会場に「ボランティアスキルアップ研修」を開催し、生活支援につながる「掃除」について学びながら実際に駅構内の清掃ボランティア体験をした。</p> <p>③ 9月サードサービス利用者への聞き取りを行った。</p> <p>④ 10月団体のメンバーを増やすため、社協職員が鶴翔高校でボランティア活動についての講話を行った。また、外出できない高齢者宅への「敬老の日のプレゼント」としてアレンジメントフラワーを作成し届けた。(社協日より、南日本新聞10月21日記事掲載)</p> <p>⑤ 12月カイン紹介チラシを全校生徒に配布し、活動への参加募集も行った。赤い羽根共同募金の街頭募金活動や正月飾りを作成し、養護老人ホームの入居者へ贈呈した。</p> <p>⑥ 令和6年度の活動やメンバー募集についてのミーティングを行った。</p>	<p>① 6月他県・市町村の学生が行っている活動について伺いながら活動の進め方について話し合った。</p> <p>② 7月ミーティングの会場として利用している阿久根駅を会場に「ボランティアスキルアップ研修」を開催し、生活支援につながる「掃除」について学びながら実際に駅構内の清掃ボランティア体験をした。</p> <p>③ 9月サードサービス利用者への聞き取りを行った。</p> <p>④ 10月団体のメンバーを増やすため、社協職員が鶴翔高校でボランティア活動についての講話を行った。また、外出できない高齢者宅への「敬老の日のプレゼント」としてアレンジメントフラワーを作成し届けた。(社協日より、南日本新聞10月21日記事掲載)</p> <p>⑤ 12月カイン紹介チラシを全校生徒に配布し、活動への参加募集も行った。赤い羽根共同募金の街頭募金活動や正月飾りを作成し、養護老人ホームの入居者へ贈呈した。</p> <p>⑥ 令和6年度の活動やメンバー募集についてのミーティングを行った。</p>	<p>① 6月他県・市町村の学生が行っている活動について伺いながら活動の進め方について話し合った。</p> <p>② 7月ミーティングの会場として利用している阿久根駅を会場に「ボランティアスキルアップ研修」を開催し、生活支援につながる「掃除」について学びながら実際に駅構内の清掃ボランティア体験をした。</p> <p>③ 9月サードサービス利用者への聞き取りを行った。</p> <p>④ 10月団体のメンバーを増やすため、社協職員が鶴翔高校でボランティア活動についての講話を行った。また、外出できない高齢者宅への「敬老の日のプレゼント」としてアレンジメントフラワーを作成し届けた。(社協日より、南日本新聞10月21日記事掲載)</p> <p>⑤ 12月カイン紹介チラシを全校生徒に配布し、活動への参加募集も行った。赤い羽根共同募金の街頭募金活動や正月飾りを作成し、養護老人ホームの入居者へ贈呈した。</p> <p>⑥ 令和6年度の活動やメンバー募集についてのミーティングを行った。</p>
曾於市	ほっとサービス	<p>① 5月社協職員に事業説明を行った。</p> <p>② 6月曾於市協会のほっとサービスの事業の進め方について検討した。</p> <p>③ 11月回覧板による広報活動を行った。</p> <p>④ 1月広報スキルアップ研修と支援員との意見交換会をした。</p> <p>⑤ 研修と意見交換会で得た広報手段により広報活動(チラシ作成)を行った。</p>	<p>① 5月社協職員に事業説明を行った。</p> <p>② 6月曾於市協会のほっとサービスの事業の進め方について検討した。</p> <p>③ 11月回覧板による広報活動を行った。</p> <p>④ 1月広報スキルアップ研修と支援員との意見交換会をした。</p> <p>⑤ 研修と意見交換会で得た広報手段により広報活動(チラシ作成)を行った。</p>	<p>① 5月社協職員に事業説明を行った。</p> <p>② 6月曾於市協会のほっとサービスの事業の進め方について検討した。</p> <p>③ 11月回覧板による広報活動を行った。</p> <p>④ 1月広報スキルアップ研修と支援員との意見交換会をした。</p> <p>⑤ 研修と意見交換会で得た広報手段により広報活動(チラシ作成)を行った。</p>
龍郷町	川内有償ボランティア	<p>① 4月社協担当者との打ち合わせを行った。</p> <p>② 6月団体代表者からの聞き取りを行った。</p> <p>③ (地域の現状や活動、希望についての聞き取り)</p> <p>④ 8月広報チラシの作成と全戸に配布した。</p> <p>⑤ 9月・10月担当職員と代表による活動報告を行った。</p> <p>⑥ 11月支援員によるスキルアップ研修を行った。</p> <p>⑦ 2月先進地視察研修を行った。</p> <p>⑦ 3月検校ほえみクラブライオン・あしけん、にこにこクラブ)による次年度の活動にむけての協議を行った。</p>	<p>① 4月社協担当者との打ち合わせを行った。</p> <p>② 6月団体代表者からの聞き取りを行った。</p> <p>③ (地域の現状や活動、希望についての聞き取り)</p> <p>④ 8月広報チラシの作成と全戸に配布した。</p> <p>⑤ 9月・10月担当職員と代表による活動報告を行った。</p> <p>⑥ 11月支援員によるスキルアップ研修を行った。</p> <p>⑦ 2月先進地視察研修を行った。</p> <p>⑦ 3月検校ほえみクラブライオン・あしけん、にこにこクラブ)による次年度の活動にむけての協議を行った。</p>	<p>① 4月社協担当者との打ち合わせを行った。</p> <p>② 6月団体代表者からの聞き取りを行った。</p> <p>③ (地域の現状や活動、希望についての聞き取り)</p> <p>④ 8月広報チラシの作成と全戸に配布した。</p> <p>⑤ 9月・10月担当職員と代表による活動報告を行った。</p> <p>⑥ 11月支援員によるスキルアップ研修を行った。</p> <p>⑦ 2月先進地視察研修を行った。</p> <p>⑦ 3月検校ほえみクラブライオン・あしけん、にこにこクラブ)による次年度の活動にむけての協議を行った。</p>

3 地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進	地域福祉部 ボランティアセンター	所管部署	地域福祉部 ボランティアセンター
令和5年度事業計画		事業実施概要等	
工 広域での取り組みを進めるための検討や意見交換等の実施		具体的成果等	
<p>住民参加型福祉支援サービス支援事業の現在の取組み状況と、この事業を広域的に進めるうえで、必要な取組みや課題等を探るため「住民参加型福祉サービス支援事業参加社協による意見交換会」を次のとおり実施した。</p> <p>また、住民参加型福祉サービス活動に関心のある社協の取組みを支援するため、フォローアップセミナーも同日開催した。</p> <p>① 住民参加型福祉サービス支援事業参加社協による意見交換会 〈日 時〉令和6年2月13日(火)午前11時30分から午後1時30分まで 〈会 場〉県青少年会館1階 音楽兼視聴覚室 〈参加者〉12社協から19人(対象者は令和3年度から5年度参加した16社協) 〈内 容〉住民参加型福祉サービス団体の持続的な取組、方策に関する意見交換会・事業を幅広く展開するための連携方策や課題についての意見交換。</p> <p>② 住民参加型福祉サービス支援事業フオロアップセミナー 〈日 時〉令和6年2月13日(火)午後1時30分から午後4時まで 〈会 場〉県青少年会館1階 音楽兼視聴覚室 〈参加者〉17社協から29人 〈内 容〉講義・講演のテーマ「じぶんもみんなも取り組みたくなるような互助活動のデザイン」 講師：特定非営利法人ふくおかNPOセンター 代表 古賀桃子 氏</p>	<p>事業実施にあたっては、南さつま市をモデル地区に指定し、南さつま市社協と連携して重点的に事業展開を図った。各種調査等を通じて、在住外国人の地域での生活の実態や、地域住民の多文化共生に関する意識等を</p>	<p>モデル地区(1ヶ所)：南さつま市</p> <p>モデル地区内の企業に勤務する技能実習生をはじめとする在住外国人に対し、地域での生活等におけるアンケート調査を実施した。アンケート調査を通じて、生活で困っていることや不安に思っている</p>	<p>(3) 在住外国人生活支援モデル事業</p> <p>ア 困りごと実態把握事業</p> <p>(7) 在住外国人を対象とする生活における困りごと調査の実施(1回)</p>

<p>(イ) 地域住民を対象とする在住外国人意識調査の実施 (1回)</p>	<p>ること、地域住民との交流頻度や交流の希望の有無、日本での生活で驚いたこと等について把握することができ、事業内容を検討するツールとして活用した。</p> <p>モデル地区内における在住外国人と地域住民との関わりや、地域住民の多文化共生に対する意識について、実態を把握することを目的に、南さつま市加世田単位民児協の民生委員児童委員、主任児童委員を対象にアンケート調査を実施した。調査を通じて、日常生活における在住外国人との関わりや、交流の希望について、在住外国人が増えること等について把握することができた。</p>	<p>把握することができ、交流事業を通じて、地域住民との交流機会の確保につながった。</p> <p>また、モデル地区内における関係機関の連携促進を図ることや、県内各会場の相関の活用が、外国人住民の生活支援に繋がることを期待している。</p>
<p>イ 安心生活支援事業 (7) 地域における外国人支援に係る資源の発掘・連絡会の開催 (1回)</p>	<p>地域における外国人支援に係る現状や課題を把握するとともに、社会資源の掘り起こしや聞き取り等を行う目的で、在住外国人生活支援モデル事業関係機関連絡会を行った。</p> <p>〈期 日〉 令和6年2月6日(火) 〈会 場〉 南さつま市山田地区公民館 〈参加者〉 南さつま市社協、内山田地区集落自治会長、民生委員児童委員、(株)SLA、県社協 〈内 容〉 事業概要説明、アンケート調査結果報告、在住外国人支援に係る地域の現状等に関する意見交換、わかりやすい日本語による会話に関する講義</p>	
<p>(イ) 在住外国人の外出支援活動の実施 (1回)</p>	<p>令和5年9月16日(土)に開催した異文化交流事業において、南さつま市内の企業に協力をいただき、在住外国人の外出機会の確保を図るための異文化交流会を実施した。(ウ地域つながり支援事業の(イ)地域住民との異文化交流会の実施を参照)</p> <p>また、令和4年度モデル地区の出水市において、継続的な交流につながることを目的に、フォーアアップ事業として、米ノ津東地区コミュニティ協議会と出水市内の企業に勤める技能実習生とのグラウンドゴルフ交流会を行った。</p> <p>〈期 日〉 令和5年6月17日(土) 〈会 場〉 出水市米ノ津運動公園 〈参加者〉 米ノ津東地区コミュニティ協議会、(株)ヒラヤマ技能実習生、出水市社協、県社協 〈内 容〉 グラウンドゴルフ及び昼食交流会</p>	

3 地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進	所管部署	地域福祉部 ボランティアセンター
令和5年度事業計画		事業実施概要等
<p>ウ 地域つながり支援事業 (7) 社協事業等への在住外国人の参加促進</p>	<p>在住外国人と地域住民が関わる機会を創出し、相互の理解と協業への参加促進を図ることを目的に、ふれあい・いきいきサロン交流会を実施した。この交流会をきっかけにして、(株)S L Aの技能実習生と南さつま市万世地区ふれあい・いきいきサロン運営ボランティア団体が継続して交流を行うことになった。</p> <p>〈期 日〉 令和5年9月29日(金) 〈会 場〉 南さつま市万世地区公民館 〈内 容〉 在住外国人と技能実習生の交流会(会話、歌、踊り、着物の着付け、屋食、レクリエーション等の交流) 〈協 力〉 南さつま市万世地区ふれあい・いきいきサロン、(株)S L A</p>	<p>在住外国人の外出活動の促進や、相互理解を図ることを目的に、異文化交流(外出支援)活動を行った。活動を通じて、在住外国人が日本の伝統文化に触れることができ、地域住民との交流機会の確保につながった。</p> <p>〈期 日〉 令和5年9月16日(土) 〈会 場〉 南さつま市総合保健センターふれあいかせだ 和室 〈内 容〉 生け花体験教室、地域住民との昼食会 〈協 力〉 宮原 真由美氏、パナソニックデバイスSUNIX九州(株)</p>
<p>エ 全県域対象事業 (7) 在住外国人支援に関するセミナー等の開催(1回)</p>	<p>外国人からの相談を受ける県内の関係機関や団体の担当者等が、在住外国人の生活支援について学ぶとともに、関係機関の支援体制を構築を図ること等を目的に、在住外国人生活支援研修会を開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和6年2月28日(水) 〈方 法〉 ZOOMによるオンライン形式 〈参加者〉 市町村、市町村社協、民生委員児童委員、国際交流関係団体等 120人 〈内 容〉 事業説明「在住外国人生活支援モデル事業について」 講義「外国人住民の相談対応について」 (講師) 公益財団法人北九州国際交流協会 多文化ソーシヤルワーカー 社会福祉士 矢野 花織氏 実践発表「鹿屋市における外国籍の方への支援について」 (発表者) 鹿屋市社会福祉協議会 地域福祉課 主事 上園 健斗氏</p>	<p>具体的成果等</p>

<p>(4) 地域包括支援体制人材育成事業 ア 相談支援包括化推進員養成講座の開催</p> <p>(7) 福祉分野の横断的な連携を図るため、他制度の政策を学ぶ研修会の開催</p> <p>(4) 包括的な相談支援を行っているNPO法人のコーディネーター等を講師に招いた講義</p> <p>(7) グループ演習等の研究会</p>	<p>市町村が、複合的・複雑化した課題や、制度と制度の狭間の問題を抱える世帯に対する多機関・多分野協働による包括的相談支援体制を構築する上で、必要となる人材（相談支援包括化推進員）を育成することを目的に、「相談支援包括化推進員養成講座（全6回）」を開催した。</p> <p>令和5年度はブロック別実施の最終年度であり、市町村に優先順位をつけて全市町村に募集を行ったが、希望者全員が受講することができた。</p> <p>〈第1回〉 7月26日 講義①：スタートアップ講義「相談支援の基本的視点」 演習①：グループワーク「同上」</p> <p>〈第2回〉 8月22日 講義②：「権利擁護について考える」 講義③：「地域包括ケアシステム・地域共生社会の実現」 演習②：「複合的な困難事例検討（高齢）」</p> <p>〈第3回〉 11月16日 講義④：「障害者の地域生活と地域移行」 講義⑤：「相談業務から見たひきこもりへの対応」 演習③：「複合的な困難事例検討（障害）」</p> <p>〈第4回〉 12月5日 講義⑥：「ライフステージにおける児童福祉と母子保健」 講義⑦：「発達障害への理解」 演習④：「複合的な困難事例検討（児童）」</p> <p>〈第5回〉 1月10日 演習⑤：「これからの「まちづくり」を考えるいくつかのヒント」</p> <p>演習⑥：「支え合いマップ」を活用した地域援助」</p> <p>〈第6回〉 2月2日 演習⑦：「経験から生まれる地域支え合い」 演習⑧：「講座のまとめ・目標設定」</p>	<p>福祉ニーズの多様化・複雑化に伴い、複合的な課題を有する要援護者に対して、包括的な相談から見立て、支援調整の組立から地域資源の開発等を市町村で総合的に行うことができ、単位で総合的に包括的相談支援人材を育成し、包括的相談支援体制の構築を促進することができた。</p> <p>受講者95人中、全課程修了者50人へ修了証書を交付し、それ以外の受講者には受講証明書を発行した。</p>
<p>イ 重層的支援体制整備事業連絡会の開催</p>	<p>制度改正説明会と併せて、講義と意見交換を行った。</p> <p>(Ⅲ-1の1の(2)を参照)</p> <p>〈期 日〉 令和6年3月12日（火）</p> <p>〈形式〉 オンライン（Zoom）</p> <p>〈講 義〉 「地域共生社会」の実現に向けた重層的支援体制整備事業の活用について<small>（厚生労働省 地域共生社会推進）</small></p>	<p>令和6年度から県内の複数の自治体で取り組まれる重層支援体制整備事業の本事業の実施に向けた情報共有が図られた。</p>

4 すこやか長寿社会運動の推進	所管部署	長寿社会推進部
<p>令和5年度事業計画</p> <p>(1) 広報媒体による意識啓発 ア ポスター・チラシの作成及び配布 ポスター：300枚程度 チラシ：10,000枚程度 イ 広報紙「ふくしのひろば」による広報(発行部数：13,700部×4回) ウ ホームページによる広報 エ 「老人の日・老人週間」の周知広報 オ 「高齢者元気・ふれあい推進月間」の周知広報</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>すこやか長寿社会運動の推進を図るため、次の広報活動を行った。 「ふくしのひろば」による広報(13,700部×3回 7月,10月,1月) ① ホームページによる広報 ② ポスター(300枚)・チラシ(10,000枚)の作成 ③ 配布先：市町村社協, 県・市町村老連, 市町村担当課, 関係機関 ④ 「老人の日・老人週間」のポスター配布(100枚)</p>	<p>長寿社会推進部</p> <p>具体的成果等</p> <p>広報紙等の啓発活動により, 定期的・継続的な情報提供ができた。</p>
<p>(2) シルバー文化作品展の開催 ア 展示期間 令和5年9月6日(水)～10日(日) ※搬入日 9月11日(金)</p> <p>関連イベント ・開場式 9月6日(水) ・ギャラリートーク 日本画・洋画・書 9月6日(水) 工芸・写真・彫刻 9月10日(日) ・表彰式 9月10日(日)</p> <p>会場 県歴史・美術センター-黎明館 対象部門 日本画, 洋画, 書, 工芸, 写真, 彫刻の6部門 対象者 県内在住の60歳以上の者 出品料 1,000円 その他 施設等での入賞作品の展示</p>	<p>高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めるとともに, 広く県民に高齢者の文化作品の鑑賞機会を提供した。</p> <p>〈部門〉 日本画, 洋画, 書, 工芸, 写真, 彫刻 〈会場〉 県歴史・美術センター-黎明館 〈会期〉 令和5年9月6日(水)～10日(日) 〈出品数〉 日本画25点, 洋画68点, 書35点, 工芸40点, 写真38点, 彫刻12点 計 218点 〈入場者数〉 1,643人 〈表彰〉 県知事賞 1点(工芸) 特別賞(寺園勝志賞) 1点(日本画) 県社会福祉協議会会長賞 6点(各部門1点) 審査委員長賞 3点 { 洋画1点, 工芸1点, 彫刻1点 金賞 15点 { 日本画3点, 洋画3点, 書3点, 工芸3点, 写真3点 銀賞 14点 { 日本画1点, 洋画4点, 書3点, 工芸3点, 写真3点 銅賞 11点 { 日本画1点, 洋画4点, 書2点, 工芸2点, 写真2点 奨励賞 8点 { 日本画1点, 洋画4点, 書1点, 工芸1点, 写真1点</p>	<p>高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めるとともに, 幅広い世代にすこやか長寿社会運動をPRすることができた。</p> <p>※参考 R4年度出品数 250点 対前回比 87.2% R4年度入場者数 2,938人 対前回比 55.9%</p>

<p>(3) いきいきシルバースポーツ大会の実施 ア 実施カ所 県下7地区 イ 実施方法 県老人クラブ連合会に委託</p>	<p>高齢者賞 6点 (日本画1点, 洋画1点, 書1点, 工芸1点, 写真1点, 彫刻1点) 〈入賞作品の貸出〉 作品展の入賞者に対し, 福祉施設等への展示依頼を行い, 施設等の入所者等に作品鑑賞機会を提供した。(貸出…14点, 6か所) 高齢者の心身の健康と生きがいの助長を図るとともに, 高齢者する地域住民の理解と関心を高めるため, 県老人クラブ連合会にの実施を委託してシルバースポーツ大会を実施した。 〈開催時期〉 令和5年6月～令和5年12月 〈開催場所〉 県下7地区 (鹿児島, 南薩, 北薩, 始良・伊佐, 大隅, 熊毛, 大島) 〈参加者数〉 7,817人</p>	<p>高齢者の健康づくりに資することができる。 R4年度参加者数 4,931人 対前年度 158.5%</p>																																																																																			
<p>(4) 全国健康福祉祭派遣事業 ア 派遣期間 令和5年10月27日(金)～10月31日(火) イ 派遣地 愛媛県内(11市6町) ウ 派遣人員 171人(予定)</p>	<p>高齢者の健康と福祉に関する総合的な普及啓発イベントである「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛媛のえひめ2023)」に選手を派遣した。 〈主催〉 厚生労働省, 愛媛県, (一財)長寿社会開発センター 〈会期〉 令和5年10月28日(土)～31日(火) 〈開催地〉 愛媛県内11市4町 〈参加イベント〉 総合開会式・総合閉会式・スポーツ交流大会, ふれあいスポーツ交流大会, 文化交流大会, 美術展 〈参加競技種目と派遣選手〉 派遣人員: 監督・選手170人(23種目23チーム) 役員8人</p>	<p>23種目(23チーム)に監督・選手170人及び役員8人を派遣した。 各競技で優秀な成績を収めるとともに, 他県選手や地元の方々と親睦を深めることができ, すこやかで心豊かな長寿社会の形成に大いに寄与することができた。</p>																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">スポーツ交流大会</th> <th colspan="2">ふれあいスポーツ交流大会</th> <th colspan="2">文化交流大会</th> </tr> <tr> <th>種目</th> <th>チーム数</th> <th>選手数</th> <th>種目</th> <th>チーム数</th> <th>選手数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卓球</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>水泳</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>テニス</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>ゲラント・ゴルフ</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ソフトテニス</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>ラグビー</td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>サッカー</td> <td>1</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>ゲートボール</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>ソフトバレーボール</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ペタンク</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>太極拳</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>軟式野球</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>マラソン</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>ウォークラリー</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>弓道</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>ダンスポーツ</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>インディアカ</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計(10)</td> <td>10</td> <td>67</td> <td>計(10)</td> <td>10</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計(3)</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	スポーツ交流大会		ふれあいスポーツ交流大会		文化交流大会		種目	チーム数	選手数	種目	チーム数	選手数	卓球	1	7	水泳	1	7	テニス	1	8	ゲラント・ゴルフ	1	6	ソフトテニス	1	6	ラグビー	1	19	ソフトボール	1	15	サッカー	1	15	ゲートボール	1	5	ソフトバレーボール	1	7	ペタンク	1	4	太極拳	1	8	ゴルフ	1	3	軟式野球	1	12	マラソン	1	6	ウォークラリー	1	5	弓道	1	7	ダンスポーツ	1	8	剣道	1	6	インディアカ	1	6	計(10)	10	67	計(10)	10	93				計(3)	3	10	<p>文化交流大会 種目 チーム数 選手数 囲碁 1 3 将棋 1 3 健康マージャン 1 4</p>
スポーツ交流大会		ふれあいスポーツ交流大会		文化交流大会																																																																																	
種目	チーム数	選手数	種目	チーム数	選手数																																																																																
卓球	1	7	水泳	1	7																																																																																
テニス	1	8	ゲラント・ゴルフ	1	6																																																																																
ソフトテニス	1	6	ラグビー	1	19																																																																																
ソフトボール	1	15	サッカー	1	15																																																																																
ゲートボール	1	5	ソフトバレーボール	1	7																																																																																
ペタンク	1	4	太極拳	1	8																																																																																
ゴルフ	1	3	軟式野球	1	12																																																																																
マラソン	1	6	ウォークラリー	1	5																																																																																
弓道	1	7	ダンスポーツ	1	8																																																																																
剣道	1	6	インディアカ	1	6																																																																																
計(10)	10	67	計(10)	10	93																																																																																
			計(3)	3	10																																																																																

4	すこやか長寿社会運動の推進	所管部署	長寿社会推進部																											
令和5年度事業計画		事業実施概要等																												
<p>〈美術展への出品〉 令和4年度シルバークラフト文化作品展の上位入賞者の作品をねんりんピック愛媛のえひめ2023美術展に出展した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場 愛媛県民文化会館 ・出品数 12点 (日本画・洋画・書・工芸・写真・彫刻の部 各2点) ・期間 10月28日(土)～31日(火) <p>〈主な成績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流大会 <table border="1" data-bbox="555 591 686 1527"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体戦</th> <th>個人戦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優勝</td> <td>1チーム (水泳)</td> <td>1人 (水泳)</td> </tr> <tr> <td>準優勝</td> <td>なし</td> <td>3人 (水泳)</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>1チーム (サッカー)</td> <td>3人 (マラソン, 水泳, 将棋)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・美術展 <table border="1" data-bbox="724 864 922 1527"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>部門</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長寿社会開発センター理事長賞</td> <td>工芸の部</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>銀賞</td> <td>書の部</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>銅賞</td> <td>日本画の部</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>写真の部</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	団体戦	個人戦	優勝	1チーム (水泳)	1人 (水泳)	準優勝	なし	3人 (水泳)	3位	1チーム (サッカー)	3人 (マラソン, 水泳, 将棋)	賞	部門	人数	長寿社会開発センター理事長賞	工芸の部	1人	銀賞	書の部	1人	銅賞	日本画の部	1人		写真の部	1人	<p>具体的成果等</p>	
区分	団体戦	個人戦																												
優勝	1チーム (水泳)	1人 (水泳)																												
準優勝	なし	3人 (水泳)																												
3位	1チーム (サッカー)	3人 (マラソン, 水泳, 将棋)																												
賞	部門	人数																												
長寿社会開発センター理事長賞	工芸の部	1人																												
銀賞	書の部	1人																												
銅賞	日本画の部	1人																												
	写真の部	1人																												
<p>(5) 高齢者による社会参加活動の促進</p> <p>ア かごしまアクティブシニアのちから活用事業の推進</p> <p>ア かごしまアクティブシニアのちから活用事業(人材とニーズのマッチング・コーディネート)</p> <p>イ 世代間交流活動支援事業</p>		<p>これまでに社会参加希望者に対する活動機会の提供や活動情報の発信等により、高齢者による社会参加活動の促進が図られ、地域活動の活性化に資することができた。</p> <p>かごしまアクティブシニアのちから活用事業 地域活動に意欲のある高齢者を「いきいきシニア人材バンク」に登録し、社会参加の促進を図ってきたが、登録者の高齢化と本事業主催行事等での活動提供機会の減少に伴い、本年度をもって事業を終了した。</p> <p>なお、事業終了に際しては、登録者が住み慣れた身近な地域での活動促進が図られるよう、市町村のボランティアセンターを紹介し、登録の案内を行った。</p> <p>〈登録件数〉 団体：17団体 個人：90人</p> <p>イ 世代間交流活動支援事業 元気高齢者と児童・生徒等の異なる世代とふれ合う機会を提供するため、自主活動グループの支援を行った。</p>																												

<p>なお、これまでの支援により各団体とも自主的に活動できる体制が整ったことから、本年度をもって事業を終了した。</p> <p>〈支援対象団体〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島おもちゃ病院連絡協議会（事務局をかごしまおもちゃ病院へ移管） ・ 読み聞かせグループたけとんぼ（活動終了） ・ なかよしパソコンお絵かきクラブ（自主運営） <p>〈支援実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島県おもちゃ病院連絡協議会事務局（年2回の定例会の開催支援） 第13回定例会 令和5年 6月5日(月) 第14回定例会 令和5年11月6日(月) ・ おもちゃ病院に関する問い合わせ対応（情報提供） 1回 	<p>地域活動に意欲のある高齢者の社会参加の促進を図るため、市町村・市町村社会福祉協議会（以下「市町村等」）が行う、高齢者の人材育成等を支援した。</p> <p>ア 人材育成研修の実施</p> <p>(7) 本研修</p> <p>① 人材育成基礎研修（対象者：開催地域の市町村等職員）</p> <p>② 人材育成講座（対象者：開催地域の高齢者、市町村等職員） （対象者：同上）</p> <p>③ 人材育成実践研修 （対象者：同上）</p> <p>(4) フォロアップ研修 （対象者：同上）</p> <p>〈開催地域・日程・参加者数〉</p>	<p>市町村等職員はシニア人材の育成・活用に必要スキルが得られ、地域活動に意欲のある高齢者については、必要な知識を習得し、地域の実情に応じた活動の実践につなげることができた。</p>																																								
<p>(6) かごしまシニア人材育成促進事業</p> <p>ア 研修等の運営</p> <table border="1" data-bbox="687 1626 938 2078"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催地域</th> <th colspan="2">開催予定月（予定）</th> <th rowspan="2">会場予定地</th> </tr> <tr> <th>本研修（2日間）</th> <th>フォローアップ研修（1日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>始良・伊佐</td> <td>7月上旬</td> <td>11月中旬</td> <td>霧島市</td> </tr> <tr> <td>大島（奄美大島等）</td> <td>7月下旬</td> <td>11月下旬</td> <td>奄美市・喜望峯</td> </tr> <tr> <td>大原（曽於地区）</td> <td>8月上旬</td> <td>12月上旬</td> <td>曽於市</td> </tr> </tbody> </table>	開催地域	開催予定月（予定）		会場予定地	本研修（2日間）	フォローアップ研修（1日）	始良・伊佐	7月上旬	11月中旬	霧島市	大島（奄美大島等）	7月下旬	11月下旬	奄美市・喜望峯	大原（曽於地区）	8月上旬	12月上旬	曽於市	<table border="1" data-bbox="986 304 1457 1615"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施内容・参加者数</th> <th colspan="3">本 研 修</th> <th rowspan="2">フォローアップ 研修</th> </tr> <tr> <th>人材育成基礎研修</th> <th>人材育成講座</th> <th>人材育成実践研修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催地域・日程</td> <td>市町村等：15人</td> <td>市町村等：14人 高齢者：7人</td> <td>市町村等：14人 高齢者：7人</td> <td>市町村等：11人 高齢者：7人</td> </tr> <tr> <td>【始良・伊佐地域】 本研修： 7月3日(月)～4日(火) (8月4日(金)湧水町) フォローアップ研修： 11月16日(木)</td> <td>市町村等：18人</td> <td>市町村等：13人 高齢者：10人</td> <td>市町村等：13人 高齢者：10人</td> <td>市町村等：17人 高齢者：9人</td> </tr> <tr> <td>【大島地域（奄美大島・喜界）】 本研修： 7月20日(木)～21日(金) フォローアップ研修： 11月28日(火)</td> <td>市町村等：18人</td> <td>市町村等：13人 高齢者：10人</td> <td>市町村等：13人 高齢者：10人</td> <td>市町村等：17人 高齢者：9人</td> </tr> </tbody> </table>	実施内容・参加者数	本 研 修			フォローアップ 研修	人材育成基礎研修	人材育成講座	人材育成実践研修	開催地域・日程	市町村等：15人	市町村等：14人 高齢者：7人	市町村等：14人 高齢者：7人	市町村等：11人 高齢者：7人	【始良・伊佐地域】 本研修： 7月3日(月)～4日(火) (8月4日(金)湧水町) フォローアップ研修： 11月16日(木)	市町村等：18人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：17人 高齢者：9人	【大島地域（奄美大島・喜界）】 本研修： 7月20日(木)～21日(金) フォローアップ研修： 11月28日(火)	市町村等：18人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：17人 高齢者：9人
開催地域		開催予定月（予定）			会場予定地																																					
	本研修（2日間）	フォローアップ研修（1日）																																								
始良・伊佐	7月上旬	11月中旬	霧島市																																							
大島（奄美大島等）	7月下旬	11月下旬	奄美市・喜望峯																																							
大原（曽於地区）	8月上旬	12月上旬	曽於市																																							
実施内容・参加者数	本 研 修			フォローアップ 研修																																						
	人材育成基礎研修	人材育成講座	人材育成実践研修																																							
開催地域・日程	市町村等：15人	市町村等：14人 高齢者：7人	市町村等：14人 高齢者：7人	市町村等：11人 高齢者：7人																																						
【始良・伊佐地域】 本研修： 7月3日(月)～4日(火) (8月4日(金)湧水町) フォローアップ研修： 11月16日(木)	市町村等：18人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：17人 高齢者：9人																																						
【大島地域（奄美大島・喜界）】 本研修： 7月20日(木)～21日(金) フォローアップ研修： 11月28日(火)	市町村等：18人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：13人 高齢者：10人	市町村等：17人 高齢者：9人																																						

②鹿屋市社協	10	428	11	364	64	②④東串良町社協	1	19	0	16	3
③枕崎市社協	1	36	2	31	5	②⑤錦江町社協	1	39	3	30	9
④阿久根市社協	4	231	12	183	48	②⑥南大隅町社協	3	39	2	29	10
⑤出水市社協	4	196	10	131	65	②⑦肝付町社協	5	102	10	85	17
⑥指宿市社協	1	49	1	33	16	②⑧中種子町社協	0	20	1	17	3
⑦西之表市社協	8	82	6	47	35	②⑨南種子町社協	5	29	6	22	7
⑧垂水市社協	4	70	3	50	20	②⑩屋久島町社協	2	36	4	31	5
⑨薩摩川内市社協	14	520	17	425	95	③①大和村社協	1	11	0	8	3
⑩日置市社協	7	151	6	109	42	③②宇検村社協	2	19	1	13	6
⑪曾於市社協	12	191	21	137	54	③③瀬戸内町社協	2	55	5	35	20
⑫霧島市社協	13	456	20	377	79	③④龍郷町社協	2	53	5	37	16
⑬いちき串木野市社協	1	66	3	47	19	③⑤喜界町社協	10	129	11	89	40
⑭南さつま市社協	0	311	12	275	36	③⑥徳之島町社協	2	88	8	63	25
⑮志布志市社協	13	210	11	142	68	③⑦天城町社協	0	44	1	34	10
⑯奄美市社協	4	312	6	260	52	③⑧伊仙町社協	4	33	1	22	11
⑰南九州市社協	10	119	8	96	23	③⑨和泊町社協	11	135	10	90	45
⑱伊佐市社協	5	48	3	29	19	④⑩知名町社協	4	45	5	33	12
⑲始良市社協	22	243	18	172	71	④⑪与論町社協	2	27	1	16	11
⑳さつま町社協	16	148	7	99	49						
㉑長島町社協	0	14	0	6	8	合計	243	5,452	281	4,206	1,246
㉒湧水町社協	9	76	3	47	29	※実利用者数＝契約締結件数（累計）－契約終了件数（累計）					
ウ 契約締結審査会の開催（12回）											
福祉サービス利用支援事業の契約及び解約をするに当たり、利用希望者並びに解約希望者の判断能力等に疑義がある場合等、専門的見地から審査を行った。											
回	開催日	内容		出席者							
第1回	令和5年5月19日(火)	審査案件(1件)	契約状況及び終了報告	5人	6人の構成委員による審査や助言等により、本事業の契約締結等が適切に行われた。						
第2回	令和5年7月18日(火)	審査案件(7件)	契約状況及び終了報告	5人	(構成委員) ・弁護士 1人 ・司法書士 1人 ・精神科医 1人 ・社会福祉士 1人 ・精神保健福祉士 1人 ・社会福祉士 1人 ・学識経験者 計6人						
第3回	令和5年9月19日(火)	審査案件(3件)	契約状況及び終了報告	5人							
第4回	令和5年11月21日(火)	審査案件(3件)	契約状況及び終了報告	5人							
第5回	令和6年1月16日(火)	審査案件(1件)	契約状況及び終了報告	5人							
第6回	令和6年3月19日(火)	審査案件(1件)	契約状況及び終了報告	6人							

1	福祉サービスの利用者への支援	所管部署	生活支援部 福祉サービス利用支援室
	令和5年度事業計画	事業実施概要等	
工	専門員会議の開催 (2回)	<p>相談から契約の締結に至るまでの業務を担う専門員の資質向上を図るための会議及び講演等を行った。</p> <p>【第1回】</p> <p>〈開催日〉 令和5年8月1日(火)</p> <p>〈会場等〉 県社会福祉センター別館会議室 (会場参加型開催)</p> <p>〈内容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の実施状況及び実地業務調査等について</p> <p>イ 福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について</p> <p>ウ 成年後見制度の利用促進について</p> <p>エ 講演 「知的障害者の自立を促す金銭管理について」</p> <p>〈参加者〉 37人</p>	
才	専門員セミナーの開催 (1回)	<p>【第2回】</p> <p>〈開催日〉 令和6年2月28日(水)</p> <p>〈会場等〉 県社会福祉センター別館会議室 (会場参加型)</p> <p>〈内容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の実施状況及び実地業務調査結果等について</p>	
カ	利用支援員研修会の開催 (5地区)	<p>地域での暮らしを支える意思決定支援と権利擁護の積極的推進を担う専門員の資質向上等に資するためのセミナーを開催した。</p> <p>〈開催日〉 令和6年2月28日(水)</p> <p>〈会場等〉 県社会福祉センター別館会議室 (会場参加型開催)</p> <p>〈内容〉 ア 成年後見制度の利用促進について</p> <p>イ 講演 「認知症高齢者の意思決定支援について」</p> <p>〈参加者〉 42人</p>	
		<p>具体的な成果等</p> <p>本事業の担い手である専門員に必要とされる知識や技術の習得により、今後の利用者支援への一助となった。</p> <p>・参加者数：対前年度△23人</p>	
		<p>・参加者数：対前年度+7人</p>	
		<p>福祉サービス利用支援事業を担当する専門員等の資質向上を図られ、適正な事業運営への理解が深められた。</p> <p>・参加者数：対前年度+7人</p>	
		<p>実際の支援を行う利用支援員の実務や役割等の理解を深め、利用者支援に必要な知識を深めることができた。</p>	

	<p>・参加者数：対前年度+2人</p>																																																																
<p>キ 実地等業務調査の実施 (40か所)</p>	<p>〈開催日・会場・参加者〉 令和5年11月13日(月) 鹿児島・南薩・熊毛会場 11人 令和5年11月15日(水) 始良・伊佐会場 24人 令和5年11月28日(火) 曾於・肝属会場 24人 令和5年12月7日(木) 大島会場 13人 令和5年12月12日(火) 川薩・出水会場 20人 計 92人</p> <p>〈内容〉ア 福祉サービス利用支援事業の現状等について イ 講演「精神障害者とのコミュニケーションの取り方」</p> <p>本事業は、利用者及び社会からの信頼の上に成り立つ事業であることから、40か所の基幹的社協について、管理体制や取り組み状況及び預かり書類の確認等を行った。 【実施状況】 〈実地調査及び書類調査〉</p> <table border="1" data-bbox="703 392 1203 1615"> <thead> <tr> <th>基幹的社協名</th> <th>実施日</th> <th>基幹的社協名</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①指宿市社協</td> <td>令和5年10月10日(火)</td> <td>①東串良町社協</td> <td>令和5年9月12日(火)</td> </tr> <tr> <td>②南さつま市社協</td> <td>令和5年9月22日(金)</td> <td>②南大隅町社協</td> <td>令和5年9月12日(火)</td> </tr> <tr> <td>③薩摩川内市社協</td> <td>令和5年10月11日(水)</td> <td>③西之表市社協</td> <td>令和5年12月1日(金)</td> </tr> <tr> <td>④阿久根市社協</td> <td>令和5年10月3日(火)</td> <td>④中種子町社協</td> <td>令和5年11月30日(木)</td> </tr> <tr> <td>⑤出水市社協</td> <td>令和5年10月19日(木)</td> <td>⑤南種子町社協</td> <td>令和5年11月30日(木)</td> </tr> <tr> <td>⑥霧島市社協</td> <td>令和5年11月1日(水)</td> <td>⑥瀬戸内町社協</td> <td>令和5年12月8日(金)</td> </tr> <tr> <td>⑦始良市社協</td> <td>令和5年11月27日(月)</td> <td>⑦喜界町社協</td> <td>令和5年11月8日(水)</td> </tr> <tr> <td>⑧湧水町社協</td> <td>令和5年9月4日(月)</td> <td>⑧徳之島町社協</td> <td>令和5年12月20日(水)</td> </tr> <tr> <td>⑨曾於市社協</td> <td>令和5年10月23日(月)</td> <td>⑨天城町社協</td> <td>令和5年12月21日(木)</td> </tr> <tr> <td>⑩志布志市社協</td> <td>令和5年9月26日(火)</td> <td>⑩伊仙町社協</td> <td>令和5年12月20日(水)</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈書類調査〉</p> <table border="1" data-bbox="1246 707 1457 1615"> <thead> <tr> <th colspan="2">基幹的社協名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①枕崎市社協</td> <td>⑧大崎町社協</td> </tr> <tr> <td>②南九州市社協</td> <td>⑨垂水市社協</td> </tr> <tr> <td>③日置市社協</td> <td>⑩鹿屋市社協</td> </tr> <tr> <td>④いちき串木野市社協</td> <td>⑪錦江町社協</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑫和泊町社協</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑬大和村社協</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑭宇検村社協</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑮龍郷町社協</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑯和泊町社協</td> </tr> </tbody> </table> <p>基幹的社協の実態を把握し、指導・助言を行うことにより適正な事業実施の推進が図られた。</p>	基幹的社協名	実施日	基幹的社協名	実施日	①指宿市社協	令和5年10月10日(火)	①東串良町社協	令和5年9月12日(火)	②南さつま市社協	令和5年9月22日(金)	②南大隅町社協	令和5年9月12日(火)	③薩摩川内市社協	令和5年10月11日(水)	③西之表市社協	令和5年12月1日(金)	④阿久根市社協	令和5年10月3日(火)	④中種子町社協	令和5年11月30日(木)	⑤出水市社協	令和5年10月19日(木)	⑤南種子町社協	令和5年11月30日(木)	⑥霧島市社協	令和5年11月1日(水)	⑥瀬戸内町社協	令和5年12月8日(金)	⑦始良市社協	令和5年11月27日(月)	⑦喜界町社協	令和5年11月8日(水)	⑧湧水町社協	令和5年9月4日(月)	⑧徳之島町社協	令和5年12月20日(水)	⑨曾於市社協	令和5年10月23日(月)	⑨天城町社協	令和5年12月21日(木)	⑩志布志市社協	令和5年9月26日(火)	⑩伊仙町社協	令和5年12月20日(水)	基幹的社協名		①枕崎市社協	⑧大崎町社協	②南九州市社協	⑨垂水市社協	③日置市社協	⑩鹿屋市社協	④いちき串木野市社協	⑪錦江町社協		⑫和泊町社協		⑬大和村社協		⑭宇検村社協		⑮龍郷町社協		⑯和泊町社協
基幹的社協名	実施日	基幹的社協名	実施日																																																														
①指宿市社協	令和5年10月10日(火)	①東串良町社協	令和5年9月12日(火)																																																														
②南さつま市社協	令和5年9月22日(金)	②南大隅町社協	令和5年9月12日(火)																																																														
③薩摩川内市社協	令和5年10月11日(水)	③西之表市社協	令和5年12月1日(金)																																																														
④阿久根市社協	令和5年10月3日(火)	④中種子町社協	令和5年11月30日(木)																																																														
⑤出水市社協	令和5年10月19日(木)	⑤南種子町社協	令和5年11月30日(木)																																																														
⑥霧島市社協	令和5年11月1日(水)	⑥瀬戸内町社協	令和5年12月8日(金)																																																														
⑦始良市社協	令和5年11月27日(月)	⑦喜界町社協	令和5年11月8日(水)																																																														
⑧湧水町社協	令和5年9月4日(月)	⑧徳之島町社協	令和5年12月20日(水)																																																														
⑨曾於市社協	令和5年10月23日(月)	⑨天城町社協	令和5年12月21日(木)																																																														
⑩志布志市社協	令和5年9月26日(火)	⑩伊仙町社協	令和5年12月20日(水)																																																														
基幹的社協名																																																																	
①枕崎市社協	⑧大崎町社協																																																																
②南九州市社協	⑨垂水市社協																																																																
③日置市社協	⑩鹿屋市社協																																																																
④いちき串木野市社協	⑪錦江町社協																																																																
	⑫和泊町社協																																																																
	⑬大和村社協																																																																
	⑭宇検村社協																																																																
	⑮龍郷町社協																																																																
	⑯和泊町社協																																																																

1	福祉サービスの利用者への支援	生活支援部 福祉サービス利用支援室	所管部署									
令和5年度事業計画		事業実施概要等										
		<p style="text-align: center;">基幹的社協名</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="320 2011 368 2083">⑤さつま町社協</td> <td data-bbox="320 1608 368 2011">⑫肝付町社協</td> <td data-bbox="320 1205 368 1608">⑲知名町社協</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 2011 416 2083">⑥長島町社協</td> <td data-bbox="368 1608 416 2011">⑬屋久島町社協</td> <td data-bbox="368 1205 416 1608">⑳与論町社協</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 2011 464 2083">⑦伊佐市社協</td> <td data-bbox="416 1608 464 2011">⑭奄美市社協</td> <td></td> </tr> </table>		⑤さつま町社協	⑫肝付町社協	⑲知名町社協	⑥長島町社協	⑬屋久島町社協	⑳与論町社協	⑦伊佐市社協	⑭奄美市社協	
⑤さつま町社協	⑫肝付町社協	⑲知名町社協										
⑥長島町社協	⑬屋久島町社協	⑳与論町社協										
⑦伊佐市社協	⑭奄美市社協											
<p>ク 関係機関・団体との連携</p>	<p>① 鹿児島県地域生活定着支援センター関係機関連絡会議 〈開催日〉令和5年8月7日(月) 〈参加機関・団体〉 県保護司会連合会，県更生保護女性連盟，更生保護法 人草牟田会，県知的障害者福祉協議会，県老人福祉施設 協議会，県民生委員児童委員協議会，県社会福祉協議 会，県社会福祉士会，県手をなぐ育成会，県精神保 健福祉会連合会，鹿児島障害者職業センター，鹿児島 労働局職業安定部職業対策課，鹿児島保健観察所，鹿 児島刑務所，鹿児島少年鑑別所，県精神保健福祉セン ター，県子ども総合療育センター，鹿児島知的障害者 更生相談所，かごしま子ども若者総合相談センター， 県社会福祉課，県高齢者生き生き推進課，県障害福祉 課，県青少年男女共同参画課，鹿児島地方検察庁，県 弁護士会，県地域生活定着支援センター 〈内 容〉令和4年度鹿児島県地域生活定着支援センター事 業報告</p> <p>② 鹿児島市成年後見制度推進協議会 〈開催日〉令和5年6月27日(火) 令和5年9月29日(金) 令和6年2月8日(木) 〈参加機関・団体〉 県社会福祉士会，県弁護士会，成年後見センター・リ ーガルサポート鹿児島支部，南九州税理士会鹿児島県 連合会，コスモス成年後見サポートセンター鹿児島県 支部，県精神保健福祉士協会，市社会福祉協議会，県 社会福祉協議会，市地域包括支援センター，市障害者基</p>											
		<p>県及び関係機関等が主催する 会議等へ出席し，関係者との意 見交換を行い本事業についての 理解が得られ，事業を推進する ための関係機関等とのネットワ ーク構築が図られた。</p>										

	<p>幹相談支援センター、特定非営利活動法人介護支援専門員協会鹿児島、県医療ソーシャルワーカー協会、市知的障害施設連絡協議会、市老人福祉施設協議会、市民生委員児童協議会、公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島支部、市手をつなぐ育成会、市精神保健福祉会連絡協議会、県銀行協会、市健康福祉局すこやか長寿部、市健康福祉局福祉部</p> <p>〈内容〉 ア 令和4年度鹿児島市成年後見センター業務実績について イ 令和5年度鹿児島市成年後見センター業務計画について ウ 任意後見制度の利用促進について エ 成年後見制度の周知等に関する取組状況について オ 受任者調整について 等</p>	<p>事業の説明や広報紙等の配布を行うことよって、本事業への理解及び協力体制が深められた。</p>
<p>ケ 広報・啓発活動の推進</p>	<p>① 県内各種関係機関団体研修会等での広報・啓発活動 ア 被保護世帯法律問題研修 〈開催日〉令和5年9月14日(木) 〈会場〉県社会福祉センター 〈参加者〉県・市ケースワーカー等 42人 〈内容〉福祉サービス利用支援事業について</p> <p>② リーフレットの配布 市町村社協や行政等の関係機関に配布して、事業の広報に努めた。</p> <p>③ 本会広報紙「ふくしのひろば」への情報掲載等 事業内容や連絡先等を広報紙に掲載し、県内の各機関団体等に配布したほか、ホームページ等を通じて本事業の広報に努めた。</p>	
<p>2 福祉サービスの苦情解決の推進</p> <p>(1) 福祉サービス苦情解決事業 ア 福祉サービス運営適正化委員会の運営 (7) 運営適正化委員会の開催(2回) (4) 福祉サービス利用支援事業運営監視委員会の開催(4</p>	<p>県社協に第三者機関として設置されている「福祉サービス運営適正化委員会」を運営し、福祉サービス利用支援事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情の適切な解決に努めた。 また、多様化する苦情等の解決に向けた取組や情報共有等を図るため、九州ブロックの運営適正化委員会協議のほか、全社協主催の研修会等にオンライン等で参加した。</p>	<p>所管部署 長寿社会推進部</p> <p>定期的な委員会開催により、福祉サービス利用支援事業の適正な運営が確保されるとともに、利用者等からの苦情に対して速やかな対応がなされた。 また、九州ブロックの運営適正化委員会協議のほか、全社協</p>

2 福祉サービスの苦情解決の推進	所管部署	長寿社会推進部
令和5年度事業計画	事業実施概要等	
イ 相談・苦情の受付	具体的成果等	
<p>回)及び基幹的社協現地訪問調査の実施(11か所)</p> <p>(ウ)福祉サービスに関する苦情解決委員会の開催(6回)</p> <p>(エ)九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議への参加(1回:長崎県)</p>	<p>① 運営適正化委員会 2回</p> <p>② 運営監視委員会 4回</p> <p>③ 運営監視委員会による福祉サービス利用支援事業 11か所</p> <p>④ 基幹的社協現地訪問調査 6回</p> <p>⑤ 苦情解決委員会 1回</p> <p>⑥ 運営適正化委員会委員を選考する選考委員会 1回</p> <p>⑦ 九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議 1回</p> <p>⑧ 運営適正化委員会事業研究協議会及び相談員研修会 2回</p>	<p>主催の研修会等にオンライン等により参加し、苦情案件の対応や事業所における苦情解決体制整備など情報交換の機会を得ることができた。</p>
<p>イ 相談・苦情の受付</p>	<p>福祉サービス利用者等からの苦情の受付 107件</p> <p>[内訳]</p> <p>① 申出人：利用者55件，家族45件，職員2件，その他5件</p> <p>② 対象種別：高齢者21件，障害者62件，児童21件，その他3件</p> <p>③ 解決結果：相談助言92件，紹介伝達11件，あっせん0件，県への通知0件，その他2件，継続中1件，不調1件</p> <p>その他問い合わせ・相談の受付 33件</p>	<p>受け付けた苦情については、助言や適切な機関等への伝達を図ること、利用者等の福祉サービス利用につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情の受付件数 対前年度+23件 ・その他問い合わせ件数 対前年度+12件
<p>ウ 広報・啓発活動の実施</p> <p>(7) 広報紙「ふくしのひろば」、ホームページへの掲載</p> <p>(4) ポスター・リーフレットの配布</p>	<p>① 広報紙「ふくしのひろば」への掲載(1回)</p> <p>② 本会ホームページによる広報啓発</p> <p>③ ポスター，リーフレットの配布</p> <p>ポスター配布数：1,876部，リーフレット配布数：479部</p>	<p>ホームページに掲載するなど内容充実を図り、福祉関係者及び一般県民へのより一層の制度周知につながった。</p>
<p>エ 研修会の実施</p> <p>(7) 相談・苦情解決事業に関する研修会〔初級編〕(1回:9月頃)</p>	<p>令和5年度福祉サービスに関する相談・苦情解決事業研修会(初級編)の開催</p> <p>〈開催日〉令和5年10月3日(火)</p> <p>〈開催方法〉オンライン(Zoom)開催</p> <p>〈参加者〉苦情受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員 338人</p> <p>〈内容〉説明：「運営適正化委員会の取り組み状況について」 鹿児島県福祉サービス運営適正化委員会事務局 局長 講義1：「福祉サービスにおける相談・苦情への基本的対応」 鹿児島国際大学 教授 茶屋道拓哉 氏 講義2：「カスタマーハラスメントへの対応」 株式会社ツクイスタフ パートナー講師 郡 清美氏</p>	<p>事業者に必要な苦情解決の取組の基本や苦情解決に必要な基本的対応等を学んだことで、各事業所における苦情対応への参考となり、苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員の役割と対応について、なお一層の理解が深まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：対前年度+138人

<p>才 事業所への巡回訪問の実施 (30か所)</p>	<p>社会福祉事業の事業者段階における自主的な苦情解決が適切に行われるよう、県内の各事業所を訪問して苦情解決体制の整備状況を把握するとともに、体制整備に関する相談・助言に応じ、福祉サービス向上につなぐことのできる苦情解決体制の構築に向けて、県内30事業所への巡回訪問を実施した。 (巡回内訳) 高齢分野事業所：10か所、児童分野事業所：10か所 障害分野事業所：10か所</p>	<p>巡回訪問を行った結果、それぞれの体制整備状況を把握でき、かつ第三者委員等の体制整備が図られていない事業所について、体制整備の構築につながった。</p>																																																																																																											
<p>力 調査研究活動の実施 福祉サービス相談・苦情解決体制整備状況調査</p>	<p>県内事業所(運営主体別)を対象に、相談・苦情解決体制整備状況調査を実施し、現状を把握するとともに、集計結果をホームページ等で公表した。 対象：令和5年度 県内社会福祉法人</p>	<p>県内事業所(社会福祉法人運営)の相談・苦情解決体制整備状況について調査を行い、ホームページ等で結果を公表することと各事業所における体制整備を促した。</p>																																																																																																											
<p>I-3 生活困窮世帯等の自立促進</p>																																																																																																													
<p>1 生活福祉資金の貸付</p>	<p>生活福祉資金の貸付</p>	<p>生活支援部</p>																																																																																																											
<p>(1) 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付</p>	<p>低所得世帯等援助を必要とする方々の経済的自立と生活意欲の助長及び社会参加の促進を図るため、資金の貸付や必要な援助指導を行った。(貸付決定状況については下表のとおり) また、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の被災地(穴水町・輪島市)へ職員2名を派遣し、貸付業務の支援を行った。</p>	<p>原材料価格の上昇に伴う物価高等により、経済的困難を抱える低所得世帯等に対して、貸付による経済的な支援を行うことができた。</p>																																																																																																											
<p>[令和5年度生活福祉資金申込及び貸付決定状況] (単位：千円)</p>																																																																																																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">申込状況</th> <th colspan="3">貸付決定状況</th> <th colspan="2">前年度に対する比較増減</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>構成率%</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>生活支援費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>964</td> <td>517,300</td> </tr> <tr> <td>(内数)特例貸付</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>964</td> <td>517,300</td> </tr> <tr> <td>住宅入居費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	申込状況		貸付決定状況			前年度に対する比較増減		件数	金額	件数	金額	構成率%	件数	金額	生活支援費	0	0	0	0	0	964	517,300	(内数)特例貸付	-	-	-	-	-	964	517,300	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	総合支援資金								<table border="1"> <tr> <th colspan="2">申込に対する決定の比較</th> <th colspan="2">前年度</th> <th colspan="2">前年度に対する比較増減</th> </tr> <tr> <th>件数%</th> <th>金額%</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>964</td> <td>517,300</td> <td>△964</td> <td>△517,300</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>964</td> <td>517,300</td> <td>△964</td> <td>△517,300</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	申込に対する決定の比較		前年度		前年度に対する比較増減		件数%	金額%	件数	金額	件数	金額	-	-	964	517,300	△964	△517,300	-	-	964	517,300	△964	△517,300	-	-	0	0	0	0	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">申込に対する決定の比較</th> <th colspan="2">前年度</th> <th colspan="2">前年度に対する比較増減</th> </tr> <tr> <th>件数%</th> <th>金額%</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>964</td> <td>517,300</td> <td>△964</td> <td>△517,300</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>964</td> <td>517,300</td> <td>△964</td> <td>△517,300</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	申込に対する決定の比較		前年度		前年度に対する比較増減		件数%	金額%	件数	金額	件数	金額	-	-	964	517,300	△964	△517,300	-	-	964	517,300	△964	△517,300	-	-	0	0	0	0
区分		申込状況		貸付決定状況			前年度に対する比較増減																																																																																																						
	件数	金額	件数	金額	構成率%	件数	金額																																																																																																						
生活支援費	0	0	0	0	0	964	517,300																																																																																																						
(内数)特例貸付	-	-	-	-	-	964	517,300																																																																																																						
住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																						
総合支援資金																																																																																																													
申込に対する決定の比較		前年度		前年度に対する比較増減																																																																																																									
件数%	金額%	件数	金額	件数	金額																																																																																																								
-	-	964	517,300	△964	△517,300																																																																																																								
-	-	964	517,300	△964	△517,300																																																																																																								
-	-	0	0	0	0																																																																																																								
申込に対する決定の比較		前年度		前年度に対する比較増減																																																																																																									
件数%	金額%	件数	金額	件数	金額																																																																																																								
-	-	964	517,300	△964	△517,300																																																																																																								
-	-	964	517,300	△964	△517,300																																																																																																								
-	-	0	0	0	0																																																																																																								

1 生活福祉資金の貸付		事業実施概要等										所管部署		生活支援部	
令和5年度事業計画		具体的成果等													
区分 資金の種類	申込状況		貸付決定状況			申込に対する 決定の比較		前年度 貸付決定状況		前年度に対する 比較増減		金額	件数	金額	件数
	件数	金額	件数	金額	構成率%	件数%	金額%	件数	金額	件数	金額				
一時生活再建費	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉費	115	34,216	115	34,216	25.8	100.0	100.0	124	28,317	△9	5,899				
緊急小口資金 (内数)特例貸付	85	7,640	85	7,640	5.7	100.0	100.0	1,320	256,921	△1,235	△249,281				
教育支援資金	119	90,832	119	90,832	68.5	100.0	100.0	123	76,806	△4	14,026				
不動産担保 型生活資金	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0				
要保護世帯向 け 不動産担保型 生活資金	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0				
合計	319	132,688	319	132,688	100.0	100.0	100.0	2,531	879,344	△2,212	△746,656				
(内数)特例貸付	1	100	1	100	—	100.0	100.0	2,241	770,580	△2,240	△770,480				
〔令和5年度離職者生活支援つなぎ資金申込及び貸付決定状況〕 ※平成21年10月創設 (単位：千円)															
区分 資金の種類	申込状況		貸付決定状況			申込に対する 決定の比較		前年度 貸付決定状況		前年度に対する 比較増減		金額	件数	金額	件数
	件数	金額	件数	金額	件数%	金額%	件数	金額	件数	金額					
離職者生活支援 つなぎ資金	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<p>ア 適正な資金貸付の推進 市町村協と連携して審査体制を充実し、適正な貸付 を実行することにより、制度の趣旨に基づく生活福祉資 金の運営を推進する。</p>	<p>生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（年3回） 県社協のホームページ、広報紙「ふくしのひろば」他、各市町村 の社協だより等により周知を図った。</p>	<p>生活福祉資金貸付制度の理解 を深めることができた。</p>
<p>イ 生活福祉資金の広報及び活用促進 県社協広報紙及びホームページ等にお いて、資金の広報啓発を行う。</p>	<p>令和5年度第1回市町村協生活福祉資金事務担当者会議 〈期 日〉 令和5年4月21日(金) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 68人 〈内 容〉 ①事業説明：「生活福祉資金貸付業務の流れとポイントについて」</p>	<p>生活福祉資金貸付制度の現状 と債権管理について理解を深め るとともに、各種資金の貸付相 談におけるポイントを整理・確 認することができた。</p>
<p>ウ 市町村協協担当職員研修の 充実 資金貸付から債権回収までの一連の留意事項について 周知を図るとともに、初任者向けのわかりやすい研修を 行い、市町村協協担当職員のスキルアップを図る。</p>	<p>令和5年度第2回市町村協生活福祉資金事務担当者会議 〈期 日〉 令和5年9月27日(水) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 61人 〈内 容〉 ①事業説明：「特別貸付における償還猶予後の免除手続きについて」 ②事業説明：「ソーシャル・キャピタル調査の実施について」 ③意見交換：「地域くらし・ささえあい事業におけるアウト リーチ等について」</p>	
<p>エ 市町村協協貸付事務指導 市町村協の担当者との連携を十分に図り、適正な貸 付事務ができるように年間を通じて指導を行う。</p>	<p>令和5年度第3回市町村協生活福祉資金事務担当者会議 〈期 日〉 令和6年3月28日(水) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 60人 〈内 容〉 ①事業説明：「会計実地検査の報告について」 ②事業説明：「特別貸付における区分経理の考え方・対応について」 ③意見交換：「地域くらし・ささえあい事業における償還月 報等の活用方法について」</p>	<p>市町村協への迅速な事務指 導により、円滑な資金貸付業務 に寄与することができた。</p>
<p>オ 各市町村民生委員児童委員協議会 の定例会研修への職員派遣</p>	<p>県内の各市町村民協からの要請により職員を派遣するととも に、研修会実施の支援を行った。</p>	<p>民生委員児童委員への制度の 認識が深められた。</p>

1 生活福祉資金の貸付	所管部署	生活支援部																		
<p>令和5年度事業計画</p> <p>市町村民協定例会研修等に出向き資金の概要説明を行うことで制度の理解を深めるとともに利用促進を図る。</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>市町村単位民児協等 定例会・研修会 4回</p> <p>〈派遣回数等〉〈対象者数〉 209名</p>	<p>具体的成果等</p>																		
<p>(2) 市町村社協の相談支援体制の充実</p> <p>相談支援体制を充実するため、専任の相談員を配置する市町村社協に対し財政的支援を行う。(対象社協：8社協)</p>	<p>平成21年10月からの資金貸付制度の大幅な見直し・実施に伴い、市町村社協において相談件数の急増に対応している専任の相談員の経費について、相談・貸付の状況に応じて財政的な支援を行った。</p> <p>〈対象社協数〉 8 市社協 〈交付総額〉 25,550千円 〈内容〉 相談員の人件費に対する経費の助成</p>	<p>市町村社協の相談員が増員配置されたこと等により、借入相談者への丁寧で適切な相談支援が図られ、過重となっている相談員の負担軽減が図られた。</p>																		
<p>(3) 市町村社協等との連携による債権管理の充実</p> <p>市町村社協や民生委員との緊密な連携の下、借入者の状況、償還状況等の把握と情報の整理、共有化に努める。また、市町村社協の償還指導等に対し、適切な指導・助言を行う。</p>	<p>償還指導推進員を設置し、債権管理強化体制を強化した。</p> <p>〈設置数〉 県社協 3人 鹿児島市社協 1人</p>	<p>専任者の配置により、債権管理体制が強化され借受関係者の状況把握や償還指導の充実が図られた。</p>																		
<p>(4) 債権管理の強化、推進</p> <p>償還期月間を設け、滞納債権者に督促状や催告書を、計画的償還実行者へは連絡通知を送付し、債務状況の認識と償還意識の高揚を図るとともに、償還指導を強化する。特に滞納期間が長い方、償還実績が無い方等の悪質な滞納債権者に対しては、直接訪問し償還指導を行うとともに、必要に応じて法的措置を講ずる。</p>	<p>借入関係者の債務状況を確認するため、市町村社協へ毎月、償還月次報告書を送付した。また、滞納している借入関係者に対して、「督促状」及び「残高のお知らせ」を発送し、償還指導を行った。</p> <p>①督促状送付（年2回）</p> <table border="1" data-bbox="1029 779 1177 1570"> <thead> <tr> <th></th> <th>本則</th> <th>特例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年6月</td> <td>1, 5 4 3 件</td> <td>3, 8 7 7 件 (緊急小口:2, 448件 総合:1, 429件)</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月</td> <td>1, 5 3 9 件</td> <td>4, 7 3 8 件 (緊急小口:2, 930件 総合:1, 808件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②残高のお知らせ送付（年2回）</p> <table border="1" data-bbox="1225 779 1374 1570"> <thead> <tr> <th></th> <th>本則</th> <th>特例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年6月</td> <td>1, 8 3 8 件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月</td> <td>1, 6 6 1 件</td> <td>6, 2 2 7 件 (緊急小口:3, 937件 総合:2, 290件)</td> </tr> </tbody> </table>		本則	特例	令和5年6月	1, 5 4 3 件	3, 8 7 7 件 (緊急小口:2, 448件 総合:1, 429件)	令和6年3月	1, 5 3 9 件	4, 7 3 8 件 (緊急小口:2, 930件 総合:1, 808件)		本則	特例	令和5年6月	1, 8 3 8 件	—	令和6年3月	1, 6 6 1 件	6, 2 2 7 件 (緊急小口:3, 937件 総合:2, 290件)	<p>滞納している借受関係者に対する文書や面接による償還指導の実施により、償還意識の喚起や債権回収が促進された。</p>
	本則	特例																		
令和5年6月	1, 5 4 3 件	3, 8 7 7 件 (緊急小口:2, 448件 総合:1, 429件)																		
令和6年3月	1, 5 3 9 件	4, 7 3 8 件 (緊急小口:2, 930件 総合:1, 808件)																		
	本則	特例																		
令和5年6月	1, 8 3 8 件	—																		
令和6年3月	1, 6 6 1 件	6, 2 2 7 件 (緊急小口:3, 937件 総合:2, 290件)																		

〔令和5年度生活福祉資金種類別償還状況：本則〕

(単位：千円)

	償還計画額 A	償還免除額 B	償還予定額 C=A-B	償還済額 D	未償還額 C-D	償還率 D/C %	貸付中 の件数	前年度 償還率%	前年度に 対する 比較増減
総合支援資金	51,797	2,229	49,568	1,822	47,746	3.7	148	5.6	△1.9
更生資金	26,660	607	26,053	1,652	24,401	6.3	78	6.3	0.0
障害者更生資金	6,485	794	5,691	269	5,422	4.7	10	4.1	0.6
生活資金	2,592	0	2,592	0	2,592	0.0	4	1.0	△1.0
福祉資金	77,968	13	77,955	28,735	49,220	36.9	533	40.2	△3.3
住宅資金	19,322	0	19,322	413	18,909	2.1	33	2.4	△0.3
療養介護等資金	238	0	238	18	220	7.6	5	6.7	0.9
災害援護資金	1,522	0	1,522	94	1,428	6.2	8	12.7	△6.5
生活復興支援資金	681	0	681	0	681	0	1	0	0
緊急小口資金	27,266	1,685	25,581	4,913	20,668	19.2	445	16.8	2.4
小計	162,734	3,099	159,635	36,094	123,541	22.6	1,117	23.4	△0.8
教育支援資金	151,075	352	150,723	36,976	113,747	24.5	1,414	23.7	0.8
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	-	1	-	-
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	534	△534	0	△534	-	12	-	-
離職者支援資金	42,753	2,792	39,961	1,882	38,079	4.7	40	3.2	1.5
合計	408,359	9,006	399,353	76,774	322,579	19.2	2,732	19.0	0.2
現年度分	73,347	13	73,334	52,714	20,620	71.9		74.3	△2.4
過年度分	335,012	8,993	326,019	24,060	301,959	7.4		7.1	0.3

〔令和5年度離職者生活支援つなぎ資金償還状況〕

(単位：千円)

	償還計画額 A	償還免除額 B	償還予定額 C=A-B	償還済額 D	未償還額 C-D	償還率 D/C %	貸付中 の件数	前年度 償還率%	前年度に 対する 比較増減
離職者生活支援つなぎ資金	450	0	450	61	389	13.6	7	8.9	4.7

〔令和5年度生活福祉資金種類別償還状況：コロナ特例貸付〕

(単位：千円)

総合支援資金 (コロナ)	1,935,804	1,646,466	289,338	131,085	158,253	45.3	12,239	55.1	△9.8
緊急小口資金 (コロナ)	1,026,518	271,498	755,020	359,231	395,789	47.6	8,357	64.1	△16.5

1 生活福祉資金の貸付		事業実施概要等					所管部署	生活支援部	
令和5年度事業計画		事業実施概要等					具体的成果等		
合計	2,962,322	1,917,964	1,044,358	490,316	554,042	46.9	20,596	61.5	△14.6
現年度分	2,959,850	1,917,964	1,041,886	490,196	551,690	47.0		66.9	△19.9
過年度分	2,472	0	2,472	120	2,352	4.9		7.1	△2.2
<p>市町村社協を訪問し、管内の借入関係者の状況等について聞き取りを行うとともに、長期滞納者については個別に訪問し、償還等の指導を行った。</p> <p>〈訪問数〉 4市町村社協 20回 個別訪問関係者延べ163人</p>									
<p>(5) 償還困難案件の適切な処理 償還困難で償還免除の適格要件を具備する債権について、適切な処理を行う。</p>		<p>訪問による償還指導や市町村社協を通じて状況調査等を実施し、借入関係者が死亡するなど免除要件に該当している案件については償還免除を行い、貸付債権の適切な整理を行った。</p>		<p>〈償還金免除〉 …………… 34件 償還元金免除額 9,005,417円 貸付利子免除額 503,426円 延滞利子免除額 14,243,128円 〈延滞利子免除〉 …………… 35件 延滞利子免除額 32,046,291円</p>		<p>償還免除及び償還猶予業務を適切に実施したことにより、特例貸付の債権管理業務を推進することができた。</p>			
<p>(6) 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の債権管理 ア 市町村社協等との連携による債権管理の充実 イ 償還免除・償還猶予への対応 償還免除及び償還猶予の適格要件を満たす債権について、適切な処理を行う。</p>		<p>令和5年度 償還免除決定件数 4,724件 (対前年比:△6,795件) " " 決定金額 1,917,963,989円 (対前年比:△1,918,364,437円)</p> <p>令和5年度 償還猶予決定件数 891件 (対前年比:△257件) " " 決定金額 329,890,000円 (対前年比:△54,080,000円)</p>							
2 貸付後の相談支援の強化							所管部署	生活支援部	
<p>新1) 地域くらし・ささえあい事業 ア 市町村社会福祉協議会の体制基盤強化 相談員の配置（人件費等の補助）</p>		<p>緊急小口資金等特例貸付の償還に当たって、生活に困窮している方を早期に支援する観点から、訪問等のアウトリーチによるプッシュ型の支援を行うため、相談員を配置するなど市町村社会福祉協議会の相談支援体制の整備を行った。 また、アウトリーチ等の支援が円滑に行えるよう相談員に対する研修会や会議等を開催し、相談員への支援を行った。</p>						<p>市町村社協に設置された相談員により、緊急小口資金等の特例貸付の借受人に対して、償還免除や償還猶予の申請手続きが円滑に行えるよう支援すること等を通して、生活に困窮している方を早期に支援する相談支援</p>	

<p>イ 貸付担当者によるアウトリーチ等事業借受人にアウトリーチを行い、生活課題を把握し、問題解決に向けて寄り添い支援を行う。</p> <p>ウ 地域支え合いマッチング事業借受人同士のピアカウンセリングを通して、信頼関係を構築し、潜在課題の抽出を行う。</p> <p>エ 生活情報ICT活用支援事業孤立している借受人や情報弱者に對して、ICTを活用して生活支援の情報を届ける。</p> <p>オ 県社会福祉協議会のコミュニティ事業市町村社会福祉協議会の事業実施状況に応じて、効果的な事業戦略・実施・評価・改善・事業効果の助言等を行う。</p>	<p>(1) 市町村社協への相談員設置状況 相談員数 69人(40社協)</p> <p>(2) 相談員研修の実施 ア 令和5年度第1回地域くらし・ささえあい事業相談員研修会 〈期 日〉 令和5年4月21日(金) 〈開催方法〉 Web会議システム (Zoom) 〈参加者数〉 68人 〈内 容〉 ①事業説明：「特例貸付と新規事業の内容について」 ②事業説明：「新規事業の進め方について」 ③ブレイクアウトルーム「自己紹介や情報交換等」</p> <p>イ 令和5年度第2回地域くらし・ささえあい事業相談員研修会 〈期 日〉 令和5年5月17日(水) 〈開催方法〉 Web会議システム (Zoom) 〈参加者数〉 58人 〈内 容〉 ①講義「ソーシャルキャピタル調査の実施と進め方について」 ②講義「相談支援における対人援助技術と記録について」 ③ブレイクアウトルーム「対人援助の実践とアプローチ手法」</p>	<p>体制の強化に資することができた。 また、住所不明の借受人に対しては、ショートメールで一斉送信を行うなどICTを活用することによって、支援に資する情報を届けることができた。</p> <p>(市町村社協への訪問指導) 11社協</p>
<p>ウ 令和5年度第3回地域くらし・ささえあい事業相談員研修会 〈期 日〉 令和5年6月26日(月) 27日(火) 〈開催場所〉 県社会福祉センター別館2階会議室 〈参加者数〉 53人 〈内 容〉 ①講義「さぬき市におけるネットワークを活用した生活困窮者支援」 ②講義「相談者へのアプローチ手法と工夫について」 ③演習「事例をもとにしたケース検討」</p> <p>(3) 相談員会議の実施 ア 令和5年度地域くらし・ささえあい事業第1回エリア会議 〈期 日〉 令和5年12月13日(水) 〈開催方法〉 Web会議システム (Zoom) 〈参加者数〉 71人 〈内 容〉 ①実践報告「鹿屋市における借受人へのアウトリーチ等について」 ②エリア会議「アウトリーチ手法と展開等について」 ③全体会議「特例貸付における償還状況について」</p>	<p>ウ 令和5年度第3回地域くらし・ささえあい事業相談員研修会 〈期 日〉 令和5年6月26日(月) 27日(火) 〈開催場所〉 県社会福祉センター別館2階会議室 〈参加者数〉 53人 〈内 容〉 ①講義「さぬき市におけるネットワークを活用した生活困窮者支援」 ②講義「相談者へのアプローチ手法と工夫について」 ③演習「事例をもとにしたケース検討」</p> <p>(3) 相談員会議の実施 ア 令和5年度地域くらし・ささえあい事業第1回エリア会議 〈期 日〉 令和5年12月13日(水) 〈開催方法〉 Web会議システム (Zoom) 〈参加者数〉 71人 〈内 容〉 ①実践報告「鹿屋市における借受人へのアウトリーチ等について」 ②エリア会議「アウトリーチ手法と展開等について」 ③全体会議「特例貸付における償還状況について」</p>	

2	貸付後の相談支援の強化	生活支援部
令和5年度事業計画		具体的成果等
事業実施概要等		
イ	令和5年度地域くらし・ささえあい事業第2回エリア会議 〈期 日〉 令和6年1月26日(金) 〈開催方法〉 Web会議システム (Zoom) 〈参加者数〉 73人 〈内 容〉 ①エリア会議「チラシ・報告・記録・共有について」 ②全体会議「地域くらし・ささえあい事業における実績報告について」	
ウ	令和5年度地域くらし・ささえあい事業第3回エリア会議 〈期 日〉 令和6年2月21日(水) 〈開催方法〉 Web会議システム (Zoom) 〈参加者数〉 65人 〈内 容〉 ①調査報告「ソーシャル・キャピタル調査の分析結果について」 ②エリア会議「令和6年度に向けての取り組みと準備について」 ③全体会議「全体での情報交換」	

II 福祉人材の養成・確保

II-1 福祉人材の確保に向けた取組の強化		所管部署	福祉人材・研修センター
1	福祉人材の安定的な確保を図るための支援	具体的成果等	
令和5年度事業計画			
(1) 福祉人材無料職業紹介業務 ア 求人開拓, 求人求職登録, 紹介あっせん	福祉施設及び福祉系学校を訪問し, 福祉人材無料職業紹介所の利用促進と求人求職者の開拓及び各種情報提供を行った。 また, 求人施設及び求職者に対して, 求人求職登録を推進した。 ① 求人求職者開拓 〈訪問延箇所数〉 784か所 (事業所 482か所, 学校等 301か所) ② 求人求職登録, 紹介あっせん業務 〈求職者数〉 47人 ※3月末数。4~3月累計は722人 〈求人者数〉 370人 ※3月末数。4~3月累計は6,543人 〈採用者数〉 58人 ③ 相談件数 2,426件 ※HP-ワーク相談等での実績含む。	キャリア支援専門員が中心となつて福祉施設及び福祉系学校等を訪問することにより, 福祉人材無料職業紹介所の周知と利用促進に資することができた。 また, 求人や求職者の登録, 紹介あっせん業務を通じ, 求職者の就業支援及び福祉職場の人材確保に資することができた。	
イ 広報紙, インターネット等による各種情報の提供	福祉保健職場へ就職を希望する人等に対し, 事業所情報, 求人情報, 各種講座, イベントの開催, 資格取得方法等の詳細情報をメール配信やSNS (Facebook) 等により提供した。	事業所・求人情報や講座・イベント開催, 資格取得方法等の詳細情報提供により, 求職者の就業支援に資することができた。	
ウ 関係機関・団体との連携, 情報交換	福祉人材無料職業紹介事業を円滑に推進するため「無料職業紹介事業に係る連絡会議」を開催した。 〈開催日〉 令和5年7月3日(月) 〈会場〉 県社会福祉センター 〈参加者〉 鹿児島労働局職業安定課需給調整事業室, 鹿児島公共職業安定所, 県看護協会ナースセンター, 県医師協同組合, 県社会福祉課 県社協福祉人材・研修センター 所管事業の最近の動向, 福祉・保健医療職場の人材確保に関する情報交換及び事業面での協力・連携について など	無料職業紹介事業に係る連絡会議の開催により, 人材確保に向けた関係機関・団体との連携を円滑に行うことができた。	
(2) 福祉・保健医療のしごと就職・転職フェアの開催 ア 期日 令和5年10月14日(土) イ 会場 鹿児島市	福祉・保健医療職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため, 「就職・転職フェア」を開催した。 〈開催日〉 令和5年10月14日(土) 〈会場〉 かごしま県民交流センター	福祉・保健医療職場に就職を希望する求職者と求人事業者が直接面談するイベントを開催することで, 福祉・保健医療職場	

1	福祉人材の安定的な確保を図るための支援	所管部署	福祉人材・研修センター
令和5年度事業計画		具体的成果等	
	<p>事業実施概要等</p> <p>〈参加人数〉 57法人 (45ブース) ※うちオンライン面談: 10法人 〈求人数〉 252件 〈参加求職者〉 60人 〈面談者延人数〉 168人 〈採用決定者数〉 11人 〈共催団体〉 全国社会福祉協議会など4団体</p>		<p>の人材確保及び就職希望者の求職活動が支援できた。</p>
<p>(3) 福祉人材総合セミナー講座の開催 福祉職場就職支援講座 期日 令和5年12月2日(土) 12月9日(土)</p>	<p>福祉に係る知識・介護技術の習得等、福祉人材に関する情報を提供するため各種講座を開催した。 ① 福祉職場就職支援講座 〈開催日〉 令和5年12月2日(土)、12月9日(土) 〈回数〉 全4講座 〈会場〉 かごしま県民交流センター 〈参加人員〉 全4講座で延べ24人 〈対象者〉 福祉職場に就職・復職を希望する一般の方々及び学生 〈内容〉 福祉の基礎知識及び介護技術の基礎(立位、ベッド上での移動、車いす介助、衣服着脱、排泄介助) など</p>		<p>福祉についての理解を深めてもらうとともに、進路選択や福祉の職場で働くために必要な知識や技術を習得してもらう講座を開催することにより、福祉職場への理解と就職活動への支援に資することができた。</p>
<p>イ ミナ 上記(2)の就職・転職フェアと同日開催</p>	<p>② 福祉人材養成講座(福祉のしごと就職・転職セミナー) 〈開催日〉 令和5年10月14日(土) 〈会場〉 かごしま県民交流センター 〈参加人員〉 12人 〈対象者〉 福祉職場への就職を希望するなど福祉に関心がある者(シニア層含)、大学、短大、専門学校等の最終学年在学者 〈内容〉 (1) 福祉の職場の現状と就職の心構え (2) 福祉のお仕事紹介(老人福祉施設、障害者福祉施設、児童養護施設、老人保健施設)</p>		<p>就職希望者に福祉職場の概要等を学ぶ機会を提供することで、現場の雰囲気や伝わり、福祉職場に関するイメージアップと就職面談会での面談の促進に資することができた。</p>
<p>(4) 福祉人材確保支援セミナーの開催 期日 令和5年9月5日(火) 会場 かごしま県民交流センター大研修室</p>	<p>質の高い福祉人材を安定的に確保し、また、安定した福祉経営を確立するため、適切な労務管理や働きやすい職場づくりなど、福祉職員の定着のための方策を学ぶセミナーを開催した。 〈開催日〉 令和5年9月5日(火) 〈会場〉 鹿児島サンロイヤルホテル 〈参加者〉 174人</p>		<p>雇用や社会保険等、時宜を得たテーマを取り上げたセミナーを開催することにより、安定した福祉経営と福祉人材の確保・定着に資する情報を提供することができた。</p>

<p>ア 福祉・介護人材確保事業 キャリア支援専門員の配置 県社協本所2人 鹿屋市社協1人 奄美市社協1人 合計4人</p>	<p>〈対象者〉 社会福祉法人代表者・役員、社会福祉施設等の施設長・事務長・人事担当者等 〈内容〉 (1) 「人が集まる効果的な求人方法」 (2) 「職場のトラブル予防等について」 (3) 「介護施設・事業所における業務継続計画の策定方法と評価・見直しのポイント」</p>	<p>キャリア支援専門員の巡回により、管轄下の施設・事業所との連携が図られ、求職者のニーズに合わせた職場開拓等や、求人施設と求職者のマッチングを行い、円滑な就労・定着等が図られた。</p>																																													
<p>(5) 福祉・介護人材確保事業 キャリア支援専門員の配置 県社協本所2人 鹿屋市社協1人 奄美市社協1人 合計4人</p>	<p>キャリア支援専門員4人を次のとおり配置し、求職者のニーズに合わせた職場開拓や職場紹介等を行った。</p> <p>① 配置先 県社協本所2人、鹿屋市駐在(市社協)1人、奄美市駐在(市社協)1人 合計4人</p> <p>② キャリア支援専門員巡回活動状況</p> <table border="1" data-bbox="608 853 903 1543"> <thead> <tr> <th>各ブロック</th> <th>訪問施設延件数</th> <th>相談</th> <th>紹介</th> <th>採用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島</td> <td>13</td> <td>113</td> <td>19</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>南薩種子・屋久</td> <td>30</td> <td>38</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>始良・伊佐</td> <td>34</td> <td>391</td> <td>25</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>日置</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大隅</td> <td>122</td> <td>1,024</td> <td>89</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>北薩</td> <td>21</td> <td>61</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大島</td> <td>558</td> <td>391</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>784</td> <td>2,041</td> <td>171</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table>	各ブロック	訪問施設延件数	相談	紹介	採用	鹿児島	13	113	19	5	南薩種子・屋久	30	38	6	0	始良・伊佐	34	391	25	7	日置	6	23	1	1	大隅	122	1,024	89	32	北薩	21	61	2	0	大島	558	391	29	13	計	784	2,041	171	58	<p>キャリア支援専門員の巡回により、管轄下の施設・事業所との連携が図られ、求職者のニーズに合わせた職場開拓等や、求人施設と求職者のマッチングを行い、円滑な就労・定着等が図られた。</p>
各ブロック	訪問施設延件数	相談	紹介	採用																																											
鹿児島	13	113	19	5																																											
南薩種子・屋久	30	38	6	0																																											
始良・伊佐	34	391	25	7																																											
日置	6	23	1	1																																											
大隅	122	1,024	89	32																																											
北薩	21	61	2	0																																											
大島	558	391	29	13																																											
計	784	2,041	171	58																																											
<p>イ エアの開催(県内3か所)</p>	<p>福祉職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため、就職・転職相談会を開催した。</p> <p>① 福祉・介護のしごと 就職・転職相談会《鹿屋市》 〈開催日〉 令和5年9月30日(土) 〈会場〉 かのやグランッドホテル 〈参加法人〉 22法人(22ブース) 〈求件数〉 79件 〈参加求職者〉 30人 〈面談者延人数〉 78人 〈採用決定者数〉 7人 〈共催団体〉 鹿屋・大隅公共職業安定所、鹿屋市、鹿屋市社会福祉協議会</p> <p>② 福祉・介護のしごと 就職・転職相談会《霧島市》 〈開催日〉 令和5年11月4日(土) 〈会場〉 国分シビックセンター</p>	<p>地方で求職者と求人事業所が直接面談するイベントを開催すること、福祉・介護職場の人材確保及び就職希望者の求職活動が支援できた。</p>																																													

1 福祉人材の安定的な確保を図るための支援	所管部署	福祉人材・研修センター
令和5年度事業計画	事業実施概要等	
	具体的成果等	
<p>〈参加法人〉 21法人 (19ブース)</p> <p>〈求人件数〉 75件</p> <p>〈参加求職者〉 59人</p> <p>〈面談者延人数〉 165人</p> <p>〈採用決定者数〉 9人</p> <p>〈共催団体〉 国分・大口公共職業安定所, 霧島市社会福祉協議会</p>		
<p>③ 福祉・介護のしごと 就職・転職相談会《薩摩川内市》</p> <p>〈開催日〉 令和5年11月25日(土)</p> <p>〈会場〉 薩摩川内市総合福祉会館</p> <p>〈参加法人〉 19法人 (16ブース) ※うちオンライン種:1法人</p> <p>〈求人件数〉 55件</p> <p>〈参加求職者〉 12人</p> <p>〈面談者延人数〉 34人</p> <p>〈採用決定者数〉 1人</p> <p>〈共催団体〉 川内・出水・伊集院・宮之城・大口公共職業安定所, 薩摩川内市社会福祉協議会</p>		
<p>(6) 離職介護職員の登録促進事業</p> <p>ア 養成校、市町村社協等におけるパット登録の周知広報</p> <p>イ 届出制度に関する相談及び問合せ対応</p> <p>ウ インターネット利用環境にない者の届出の受付</p>	<p>① 当協議会が作成した福祉人材無料職業紹介所の周知用チラシ及び中央人材センターが作成したリーフレットを配布し、「介護の有資格者の届出制度」の周知を図るとともに、届出者等に対し、就職面談会やセミナー等の開催に関する情報提供などを行った。</p> <p>② 届出制度に関する相談対応 養成校等を訪問し、リーフレットを用いたインターネットによる登録方法を説明し、登録手順書を配布した。</p> <p>③ インターネット利用環境にない方からの届出票提出による福祉人材情報システムへの代り入力を行った。</p>	
<p>(7) 介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業</p>	<p>離職した場合の円滑な再就業の促進に向けた登録体制の充実に資することができた。</p> <p>令和5年度 新規登録者数 103人</p> <p>(参考:登録者数) 令和5年度末 登録者数1,302人 令和4年度末 登録者数1,199人 令和3年度末 登録者数 921人</p> <p>高齢者等を対象にセミナーや出張講座を開催し、福祉現場で</p>	

<p>ア セミナー等の開催 (7) セミナーの開催 介護に関する高齢者向け セミナーを開催することに より、介護分野への就労に 向けた気運を醸成し、就職 相談会への参加を促進する。 (5)イに合わせ4回実施)</p> <p>(1) 出張講座の開催 高齢者等向けイベント等 の機会を活用し、介護の入 門的研修や就職・転職フェ ア等の事業を紹介する。</p> <p>イ セミナー受講者へのフオー ーアップ 就労を希望する方に対して 就職支援を実施する。</p>	<p>① セミナー開催地区 4地区（鹿児島、北薩、大隅、大島） ※ 大隅、北薩及び鹿児島地区は、福祉・介護の職場就職・転 職相談会と合同で開催 〈参加人数〉68人</p> <p>② 出張講座開催か所 9か所 ※ 鹿児島市、いちき串木野市、南さつま市、出水市、伊佐市 (2か所)、大崎町、屋久島町、知名町 〈参加人数〉277人</p> <p>③ 就職・転職相談会参加者数 33人 採用決定者数 5人</p>	<p>介護人材が不足していること、 高齢者でもできる介護現場への関心 紹介を通じて介護現場等への参加 を高め、就職相談会等への参加 を促すことができた。</p>
<p>2 外国人介護人材受入の支援</p> <p>(1) 外国人介護人材受入支援事業 技能実習生等を対象とする外 国人介護人材集合研修の実施 ア 期日 令和5年9月～令和6年2月</p> <p>イ 実施地域 7地域（鹿児島、南薩、北薩、 始良・伊佐、大隅、熊毛、 大島）</p> <p>ウ 回数 14回（7地域×2回）</p>	<p>県内の介護事業所で働く外国人技能実習生等を対象として、オン ラインによる講義（座学）を1回、集合研修方式による演習を県内 5地区で実施した。</p> <p>① オンラインによる講義（座学） 1回実施 ○開催日 令和5年11月29日（水） ○参加者 34事業所、79人 ○講義内容 ・相手への思いやりが伝わる接遇 ・鹿児島のことば ・介護現場で使う日本語 ・介護記録の書き方 ② 集合研修方式による演習（実技） 4回実施 ○開催月 令和6年1～2月 ○参加者 30事業所、64人 ○実施地域 5地域（鹿児島、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅） ○講義内容 ・介護の技術（高齢者・障害者への理解を含む）</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p> <p>入国後の期間が短い外国人技 能実習生に対するオンライン講 義や集合研修による演習を通じ て、相互交流を図り、生活や介 護に関する不安を払拭するとと もに、介護に関する基本的な知 識や技能を深め、円滑な就労と 職場への定着に資することので きた。</p>

2	外国人介護人材受入の支援	事業実施概要等	所管部署 福祉人材・研修センター																					
令和5年度事業計画		具体的成果等																						
※ 鹿児島、南薩地域は合同開催、また、開催予定の熊毛、大島地区については、参加希望者がいなかったため、未開催となった。																								
3	福祉人材確保に向けた修学資金、就労支援の推進	<p>生活支援部</p> <p>修学資金等の貸付により、若者や他業種で働いていた方等の福祉・介護分野への参入が促進され、質の高い人材の確保と定着のための環境整備が図られた。</p>	生活支援部																					
(1)	<p>介護福祉士修学資金(等)貸付事業</p> <p>ア 介護福祉士修学資金貸付 介護職を目指す学生に対する修学資金等の貸付 (7) 修学資金(月額) 50千円以内 (4) 入学準備金 200千円以内(初回交付時) (6) 就職準備金 200千円以内(最終回交付時) (1) 生活費加算(月額)30千円以内 ※ (1)は生活保護世帯等が対象</p> <p>イ 介護福祉士実務者研修受講資金貸付 介護福祉士の資格取得を目指す実務者研修受講者に対する受講資金の貸付 (7) 貸付額 100千円以内</p> <p>ウ 介護人材再就職準備金貸付 離職した介護職員で介護職へ再就職する者に対する再就職準備金の貸付 (7) 貸付額 400千円以内</p> <p>エ 障害福祉分野就職支援金貸付 他業種で働いていた方等に対する障害福祉分野への就職支援金の貸付 (7) 貸付額 200千円以内</p> <p>オ 福祉系高校修学資金返還充当資金貸付 介護分野以外の障害福祉等福祉分野に就職した場合における返還金相当額の新たな貸付</p>	<p>県社協ホームページへの掲載のほかリーフレットや手引きを作成し、県内外の養成施設(大学等)や市町村社協等を通じて借入希望者や関係者へ資料配付・説明を行うなど、制度の利用促進に努めた。</p> <p>[令和5年度貸付状況] (単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="564 792 855 1200"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護福祉士修学資金</td> <td>69</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士実務者研修受講資金</td> <td>40</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>介護人材再就職準備金</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>障害福祉分野就職支援金</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>福祉系高校修学資金返還充当資金</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>129</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計画	実績	介護福祉士修学資金	69	48	介護福祉士実務者研修受講資金	40	20	介護人材再就職準備金	10	1	障害福祉分野就職支援金	10	5	福祉系高校修学資金返還充当資金	0	1	合計	129	75	<p>事業の円滑な実施を図るため、福祉系高校8校を訪問し、資料配布、説明を行うことにより、制度の利用促進に努めた。</p> <p>〈期間〉 令和5年7月18日(火)～7月21日(金)</p>
区分	計画	実績																						
介護福祉士修学資金	69	48																						
介護福祉士実務者研修受講資金	40	20																						
介護人材再就職準備金	10	1																						
障害福祉分野就職支援金	10	5																						
福祉系高校修学資金返還充当資金	0	1																						
合計	129	75																						
(2)	<p>福祉系高校修学資金貸付事業 福祉系高校に通う学生に対する修学資金の貸付 (7) 修学準備金(入学金を除く) 30千円以内</p>	<p>事業の円滑な実施を図るため、福祉系高校8校を訪問し、資料配布、説明を行うことにより、制度の利用促進に努めた。</p> <p>〈期間〉 令和5年7月18日(火)～7月21日(金)</p>																						

<p>(4) 介護実習費 30千円以内(年額) (5) 国家試験受験対策費用 40千円以内(年額) (6) 就職準備金 200千円以内 (就職する場合及び最終回に限る) (3) 介護分野就職支援金貸付事業 他業種で働いていた方等に対する介護分野への 就職支援金の貸付 (7) 貸付額 200千円以内</p>	<p>[令和5年度貸付状況] (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>画</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>福祉系高校修学資金</td> <td>109</td> <td></td> <td>12</td> </tr> </table> <p>[令和5年度貸付状況] (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>画</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>介護分野就職支援金</td> <td>15</td> <td></td> <td>15</td> </tr> </table>	区分	計	画	実績	福祉系高校修学資金	109		12	区分	計	画	実績	介護分野就職支援金	15		15									
区分	計	画	実績																							
福祉系高校修学資金	109		12																							
区分	計	画	実績																							
介護分野就職支援金	15		15																							
<p>(4) 介護福祉士(等)修学資金貸付事業 平成21年度から平成23年度までの3年間に介護福祉 社士コース等の学生に貸し付けた修学資金の償還 管理</p>	<p>平成21年度から平成23年度までの3年間に貸し付けた介護福祉士 等修学資金借受者について、返還などの償還管理を行った。 ※参考：貸付(送金)は、平成27年度で終了。 [令和5年度の状況] ① 返還免除 0人 ② 返還状況 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>償還計画額 A</th> <th>償還済額 B</th> <th>未償還額 (A-B)</th> <th>償還率 % (B/A*100)</th> <th>返還対象人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>4,379</td> <td>144</td> <td>4,235</td> <td>3.3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>348</td> <td>348</td> <td>0</td> <td>100.0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,727</td> <td>492</td> <td>4,235</td> <td>10.4</td> <td>実人員 5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	償還計画額 A	償還済額 B	未償還額 (A-B)	償還率 % (B/A*100)	返還対象人数 (人)	過年度分	4,379	144	4,235	3.3	4	現年度分	348	348	0	100.0	1	計	4,727	492	4,235	10.4	実人員 5	<p>保育士を目指す学生の就学を支援するとともに、卒業後の保育現 場への就労・定着を促進するため、修学資金を貸付けた。</p>
区分	償還計画額 A	償還済額 B	未償還額 (A-B)	償還率 % (B/A*100)	返還対象人数 (人)																					
過年度分	4,379	144	4,235	3.3	4																					
現年度分	348	348	0	100.0	1																					
計	4,727	492	4,235	10.4	実人員 5																					
<p>(5) 保育士修学資金貸付等事業 ア 保育士修学資金貸付 保育士養成施設に通う学生に対し、修学資金の貸付を行う。 (7) 貸付月額：50千円以内(2年間を限度) (イ) 入学準備金：200千円以内(初回交付時) (ロ) 就職準備金：200千円以内(卒業時) イ 未就学児を持つ保育士に対す る保育料の一部貸付 未就学児を持つ潜在保育士に対し、自身が支 払うべき未就学児の保育料の一部貸付を行う。 (7) 貸付月額：27千円以内(1年間を限度) ウ 就職準備金 潜在保育士に対し、再就職する場合の就職準 備金の貸付を行う。 (7) 貸付額：200千円以内(1回限り)</p>	<p>[令和5年度貸付状況] (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>画</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>保育士修学資金貸付</td> <td>70</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>未就学児を持つ保育士に対する 保育料の一部貸付</td> <td>4</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>就職準備金</td> <td>4</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78</td> <td></td> <td>71</td> </tr> </table>	区分	計	画	実績	保育士修学資金貸付	70		70	未就学児を持つ保育士に対する 保育料の一部貸付	4		0	就職準備金	4		1	合計	78		71	<p>保育士を目指す学生の就学を支援するとともに、卒業後の保育現 場への就労・定着を促進するため、修学資金を貸付けた。</p> <p>保育士を目指す学生の就学を 容易にするにより、質の高 い保育士の養成と県内の保育現 場の人材確保に向けて環境整備 が図られた。</p>				
区分	計	画	実績																							
保育士修学資金貸付	70		70																							
未就学児を持つ保育士に対する 保育料の一部貸付	4		0																							
就職準備金	4		1																							
合計	78		71																							

4	社会福祉事業従事者の福利厚生推進		総務部 福祉人材・研修センター 所管部署
令和5年度事業計画		事業実施概要等	
(1) 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の運営	<p>① 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施状況(令和4年3月31日現在)</p> <p>契約法人282法人 550施設 加入者数10,638人</p> <p>退職金の給付状況</p> <p>ア 退職給付金 1,354件 1,222,609,918円</p> <p>イ 新規契約・解除の状況</p> <p>新規契約 5施設</p> <p>契約解除 3施設</p> <p>ウ 退職共済積立金の状況(令和6年3月31日現在)</p> <p>退職共済積立金額 16,794,822,788円…A (参考：元本 15,055,069,597円)</p> <p>退職給付金要支給額 13,613,095,995円…B 差引(A-B) 3,181,726,793円 (積立率123.37%)</p> <p>② 運営委員会の開催 2回 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の適正な運営を期するため運営委員会を開催した。</p> <p>ア 第1回運営委員会 〈開催日〉令和5年7月13日(木) 〈内 容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告及び収支決算について ・令和4年度年金財政決算報告について ・令和4年度運用実績について <p>イ 第2回運営委員会 〈開催日〉令和6年3月5日(火) 〈内 容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度補正予算について ・令和6年度事業計画及び収支予算について ・運用実績について <p>③ 契約法人に対する説明会 〈開催日〉令和6年1月23日(火) (Web会議システム Zoom) 〈参加者数〉87事業所 106人 〈内 容〉説明Ⅰ 令和4年度事業実施状況・資産運用状況等について</p>		
契約法人が退職給付金支払資金に充当するための積立金を、運用基本方針に基づき金融機関3行に信託し、安定的な資産の運用・管理が適切に実施された。県内の民間社会福祉施設職員の福利を増進し、社会福祉事業の振興に寄与することができた。		具体的成果等	

	<p>説明Ⅱ 退職共済事業手続きについて</p> <p>説明Ⅲ 福利厚生センター（ソウエルクラブ）について</p>																																					
<p>(2) 福利厚生センター（ソウエルクラブ）への加入促進，利用促進及び会員交流事業の実施</p>	<p>① 会員交流事業 福利厚生センター（ソウエルクラブ）に加入している会員を対象に，安価な経費で会員間の親睦や交流を図る次の事業を実施した。</p> <p>【会員交流事業実績】</p>	<p>多くの会員の方の参加が得られ，福利厚生の上上が図られた。</p>																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="520 1615 651 2087">事 業 名</th> <th data-bbox="520 1211 651 1615">開 催 日 ・ 期 間</th> <th data-bbox="520 734 651 1211">場 所</th> <th data-bbox="520 562 651 734">参 加 人 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="659 1615 746 2087">① かがしま水族館年間パスポート販売</td> <td data-bbox="659 1211 746 1615">令和5年4月27日から1年間</td> <td data-bbox="659 734 746 1211">いおワールド かごしま水族館</td> <td data-bbox="659 562 746 734">626人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="754 1615 842 2087">② あつりさとチョッピーの森チケット販売</td> <td data-bbox="754 1211 842 1615">令和5年9月3日</td> <td data-bbox="754 734 842 1211">川商ホール</td> <td data-bbox="754 562 842 734">95人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="850 1615 938 2087">③ ディズニー・オン・クラシックチケット販売</td> <td data-bbox="850 1211 938 1615">令和5年11月18日</td> <td data-bbox="850 734 938 1211">川商ホール</td> <td data-bbox="850 562 938 734">51人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="946 1615 1034 2087">④ 劇団四季ミュージカルクレイジー・フォー・ユーチケット販売</td> <td data-bbox="946 1211 1034 1615">令和5年12月9日</td> <td data-bbox="946 734 1034 1211">川商ホール</td> <td data-bbox="946 562 1034 734">51人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1042 1615 1129 2087">⑤ 会食ランチ券販売</td> <td data-bbox="1042 1211 1129 1615">令和5年10月1日～ 令和6年2月29日</td> <td data-bbox="1042 734 1129 1211">SHIRYAMA HOTEL kagoshima ホテル京セラ ホテルさつき苑 奄美山羊島ホテル</td> <td data-bbox="1042 562 1129 734">1,846人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 1615 1225 2087">⑥ DRUM TAO 2023 チケット販売</td> <td data-bbox="1137 1211 1225 1615">令和5年12月3日</td> <td data-bbox="1137 734 1225 1211">川商ホール</td> <td data-bbox="1137 562 1225 734">51人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1233 1615 1321 2087">⑦ 第49回九州公演 日本フィルチケット販売</td> <td data-bbox="1233 1211 1321 1615">令和6年2月15日</td> <td data-bbox="1233 734 1321 1211">宝山ホール</td> <td data-bbox="1233 562 1321 734">53人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1329 1615 1449 2087">⑧ おかあさんといっしょ チケット販売</td> <td data-bbox="1329 1211 1449 1615">令和6年3月2日 令和6年3月3日</td> <td data-bbox="1329 734 1449 1211">川商ホール 都城市総合文化ホール</td> <td data-bbox="1329 562 1449 734">149人</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	開 催 日 ・ 期 間	場 所	参 加 人 員	① かがしま水族館年間パスポート販売	令和5年4月27日から1年間	いおワールド かごしま水族館	626人	② あつりさとチョッピーの森チケット販売	令和5年9月3日	川商ホール	95人	③ ディズニー・オン・クラシックチケット販売	令和5年11月18日	川商ホール	51人	④ 劇団四季ミュージカルクレイジー・フォー・ユーチケット販売	令和5年12月9日	川商ホール	51人	⑤ 会食ランチ券販売	令和5年10月1日～ 令和6年2月29日	SHIRYAMA HOTEL kagoshima ホテル京セラ ホテルさつき苑 奄美山羊島ホテル	1,846人	⑥ DRUM TAO 2023 チケット販売	令和5年12月3日	川商ホール	51人	⑦ 第49回九州公演 日本フィルチケット販売	令和6年2月15日	宝山ホール	53人	⑧ おかあさんといっしょ チケット販売	令和6年3月2日 令和6年3月3日	川商ホール 都城市総合文化ホール	149人	
事 業 名	開 催 日 ・ 期 間	場 所	参 加 人 員																																			
① かがしま水族館年間パスポート販売	令和5年4月27日から1年間	いおワールド かごしま水族館	626人																																			
② あつりさとチョッピーの森チケット販売	令和5年9月3日	川商ホール	95人																																			
③ ディズニー・オン・クラシックチケット販売	令和5年11月18日	川商ホール	51人																																			
④ 劇団四季ミュージカルクレイジー・フォー・ユーチケット販売	令和5年12月9日	川商ホール	51人																																			
⑤ 会食ランチ券販売	令和5年10月1日～ 令和6年2月29日	SHIRYAMA HOTEL kagoshima ホテル京セラ ホテルさつき苑 奄美山羊島ホテル	1,846人																																			
⑥ DRUM TAO 2023 チケット販売	令和5年12月3日	川商ホール	51人																																			
⑦ 第49回九州公演 日本フィルチケット販売	令和6年2月15日	宝山ホール	53人																																			
⑧ おかあさんといっしょ チケット販売	令和6年3月2日 令和6年3月3日	川商ホール 都城市総合文化ホール	149人																																			

4	<p>社会福祉事業従事者の福利厚生推進</p>	<p>総務部 福祉人材・研修センター</p>												
<p>令和5年度事業計画</p> <table border="1" data-bbox="288 566 448 1615"> <tr> <td data-bbox="288 1211 320 1615">事業名</td> <td data-bbox="288 936 320 1211">開催日・期間</td> <td data-bbox="288 566 320 936">場所</td> <td data-bbox="288 566 320 936">参加人員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1211 400 1615">⑨ シネマチケット販売</td> <td data-bbox="320 936 400 1211">令和5年12月22日～ 令和6年3月31日</td> <td data-bbox="320 566 400 936">鹿児島ミッテ10</td> <td data-bbox="320 566 400 936">299人</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="400 566 448 1615">合計 延べ 3,221人</td> </tr> </table> <p>② 福利厚生センター加入勸奨活動 (1) 未加入法人等への戸別訪問 (未加入15事業所訪問) (2) 福利厚生センター概要パンフレットの配布 (3) 加入勸奨のためのPR 県社協広報紙「ふくしのひろば」への掲載</p>			事業名	開催日・期間	場所	参加人員	⑨ シネマチケット販売	令和5年12月22日～ 令和6年3月31日	鹿児島ミッテ10	299人	合計 延べ 3,221人			
事業名	開催日・期間	場所	参加人員											
⑨ シネマチケット販売	令和5年12月22日～ 令和6年3月31日	鹿児島ミッテ10	299人											
合計 延べ 3,221人														
5	<p>介護現場の業務改善・負担軽減の推進</p>	<p>介護実習・普及センター</p>												
<p>(1) 介護ロボット相談窓口設置事業 ア 介護ロボット相談窓口(地域拠点)の設置 (ア) 相談窓口担当職員の配置及び相談対応 (イ) 業務アドバイザー(2名配置)による相談対応</p> <p>・専任職員1名、兼務職員1名配置 ・介護ロボットに関する専門的知識を有する業務アドバイザーの配置2名 鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻 助教 吉満孝二氏 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科 副学科長 藤田賢太郎氏 相談件数等</p> <table border="1" data-bbox="1007 1025 1410 1525"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開発企業</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>通所介護等</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>介護ロボットに関する専門的な相談体制の充実に努めた。多くの相談が寄せられ、介護ロボットの普及に貢献できた。</p>			種別	件数	開発企業	10件	特別養護老人ホーム	10件	介護老人保健施設	2件	通所介護等	5件	グループホーム	1件
種別	件数													
開発企業	10件													
特別養護老人ホーム	10件													
介護老人保健施設	2件													
通所介護等	5件													
グループホーム	1件													

	<p>障害者支援施設</p> <table border="1" data-bbox="248 1025 368 1529"> <tr> <td></td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36件</td> </tr> </table>		2件	その他	6件	合計	36件	
	2件							
その他	6件							
合計	36件							
<p>(ウ) 相談窓口・リビングラボネットワーク連絡会への参加</p>	<p>2回の連絡会議への参加 (1) 第1回相談窓口・リビングラボネットワーク連絡会議 開催日時 令和5年5月23日(火) ハイブリッド開催 内 容 ・ 行政説明(厚生労働省) ・ 令和4年度事業結果及び令和5年度事業計画など (2) 第2回相談窓口・リビングラボネットワーク連絡会議 開催日時 令和6年3月12日(火) オンライン開催 内 容 ・ 直近の政策動向及び関連事業について ・ 介護ロボットのプラットフォーム事業成果報告</p>	<p>介護ロボット相談窓口に関する役割や機能及び介護ロボットの関する知識を得ることができ、介護ロボットの相談に役立てることができた。</p>						
<p>(エ) 介護ロボット導入施設への伴走支援</p>	<p>熊本県内の1施設(特別養護老人ホーム), 鹿児島県内の2施設(特別養護老人ホーム, 介護老人保健施設), 沖縄県内の1施設(デイケアセンター)を対象に伴走支援を実施した。</p> <p>(1) 対象施設・支援期間・試行介護ロボット ① 特別養護老人ホーム くわのみ荘(熊本県) 支援期間: 7月~1月 試行ロボット: マスルスーツEvery, SASUKE ② 特別養護老人ホーム 松恵園(鹿児島県) 支援期間: 8月~1月 試行ロボット: マスルスーツEvery, フレアリー, Chapit ③ 介護老人保健施設 ひまわり(鹿児島県) 支援期間: 8月~2月 試行ロボット: マスルスーツEvery, フレアリー ④ デイケアセンター あめくの杜(沖縄県) 支援期間: 8月~1月 試行ロボット: マスルスーツEvery, HAL</p> <p>(2) 主な支援内容 ① 各施設の課題抽出・整理(KJ法) ② 課題解決に適したロボットの選定 ③ 介護ロボット導入時の評価指針の検討・作成</p>	<p>介護ロボットの導入を検討している施設等の参考事例となるモデル施設を創出することができた。</p>						

5 介護現場の業務改善・負担軽減の推進	所管部署	介護実習・普及センター
令和5年度事業計画	事業実施概要等	
具体的成果等		
<p>④ ロボットの導入支援(試用貸出等)</p> <p>⑤ 導入時のオペレーション変更の検討支援</p> <p>⑥ 効果測定</p>		
<p>(ハ) 介護ロボット普及連絡会の開催</p> <p>介護ロボット・プラットフォーム事業への意見要望を聴き、鹿児島県における介護ロボットに関するネットワーク構築と介護ロボットの普及促進を図るため、連絡会を開催した。</p> <p>(1) 開催日</p> <p>① 第1回 令和5年8月23日(水) ハイブリッド開催</p> <p>② 第2回 令和6年2月16日(金) ハイブリッド開催</p> <p>※第1回連絡会では、熊本県・沖縄県の介護ロボット担当課がオプザーバー参加</p> <p>(2) 内容</p> <p>事業内容 「介護ロボットプラットフォーム事業及び介護生産性向上推進総合事業について」</p> <p>行政説明 「鹿児島県における介護ロボットの導入状況について」</p> <p>意見交換 「介護ロボットの普及・導入について」</p>	<p>介護ロボット普及についてのネットワークを構築することができた。</p>	
<p>(カ) 作業療法士協会との連絡会議の開催(1回)</p> <p>鹿児島県作業療法士協会と連携し、介護ロボット導入支援に係る研修プログラムや展示ロボットの説明資料、導入マニュアル作成のフォローアップを行った。</p> <p>開催日時 令和5年9月24日(日)</p> <p>内容 ・介護ロボットの普及に向けた窓口実施の研修プログラム構成</p> <p>・介護ロボットの効果的な体験方法・説明内容の検討</p> <p>・介護現場での円滑な介護ロボット導入と活用に向けたマニュアル作成</p>	<p>介護ロボット導入支援研修における効果的なプログラムや展示ロボットの説明資料等の作成のフォローアップができた。</p>	
<p>イ 介護ロボットの体験展示</p> <p>(ア) 介護ロボットの常設展示</p>	<p>介護事業所や県民への介護ロボットの周知・理解促進に寄与できた。</p>	

(展示ロボット一覧)		
分野	介護ロボット名称	
移乗支援 (装着型)	HAL 腰タイプ介護・自立支援用	
	衣服型アクティブパワーアシストスーツ J-PAS fleairy(フレアリー)	
	マッスルスーツ Every	
移乗支援 (装着型)	DARWING Hakobelude	
移乗支援 (非装着型)	移乗サポートロボット HUG T1	
	移乗用介護ロボット 移乗です	
	ROBOHELPER SASUKE	
移動支援	ロボットアシストウオーカーRT.2	
排泄支援	ラップポンプリート(S)	
	排尿予測デバイス Dfree	
	見守りセンサ AiSleep	
見守り・コミュニケーション支援	見守りセンサ 「ANSIEL」	
	見守りシステム ネオスケア	
	e伝之介くん	
	aams. 介護	
	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ	
	音声認識コミュニケーションロボット Chapit	

5 介護現場の業務改善・負担軽減の推進	所管部署	介護実習・普及センター																		
令和5年度事業計画	事業実施概要等																			
(4) 体験者への介護ロボットに関する知識・技能の習得支援	介護事業所の職員や福祉・医療系大学、短期大学、専門学校生及び介護ロボットに関心のある個人など多くの方に介護ロボットを体験していただき、介護ロボットの機能や活用方法について理解を得た。 <table border="1" data-bbox="368 763 499 1541"> <thead> <tr> <th>介護事業所等</th> <th>大学等団体</th> <th>個人</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>185人</td> <td>327人</td> <td>131人</td> <td>643人</td> </tr> </tbody> </table>		介護事業所等	大学等団体	個人	合計	185人	327人	131人	643人										
介護事業所等	大学等団体	個人	合計																	
185人	327人	131人	643人																	
ウ 介護ロボットの試用貸出 (7) 介護事業所への介護ロボット試用貸出リストの周知 (4) 介護事業所からの介護ロボット試用貸出希望への対応	厚生労働省が作成する「介護ロボットの試用貸出リスト」に基づき、介護事業所からの相談を受け、当該介護事業所の課題に合った介護ロボットを紹介し、開発企業からの貸出調整を行った。 貸出実績（25件） <table border="1" data-bbox="719 763 1238 1570"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> <th>貸出ロボット等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>12件</td> <td>Chapit, AlgoSleep, DFree, マッスルスーツEvery, バスアシスト, SASUKE, フレアリー</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>3件</td> <td>SASUKE, マッスルスーツEvery, フレアリー</td> </tr> <tr> <td>通所介護等</td> <td>6件</td> <td>PALRO, Chapit, マッスルスーツEvery, HAL</td> </tr> <tr> <td>障害者支援施設</td> <td>1件</td> <td>SASUKE</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3件</td> <td>マッスルスーツEvery, SASUKE</td> </tr> </tbody> </table>		種別	件数	貸出ロボット等	特別養護老人ホーム	12件	Chapit, AlgoSleep, DFree, マッスルスーツEvery, バスアシスト, SASUKE, フレアリー	介護老人保健施設	3件	SASUKE, マッスルスーツEvery, フレアリー	通所介護等	6件	PALRO, Chapit, マッスルスーツEvery, HAL	障害者支援施設	1件	SASUKE	その他	3件	マッスルスーツEvery, SASUKE
種別	件数	貸出ロボット等																		
特別養護老人ホーム	12件	Chapit, AlgoSleep, DFree, マッスルスーツEvery, バスアシスト, SASUKE, フレアリー																		
介護老人保健施設	3件	SASUKE, マッスルスーツEvery, フレアリー																		
通所介護等	6件	PALRO, Chapit, マッスルスーツEvery, HAL																		
障害者支援施設	1件	SASUKE																		
その他	3件	マッスルスーツEvery, SASUKE																		
エ 介護ロボットに関する情報提供 (7) 介護ロボットフォーラムの開催(1回)	介護現場におけるロボット導入を支援するため、担当エリアである熊本・鹿児島・沖縄の各県で研修会を開催した。 介護施設等に対し、介護ロボットの円滑な導入に向けた支援ができた。																			

<p>(イ) 介護ロボット導入支援研修会の開催</p>	<p>(1) 開催日・参加者数 ① 鹿児島県 令和5年10月25日(水) 参集型 28事業所 58人 ※鹿児島フォーラム併催 ② 熊本県 令和5年11月6日(月) 参集型 31事業所 38人 ③ 沖縄県 令和5年12月26日(火) 参集型 30事業所 41人</p> <p>(2) 内容 講義 「介護ロボットの円滑な導入のポイント」 行政説明 「介護ロボットの導入及び活用促進に向けた取組」 実践報告 「各県の伴走支援実施事業所における取組」 介護ロボット体験及び相談</p>	
<p>(ウ) 介護職員向け介護ロボット体験講座の開催</p>	<p>介護現場で働く介護職員の介護ロボットに関する理解と関心を高め、介護ロボットの普及を促進するため、県民交流センターにおいて体験講座を開催した。</p> <p>(1) 開催日・参加者数 ① 第1回 令和5年8月10日(木) 11人 ② 第2回 令和6年1月18日(木) 10人</p> <p>(2) 内容 講義 「介護ロボットの活用方法と効果」 実践報告 「伴走支援実施事業所の取組」 講義 「介護ロボットの特徴と選定の目安」 介護ロボット体験及び相談</p>	<p>介護現場で働く職員に介護ロボットに対する理解と関心を高めてもらうことができた。</p>
<p>(エ) 介護ロボットに関する情報収集</p>	<p>相談窓口・リビングラボネットワーク連络会や勉強会、介護ロボット開発企業との協議等から介護ロボットに関する最新情報を収集し、介護ロボットに関する研修会等で提供した。</p>	<p>収集した介護ロボットに関する新たな情報を研修会等を通じて広く提供することができた。</p>
<p>(オ) ホームページ、広報誌による介護ロボットの情報発信</p>	<p>鹿児島県社会福祉協議会のホームページに介護ロボット専用ページを設け、業務内容や展示介護ロボットの紹介を行う他、広報紙「ふくしのひろば」、SNSによる研修・イベントの情報発信や、チラシによる広報啓発を行った。</p>	<p>介護ロボットの定義や機能、種類、相談窓口の役割について広く周知広報することができた。</p>

研修区分 (受講対象)	実施日	受講者数	備考
① 社会福祉行政職員研修 (福祉事務所等に勤務する職員(生活保護担当者等除く))	令和5年7月21日	14人	・受講者数：対前年度 +5人
ウ 被保護世帯法律問題等研修 (5コース) 受講対象者：県・市町村福祉事務所等の生活保護担当職員 (5コース)			
① 新任生活保護担当職員研修	令和5年5月18日～19日	81人	・受講者数：対前年度 +14人
② 生活保護担当職員研修	令和5年6月22日～23日	20人	・受講者数：対前年度 △10人
③ 法律問題研修(扶養)	令和5年9月14日～15日	41人	・受講者数：対前年度 +15人
④ 法律問題研修(資産)	令和5年10月17日～18日	35人	・受講者数：対前年度 +2人
⑤ 法律問題研修(他法他施策)	令和5年11月14日～15日	35人	・受講者数：対前年度 △15人
エ 福祉サービス第三者評価調査者継続研修 (2コース)	福祉サービス第三者評価調査者に対して、業務を継続的に実施するために必要な知識等の付与及び資質向上のための福祉サービス第三者評価調査者継続研修を実施した。 〈開催日〉 令和5年7月22日、9月2日 〈開催方法〉 集合(7/22)及びオンライン(9/2)開催 〈対象者〉 鹿児島県の評価調査者養成研修修了者名簿に記載されている者 〈受講者数〉 35人 〈内容〉 行政説明「第三者評価の実施状況と課題」 講義「地域共生社会と社会福祉法人の役割」 事例研修「事例に学ぶ役割の実践」	円滑な評価が行えるよう演習主体の研修を実施することで、調査者の資質向上が図られた。	
(2) 独自研修 (社会福祉関係職員課題別研修)			
ア 職場内研修担当者職員研修 (養成1回・フォローアップ1回)	令和5年9月4日～5日	48人	・受講者数：対前年度 +28人

1	社会福祉事業従事者等研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 長寿社会推進部
	令和5年度事業計画	事業実施概要等		
イ	② 職場内研修担当者職員研修 フォローアップコース (職場内研修を推進する担当者)	令和5年10月11日～12日	25人	・受講者数：対前年度 +12人
イ	③ カウンセリング研修(基礎) (各種相談業務従事職員)	令和5年8月7日～8日	67人	・受講者数：対前年度 +40人
ウ	④ カウンセリング研修(発展) (各種相談業務従事職員)	令和5年12月4日～5日	30人	・受講者数：対前年度 +7人
ウ	⑤ 救急法研修 (社会福祉施設及び市町村社協に勤務する職員)	令和5年10月25日 令和5年11月6日	89人	計画を増やし、2回開催 ・受講者数：対前年度 +67人
エ	⑥ ハラスメント対応研修 (社会福祉施設及び市町村社協に勤務する管理者 及び中堅職員)	(1班) 令和5年9月13日 (2班) 令和5年9月27日	154人	・受講者数：対前年度 +80人
オ	⑦ (新) 福祉施設・事業所広報力 アップSNS講座(基礎) (福祉施設・事業所の広報担当者等)	令和5年8月25日	45人	・令和5年度新規
カ	⑧ 福祉施設・事業所広報力 アップSNS講座(実践) (福祉施設・事業所の広報担当者等)	令和5年9月21日	70人	・令和5年度新規
カ	⑨ (新) ケアマネジャースキル アップ研修 (介護支援専門員・地域包括支援センター職員等)	令和6年2月14日	73人	・令和5年度新規
キ	⑩ (新) サービス管理責任者スキル アップ研修 (サービス管理責任者・介護支援管理責任者等)	令和5年6月7日	48人	・令和5年度新規
ク	⑪ 鹿児島市内施設対象階層別 研修 ・社会福祉施設等新任職員研修 ・社会福祉施設等中堅職員研修	県委託研修の社会福祉施設等新任・中堅・監督・施設長等運営管理職員研修に 同じ	159人	・受講者数：対前年度 +54人

<p>・ 社会福祉施設等監督職員研修等 ・ 社会福祉施設長等運営管理職員研修</p>	<p>ケ 福祉サービス苦情解決研修会（中級編）（1回：1月頃）</p>	<p>オンライン上でのグループワークを通して苦情の原因分析やコミュニケーションの知識及び苦情解決プロセスを学んだことで、各事業所における苦情対応の参考となり、苦情受付担当者の解決責任者等の役割の理解が深まり、対応スキルの向上が図られた。</p> <p>また、事業所の管理者等を対象に上級編を開催し、事業所における備えるべきリスクや緊急時の対応について認識することができた。</p> <p>（中級編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4年度参加者 142人 ・ 対前年度 129.6%
<p>コ 福祉サービス苦情解決研修会（上級編）（1回：8月頃）</p>	<p>令和5年度福祉サービス苦情解決研修会（中級編）の開催 〈開催日〉 令和6年2月2日(金) 〈開催方法〉 ハイブリッド方式（会場：県社会福祉センター別館） 〈参加者〉 苦情受付担当者・苦情解決責任者 184人 〈内容〉 講義・演習 「コミュニケーション力と組織力を強化する苦情解決能力向上研修」 株式会社ツクイスタッフ パートナー講師 喜山 志津香 氏</p>	<p>（上級編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4年度参加者 155人 ・ 対前年度 104.5%
<p>(3) 介護職員チームリーダー養成 研修支援事業 県内各地域での研修支援 県社協に申込みのあった介護 事業所等のうちから、20か所程 度を決定して実施する。</p>	<p>令和5年度福祉サービス苦情解決研修会（上級編）の開催 〈開催日〉 令和5年8月8日(火) 〈開催方法〉 オンライン（Zoom）開催 〈参加者〉 福祉施設・事業所の管理者、リスクマネジメント担当者、苦情解決責任者、過去に福祉サービス苦情解決研修会（中級編）を修了した者 162人 〈内容〉 講義・演習 「リスク認識力向上研修～<small>が職員が認識すべきリスク〜</small>」 株式会社フォアサイツコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 氏</p> <p>新人職員の定着と離職防止、質の高い介護サービスへの提供を促すため、介護事業所に勤務する中堅職員等を対象に新人職員への指導方法等も含めたスキルアップ研修を実施した。</p> <p>研修実施箇所 35か所（離島8か所） 研修実施回数 58回 参加事業所数 232事業所 研修参加人数 984人</p>	<p>介護事業所に勤務する中堅職員等の資質向上を通じて、若手職員の離職防止や事業所の介護サービスの質の向上に資するとともに、職場内研修の充実にも資することができた。</p>

2	<p>介護の仕事への理解促進</p>	<p>福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター</p>																					
<p>令和5年度事業計画</p>		<p>具体的成果等</p>																					
<p>(1) 地域ジュニア福祉体験教室開催事業 高齢者疑似体験、車いす体験、ユニバーサルデザイン・自励具体験の実施 ア 実施数 31か所程度 イ 実施場所 離島及び鹿児島市から遠隔地の小・中学校、高等学校等</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>遠隔地等の小・中学校、高等学校等を訪問して、福祉体験教室を開催した。児童・生徒の高齢者や障害のある人に対する理解促進と福祉の心の涵養を図り、将来の介護の担い手育成に資することを目的に高齢者疑似体験・車いす体験・ユニバーサルデザイン及び自励具体験を行った。</p> <table border="1" data-bbox="451 734 651 1615"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">令和5年6月28日 、 令和6年2月22日</td> <td>小学校</td> <td>22校</td> <td>452人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6校</td> <td>141人</td> </tr> <tr> <td>義務教育学校</td> <td>1校</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>3校</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>32校</td> <td>665人</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	区分	学校数	参加者数	令和5年6月28日 、 令和6年2月22日	小学校	22校	452人	中学校	6校	141人	義務教育学校	1校	25人	高等学校	3校	47人		合計	32校	665人	<p>児童・生徒に、介護等の体験がでる場を広く提供することにより、高齢者等に対しての思いやりの心が育まれ、介護の仕事への理解と関心を高めることができた。 また、教育現場における福祉体験活動の普及が図られた。</p>
実施期間	区分	学校数	参加者数																				
令和5年6月28日 、 令和6年2月22日	小学校	22校	452人																				
	中学校	6校	141人																				
	義務教育学校	1校	25人																				
	高等学校	3校	47人																				
	合計	32校	665人																				
<p>(2) 未来の福祉・介護担い手スタートアップ事業 ア 小中高校と介護事業所等とのマッチングの実施 イ 小中高校生等と介護事業所の職員等との相互訪問の実施</p>	<p>子どもたちの福祉・介護の職場への興味や関心を高めるため、小・中・高校や介護事業所において、介護に関する講話等を実施した。 実施校数 19校（小学校7、中学校4、高等学校6、義務教育学校2） 参加児童・生徒数 645人 協力事業所数 25事業所 〔特別養護老人ホーム13、デイサービス4、サービステキ高齢者住宅2、介護老人保健施設1、障害者就労継続支援B型事業所1、その他4〕</p>	<p>福祉・介護の職場に興味を持ってもらう機会を作ること、将来一人でも多くの小中高校生が福祉・介護分野で活躍することへの希望をもってもらえるよう、小中高校生の理解を促進することに資することができた。</p>																					
<p>(3) 介護教室派遣事業 県内の事業所や各種団体等に理学療法士、作業療法士、認知症介護指導者、社会福祉士等の専門家講師を派遣する ア 派遣数 22か所程度 ⇒16か所へ契約変更 イ 研修内容 (7) 在宅介護の基礎 (4) 介護保険と福祉用具の利用方法 (5) 認知症の理解と対応 (6) お口のケアと飲み込む体操 (8) 足腰げんき体操</p>	<p>企業等における介護離職の防止や就労の継続を図るとともに、地域における福祉人材の育成・確保につなげるため、県内の事業所や団体等に、福祉・介護・医療の専門家講師を派遣し、介護教室を開催した。</p> <p>〈実施期間〉 令和5年7月19日～11月30日</p> <table border="1" data-bbox="1158 734 1394 1615"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>箇所数 (箇所)</th> <th>参加者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本を知ろう！在宅介護の基礎</td> <td>3</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>認知症って？認知症の理解と対応</td> <td>2</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	箇所数 (箇所)	参加者数 (人)	基本を知ろう！在宅介護の基礎	3	72	認知症って？認知症の理解と対応	2	47	<p>介護の基礎的知識や技術を習得できる機会を身近な場所提供することにより、介護は社会全体で支えるものという考え方の醸成が図られ、介護と仕事の両立や地域の介護人材の育成に資することができた。</p>												
講座名	箇所数 (箇所)	参加者数 (人)																					
基本を知ろう！在宅介護の基礎	3	72																					
認知症って？認知症の理解と対応	2	47																					

<p>(カ) 笑顔で脳トシ</p>	<p>お口のケアと飲み込む対応</p>	<p>13</p>	
<p>健康寿命を延ばす足腰げんき体操</p>	<p>2</p>	<p>60</p>	
<p>かんたん楽しい！ 笑顔で脳トシ</p>	<p>8</p>	<p>173</p>	
<p>計</p>	<p>16</p>	<p>365</p>	
<p>(4) 介護の入門的研修事業 ア 介護の入門的研修の実施 (7) 実施か所 県内7か所 (イ) 対象者 定年退職予定者、中高年齢者、子育てが一段落した者など (ウ) 研修時間 21時間(7時間×3日間) (エ) 研修内容 介護の基礎知識、認知症・障害への理解、基本的な介護の方法など イ 研修終了者への就労支援等のフォローアップ</p>	<p>① 介護の入門的研修の実施 <実施か所> 県内7か所 <受講者数> 136人(修了者数128人) <研修時間> 21時間(1地区7時間×3日間) <研修内容> 基礎知識、認知症・障害への理解、基本的な介護の方法など ② 研修終了者へのフォローアップ 就労を希望する者に対する就職支援 求職票提出者数 8人 就労決定者数 2人</p>	<p>介護未経験者が、介護の業務に携わる上で、知っておくべき基本的な介護技術の内容とする 入門的研修の実施により、業務の仕事への理解が深まり、業務に携わる上での不安を払拭し、介護分野への多様な人材の参入のきっかけづくりに資することができた。</p>	<p>福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター</p>
<p>3 法定資格取得に関する研修の実施</p>	<p>所管部署</p>	<p>介護保険制度において、中核的な役割を果たす介護支援専門員の確保・養成に寄与した。</p>	<p>前年度 増減 受験申込者：1,266人 5人減 受験者数：1,130人 15人減 合格者数：174人 7人増 合格率：15.4% 0.8%増</p>
<p>(1) 介護支援専門員実務研修受講試験</p>	<p>ア 試験期日 令和5年10月頃 試験会場 鹿児島市(3会場) 奄美市(1会場)</p>	<p>ウ 受験見込者数 約1,400人</p>	<p>令和5年10月8日(日) 4会場(鹿児島市：3会場、奄美市：1会場) 鹿児島県社会福祉センター ホテル自治会館 鹿児島大学農学部 アマホームPLAZA(奄美市市民交流センター)</p>
<p>ウ 受験見込者数 約1,400人</p>	<p><受験申込者数> 1,261人 <受験者数> 1,115人 <合格者数> 181人 <合格率> 16.2%</p>	<p>試験会場</p>	<p>試験日</p>

3	法定資格取得に関する研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター
令和5年度事業計画		事業実施概要等	具体的成果等	
(2) 介護支援専門員更新・再研修 (1回)	<p>介護支援専門員の対象者及び再研修の対象者(証発行なし・期限切れの者)に対して、介護支援専門員更新・再研修(延べ10日間)を実施した。</p> <p>〈研修時間〉 56時間 10日間 前期：令和5年7月10日(月)～7月14日(金) 後期：令和5年7月24日(月)～7月28日(金) (後期補講分) : 令和6年3月5日(火)～3月11日(月)</p> <p>〈受講者数〉 269人 〈修了者数〉 269人(更新 125人, 再 144人)</p>	<p>受講者数：前年度より155人減</p>		
(3) 介護支援専門員実務研修 (1回)	<p>介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対して、介護支援専門員実務研修(1回延べ16日間)を実施した。</p> <p>〈研修時間〉 92.5時間 16日間 〈研修日程〉 前期Ⅰ : 令和6年1月9日(火)～12日(金) 前期Ⅱ : 令和6年1月24日(水)～26日(金), 29日(月), 30日(火) 実習 : 令和6年2月1日(木)～29日(月)のうち3日以上 (実習受入事業所 153ヶ所) 後期 : 令和6年3月4日(月)～8日(金) : 令和6年3月11日(月)～12日(火)</p> <p>〈受講者数〉 169人 〈修了者数〉 169人 (うち合格者157人, 過年度合格者12人)</p>	<p>受講者数 前年度より 1人減</p>		
(4) 認知症介護実践者等研修	<p>介護保険施設等における認知症高齢者介護の実務者及びその指導的立場となる者を対象に、介護サービスとの適正な運営と質の向上を図ることを目的に、認知症介護実践者等研修を開催した。</p>	<p>認知症高齢者の介護業務に従事する実践者や管理者等に対する研修機会を提供することにより、専門性の高い認知症介護の知識・技術の習得が図られ、サ</p>		

ア	認知症介護実践者研修 (3回)	研 修 名	実 施 年 月 日	参 加 申 込	修 了 者 数	一歩の質の確保に繋がるとともに、適正なサービス運営に資 することができた。
		認知症介護実践者 研修	①令和5年 5月16日～ 5月24日 令和5年 6月27日 ②令和5年 9月 5日～ 9月13日 令和5年10月24日 ③令和5年12月12日～12月20日 令和6年 2月 6日	219人	200人	
イ	認知症介護実践リーダ― 研修 (1回)	認知症介護実践 リーダ―研修	令和5年 7月 4日～ 7月 7日 令和5年 7月13日	38人	37人	
ウ	認知症対応型サービス事業 管理者研修 (2回)	認知症対応型 サービス事業 管理者研修	①令和5年6月29日～6月30日 ②令和6年2月8日～ 2月 9日	89人	84人	
エ	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修 (1回)	小規模多機能型 サービス等計画作 成担当者研修	令和5年10月26～27日	25人	23人	
オ	認知症対応型サービス事業 開設者研修 (1回)	認知症対応型 サービス事業 開設者研修	令和5年11月17日	12人	10人	
		計		383人	354人	
(5)	障害福祉人材育成研修	相談支援専門員及びサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者等の資格取得希望者に対して、障害福祉人材育成研修を実施した。				県内における相談支援専門員及びサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者の人材育成が推進された。
ア	(7) 初任者研修 (13日間) (7) 初任者研修 (2日間+5日間)	(7) 初任者研修 (前期) <期 日> 令和5年8月 8日(火)～8月15日(火) (相談) <手 法> 令和5年8月22日(火)～8月29日(火) (サビ管・児発管) <受講者数> オンライン配信 588人 <修了者数> 568人 初任者研修 (中期～後期) <期 日> (中期) 令和5年8月29日(火)～30日(水) (後期) 令和5年9月29日(金), 11月1日(水)～2日(木) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 122人 <修了者数> 116人				(前期) 定員600人に対し、94.7% (中期～後期) 定員120人に対し、96.7%

3	法定資格取得に関する研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター
令和5年度事業計画		事業実施概要等		
(イ) 現任研修 (4日間)	(イ) 現任研修 <期日> (前期) 令和5年11月14日(火)～21日(火) <手法> オンライン配信 <期日> (前期) 令和5年12月12日(火) (中期) 令和6年1月22日(月) (後期) 令和6年2月20日(火) <手法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 157人 <修了者数> 154人	定員90人に対し、171.1%	具体的成果等	
(ウ) 専門コース別研修 (1日間)	(ウ) 専門コース別研修 <期日> 令和6年2月15日(木) <手法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 50人 <修了者数> 46人	定員60人に対し、76.7%		
(エ) ファシリテーター研修 (1日間)	(エ) ファシリテーター研修 <期日> 令和5年4月27日(木) <手法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 79人	定員80人に対し、98.8%		
イ サービス管理責任者等研修 (24日間)	(フ) 基礎研修(共通講義) <期日> 令和5年9月20日(水)～27日(水) <手法> オンライン配信 基礎研修-1(演習) <期日> 令和5年10月19日(木)～20日(金) <手法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 123人 <修了者数> 119人 基礎研修-2(演習) <期日> 令和5年11月8日(水)～9日(木) <手法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 147人 <修了者数> 145人	定員120人に対し、99.2%	具体的成果等	
(フ) 基礎研修 (1日研修) + (2日間×4回)		定員120人に対し、120.8%		

	<p>基礎研修-3 (演習) <期 日> 令和5年11月21日(火)～22日(水) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 122人 <修了者数> 106人</p> <p>基礎研修-4 (演習) <期 日> 令和5年11月29日(水)～30日(木) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 147人 <修了者数> 136人</p>	<p>定員120人に対し、 88.3%</p> <p>定員120人に対し、 113.3%</p>
<p>(イ) 実践研修 (1日研修) + (2日間×4回)</p>	<p>(イ) 実践研修 (共通講義) <期 日> 令和5年11月1日(水)～8日(水) <手 法> オンラインマンダ配信</p> <p>実践研修-1 <期 日> 令和5年12月21日(水)～22日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 95人 <修了者数> 94人</p> <p>実践研修-2 <期 日> 令和6年1月15日(月)～16日(火) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 93人 <修了者数> 91人</p> <p>実践研修-3 <期 日> 令和6年1月18日(水)～19日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 141人 <修了者数> 136人</p> <p>実践研修-4 <期 日> 令和6年2月5日(月)～6日(火) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 141人 <修了者数> 138人</p>	<p>定員120人に対し、 78.3%</p> <p>定員120人に対し、 75.8%</p> <p>定員120人に対し、 113.3%</p> <p>定員120人に対し、 115.0%</p>
<p>(ウ) 更新研修 (1日研修×6回)</p>	<p>(ウ) 更新研修-1 <期 日> 令和5年6月30日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 115人 <修了者数> 115人</p>	<p>定員100人に対し、 115.0%</p>

3	法定資格取得に関する研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター
令和5年度事業計画		事業実施概要等	具体的成果等	
		<p>更新研修-2 〈期 日〉 令和5年7月7日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 116人 〈修了者数〉 116人</p> <p>更新研修-3 〈期 日〉 令和5年7月19日(水) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 113人 〈修了者数〉 108人</p> <p>更新研修-4 〈期 日〉 令和5年8月1日(火) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 110人 〈修了者数〉 105人</p> <p>更新研修-5 〈期 日〉 令和5年8月18日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 72人 〈修了者数〉 70人</p> <p>更新研修-6 〈期 日〉 令和6年2月28日(水) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 96人 〈修了者数〉 93人</p>	<p>定員100人に対し、116.0%</p> <p>定員100人に対し、108.0%</p> <p>定員100人に対し、105.0%</p> <p>定員100人に対し、70.0%</p> <p>定員40人に対し、232.5%</p>	
<p>ウ 強度行動障害支援者養成研修 (10日間) (7)基礎研修(2日間×3回)</p>		<p>(7)基礎研修-A 〈期 日〉 令和5年11月16日(木)~17日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 116人 〈修了者数〉 107人</p>	<p>定員100人に対し、107.0%</p>	

	<p>基礎研修-B <期 日> 令和5年12月7日(木)～8日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 115人 <修了者数> 107人</p> <p>基礎研修-C <期 日> 令和5年12月14日(木)～15日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 113人 <修了者数> 105人</p>	<p>定員100人に対し、107.0%</p> <p>定員100人に対し、105.0%</p>								
<p>(4) 実践研修 (2日間×2回)</p>	<p>(4) 実践研修 (共通講義) <期 日> 令和6年1月14日(日)～20日(土) <手 法> オンラインマインド配信</p> <p>実践研修-D (演習) <期 日> 令和6年2月1日(木)～2日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 133人 <修了者数> 116人</p> <p>実践研修-E (演習) <期 日> 令和6年2月8日(木)～9日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 131人 <修了者数> 115人</p>	<p>定員120人に対し、96.7%</p> <p>定員120人に対し、95.8%</p>								
<p>(6) 福祉用具専門相談員養成研修 ア 研修期間 令和5年5月～6月 イ 研修時間 51時間(延べ8日間) ウ 定員 30人 エ その他 研修修了者は福祉用具専門相談員の資格取得</p>	<p>介護保険法で定められた福祉用具販売・貸与事業所で勤務するための研修会 めに必要な「福祉用具専門相談員」の資格を取得するための研修会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="1066 734 1310 1615"> <thead> <tr> <th>実 施 日</th> <th>定 員</th> <th>修 了 者 数</th> <th>講 座 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年 5月20, 21, 27, 28日 6月 3, 4, 10, 11日 (8日間 51時間)</td> <td>30人</td> <td>17人</td> <td>福祉用具の役割, 職業倫理, 介護保険制度等の考え方と 仕組み, からだとこころの 理解, 福祉用具の特徴など</td> </tr> </tbody> </table>	実 施 日	定 員	修 了 者 数	講 座 内 容	令和5年 5月20, 21, 27, 28日 6月 3, 4, 10, 11日 (8日間 51時間)	30人	17人	福祉用具の役割, 職業倫理, 介護保険制度等の考え方と 仕組み, からだとこころの 理解, 福祉用具の特徴など	<p>福祉用具専門相談員17人を養成することができた。</p> <p>修了者数 定員に比べ13人減 前年度より 2人減</p>
実 施 日	定 員	修 了 者 数	講 座 内 容							
令和5年 5月20, 21, 27, 28日 6月 3, 4, 10, 11日 (8日間 51時間)	30人	17人	福祉用具の役割, 職業倫理, 介護保険制度等の考え方と 仕組み, からだとこころの 理解, 福祉用具の特徴など							
<p>(7) 教員免許介護等体験受入調整 事業 (対象学生予定数: 530人)</p>	<p>小学校及び中学校の教諭の免許状を取得しようとする大学等入学者に対する介護等体験の社会福祉施設への受入調整を行った。</p>	<p>教員免許取得志望者の資質向上及び学校教育の充実に寄与できた。</p>								

3	<p>法定資格取得に関する研修の実施</p>	<p>福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター</p>	<p>所管部署</p>																																								
<p>令和5年度事業計画</p>		<p>事業実施概要等</p>																																									
<p>令和5年度事業計画</p>		<p>①介護等体験申込者数 584人 前年度より55人増 ②介護等体験終了者数 前年度より41人増</p>																																									
4	<p>介護実習・普及センターの運営</p>	<p>介護実習・普及センター</p>																																									
<p>(1) 介護に関する情報収集・提供 ア 図書・ビデオ等の貸出</p>		<p>① 貸出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書</td> <td></td> <td>24冊</td> <td>31冊</td> <td>△7冊</td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td></td> <td>0本</td> <td>0本</td> <td>0本</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td></td> <td>16本</td> <td>6本</td> <td>10本</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度まで</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書</td> <td></td> <td>14冊</td> <td>609冊</td> <td>623冊</td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td></td> <td>0本</td> <td>79本</td> <td>79本</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td></td> <td>2本</td> <td>143本</td> <td>145本</td> </tr> </tbody> </table>		区分	年度	令和5年度	令和4年度	増減	図書		24冊	31冊	△7冊	ビデオ		0本	0本	0本	DVD		16本	6本	10本	区分	年度	令和5年度	令和4年度まで	計	図書		14冊	609冊	623冊	ビデオ		0本	79本	79本	DVD		2本	143本	145本
区分	年度	令和5年度	令和4年度	増減																																							
図書		24冊	31冊	△7冊																																							
ビデオ		0本	0本	0本																																							
DVD		16本	6本	10本																																							
区分	年度	令和5年度	令和4年度まで	計																																							
図書		14冊	609冊	623冊																																							
ビデオ		0本	79本	79本																																							
DVD		2本	143本	145本																																							
<p>イ パンフレットの配布</p>		<p>介護実習・普及センターの実施事業等の周知を図り、研修及び講座等への参加を募るため、15,000部のパンフレットを作成し、一般県民、介護施設及び県内関係機関等に配布した。</p>																																									
<p>ウ 全国会議及び九州ブロック会議への参加</p>		<p>① 全国福祉用具相談・研修機関協議会 ア 第1回総会 参加なし 〈期日〉 令和5年7月3日(月) 〈会場〉 リモート開催 イ 第2回総会及び全国会議 2名参加 〈期日〉 令和5年11月25日 〈会場〉 大阪市</p>																																									
<p>イ パンフレットの配布</p>		<p>パンフレットの配布により、介護実習・普及センター事業の周知が図られ、多くの県民の参加を得ることができた。</p>																																									
<p>ウ 全国会議及び九州ブロック会議への参加</p>		<p>福祉用具に関する新たな知識や九州各県等の情報を広く共有し、業務遂行に役立てることができた。</p>																																									

<p>ア やさしい介護教室 (6回・定員各30人)</p>	<p>② 九州ブロック介護実習・普及センター代表者及び担当者会議 2名参加 〈期 日〉 令和5年8月26日 (金) 〈会 場〉 リモート開催 ③ 国際福祉機器展 随時閲覧 〈期 日〉 令和5年8月28日～10月30日 〈会 場〉 Web開催</p>	<p>県民の介護に対する関心を高め、介護の知識や技術の普及促進につながった。</p> <p>参加者数 定員に比べ114人減 前年度と同数</p>												
<p>(2) 介護知識・技術の普及及び体験学習等 (一般県民向け)</p>	<p>家庭で介護を行っている家族や介護に関心のある県民に対し、専門家講師の指導による介護の基礎的な知識と介護方法の習得のための講座を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="523 734 1054 1615"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加定員</th> <th>参加者数</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〈前期〉 令和5年 6月22日 令和5年 7月25日 令和5年 8月22日</td> <td>30人 30人 30人</td> <td>14人 12人 7人</td> <td>・ 認知症って？ 認知症の理解、声かけ、接し方 ・ 不安解消！ 排泄用具の選び方、使い方 ・ これは助かる！ 福祉用具の選び方・使い方 ・ らくらく！ 寝返りから移乗までの介助法 ・ 基本を知ろう！ 衣服の着脱、歩行の介助方法 ・ ここに注意！ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>180人</td> <td>66人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	〈前期〉 令和5年 6月22日 令和5年 7月25日 令和5年 8月22日	30人 30人 30人	14人 12人 7人	・ 認知症って？ 認知症の理解、声かけ、接し方 ・ 不安解消！ 排泄用具の選び方、使い方 ・ これは助かる！ 福祉用具の選び方・使い方 ・ らくらく！ 寝返りから移乗までの介助法 ・ 基本を知ろう！ 衣服の着脱、歩行の介助方法 ・ ここに注意！ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法	計	180人	66人		<p>参加者数 定員に比べ45人減 前年度より26人増</p>
実施日	参加定員	参加者数	講座内容											
〈前期〉 令和5年 6月22日 令和5年 7月25日 令和5年 8月22日	30人 30人 30人	14人 12人 7人	・ 認知症って？ 認知症の理解、声かけ、接し方 ・ 不安解消！ 排泄用具の選び方、使い方 ・ これは助かる！ 福祉用具の選び方・使い方 ・ らくらく！ 寝返りから移乗までの介助法 ・ 基本を知ろう！ 衣服の着脱、歩行の介助方法 ・ ここに注意！ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法											
計	180人	66人												
<p>イ 地域介護講座 (4か所(回)・定員各30人) (鹿児島地区、始良・伊佐地区、大隅地区、奄美地区)</p>	<p>地域において介護技術の普及・啓発を図るため、県内4地区で専門家講師の指導による講座を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="1182 734 1449 1615"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加定員</th> <th>参加者数</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いちき串木野市 令和5年9月30日</td> <td>30人</td> <td>17人</td> <td>・ らくらく！ 寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗の介助方法</td> </tr> <tr> <td>霧島市 令和5年10月6日</td> <td>30人</td> <td>17人</td> <td>・ ここに注意！ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	いちき串木野市 令和5年9月30日	30人	17人	・ らくらく！ 寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗の介助方法	霧島市 令和5年10月6日	30人	17人	・ ここに注意！ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法	<p>参加者数 定員に比べ45人減 前年度より26人増</p>
実施日	参加定員	参加者数	講座内容											
いちき串木野市 令和5年9月30日	30人	17人	・ らくらく！ 寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗の介助方法											
霧島市 令和5年10月6日	30人	17人	・ ここに注意！ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法											

4 介護実習・普及センターの運営	所管部署	介護実習・普及センター												
令和5年度事業計画	<p style="text-align: center;">事業実施概要等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">志布志市 令和5年 8月2日</td> <td style="width: 25%;">30人</td> <td style="width: 25%;">20人</td> <td style="width: 25%;">これは助かる！福祉用具の 選び方、使い方</td> </tr> <tr> <td>知名町 令和5年 7月20日</td> <td>30人</td> <td>21人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>120人</td> <td>75人</td> <td></td> </tr> </table>	志布志市 令和5年 8月2日	30人	20人	これは助かる！福祉用具の 選び方、使い方	知名町 令和5年 7月20日	30人	21人		計	120人	75人		<p style="text-align: center;">具体的成果等</p>
志布志市 令和5年 8月2日		30人	20人	これは助かる！福祉用具の 選び方、使い方										
知名町 令和5年 7月20日	30人	21人												
計	120人	75人												
<p>ウ 快護生活フェス！福祉機器 展&セミナーinかごしま (1回)</p>	<p>「10月1日福祉用具の日」に関連して、高齢者や障がい者等の生活に役立つ福祉用具をもっと身近に感じてもらうためのイベントとして、「快護生活フェス！」を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">実施日</th> <th style="width: 30%;">参加者数</th> <th style="width: 40%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年3月22日 ～23日</td> <td style="text-align: center;">2,500人</td> <td>最新の福祉用具（機器）の展示や体験 ・介護相談等のイベントを開催した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※例年10月開催だが、かごしま国体等の開催時期と重なるため、3月に開催した。</p>	実施日	参加者数	内 容	令和6年3月22日 ～23日	2,500人	最新の福祉用具（機器）の展示や体験 ・介護相談等のイベントを開催した。	<p>多くの参加者があり、最新の福祉用具や介護知識・技術の普及啓発が図られ、「福祉用具の日」の周知に寄与できた。</p>						
実施日	参加者数	内 容												
令和6年3月22日 ～23日	2,500人	最新の福祉用具（機器）の展示や体験 ・介護相談等のイベントを開催した。												
<p>エ 福祉体験教室 (随時)</p>	<p>福祉用具実学、車いす体験及び高齢者疑似体験を通して、介護・福祉への理解を深めてもらうため体験教室を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">実施日</th> <th style="width: 15%;">R5年度</th> <th style="width: 15%;">R4年度</th> <th style="width: 15%;">増減</th> <th style="width: 15%;">実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td> <td style="text-align: center;">898人</td> <td style="text-align: center;">882人</td> <td style="text-align: center;">16人</td> <td style="text-align: center;">130回</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	R5年度	R4年度	増減	実施回数	通年	898人	882人	16人	130回	<p>生活に役立つ車いすなど福祉用具を広く知ってもらうことで、介護やバリアフリーについて理解を深めることにつながった。</p> <p>実施回数 前年度より30回減</p>		
実施日	R5年度	R4年度	増減	実施回数										
通年	898人	882人	16人	130回										
<p>オ 公立学校共済組合鹿兒島 支部介護講座 (5回)</p>	<p>公立学校共済組合からの委託を受け、教職員を対象に、専門家講師の指導による介護講座（基礎・技術コース）を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">実施日</th> <th style="width: 15%;">参加定員</th> <th style="width: 15%;">参加者数</th> <th style="width: 50%;">講 座 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年8月17日</td> <td style="text-align: center;">25人</td> <td style="text-align: center;">20人</td> <td>・介護の心得と福祉用具の選び方 ・認知症の理解と身体ケア ・感染症対策と排泄ケア ・食事の介助と口腔ケア</td> </tr> <tr> <td>令和5年8月18日</td> <td style="text-align: center;">25人</td> <td style="text-align: center;">22人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加定員	参加者数	講 座 内 容	令和5年8月17日	25人	20人	・介護の心得と福祉用具の選び方 ・認知症の理解と身体ケア ・感染症対策と排泄ケア ・食事の介助と口腔ケア	令和5年8月18日	25人	22人		<p>教職員やその家族への介護に関する知識・技術の普及・啓発が図られた。</p> <p>参加者数 定員に比べ49人減</p>
実施日	参加定員	参加者数	講 座 内 容											
令和5年8月17日	25人	20人	・介護の心得と福祉用具の選び方 ・認知症の理解と身体ケア ・感染症対策と排泄ケア ・食事の介助と口腔ケア											
令和5年8月18日	25人	22人												

	令和5年8月23日	25人	12人	・身体介助とポジショニングケア
	令和5年8月24日	25人	5人	
	令和5年8月25日	25人	17人	
	計	125人	76人	
(3) 介護専門職員向け研修 ア 介護レクリエーション研修 (2回・定員各30人)	社会福祉施設等の介護専門職を対象に、介護の基礎技術を確認し、さらなるスキルアップを図るための研修を開催した。			
	実施日	参加定員	参加者数	講座内容
	〈前期〉 令和5年 5月19日	30人	30人	・簡単な運動や創作を楽しむ 介護状態別レクリエーション
	〈後期〉 令和5年11月30日	30人	25人	
計	60人	55人		
イ 介護食調理教室 (2回・定員各25人)	介護専門職の介護技術向上を図ることにより、より良いサービス提供を行う人材育成に寄与した。			
	参加者数 定員に比べ5人減 前年度より8人増			
	実施日	参加定員	参加者数	講座内容
	〈前期〉 令和5年 7月 2日	25人	14人	・高齢者が食べやすく、栄養バランスの取れた調理方法、補助食品の紹介
〈後期〉 令和5年12月 3日	25人	11人		
計	50人	25人		
ウ 介護職の体リフレッシュ研修 (2回・定員各20人)	介護専門職の介護技術向上を図ることにより、より良いサービス提供を行う人材育成に寄与した。			
	参加者数 定員に比べ14人減 前年度より 3人減			
	実施日	参加定員	参加者数	講座内容
	〈前期〉 令和5年 5月30日	20人	10人	・介護職(自分の身体状態把握と自己改善を図るストレッチ)体操
〈後期〉 令和5年11月29日	20人	16人		
計	40人	26人		

4 介護実習・普及センターの運営	事業実施概要等				所管部署	介護実習・普及センター		
令和5年度事業計画		事業実施概要等				具体的成果等		
工 介護職基礎研修 (4回・定員各30人)	実施日	参加定員	参加者数	講座内容		参加者数	定員に比べ97人減 前年度より18人減	
	A：第1回 令和5年6月15日 令和5年6月16日	30人	6人	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の理解と介護の心得 身体や腰に負担をかけない起居、移乗、移動の介助方法 高齢者のための転倒予防体操、心身機能低下予防体操 身体状況に応じたおむつの選び方、あて方、交換方法 				参加者数
	A：第2回 令和5年9月21日 9月22日	30人	7人	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の選び方、使い方等 体位変換、ポジショニング方法 誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法 認知症疾患別の理解とケア、コミュニケーションのとり方 				
	計	120人	23人					
	(7) 口腔ケア							
	オ 介護職スキルアップ研修 (7) 口腔ケア							
	令和5年6月29日	30人	21人	<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの基礎知識と方法 拒否される方への対応等 口腔ケア体操 				
	令和5年12月7日	30人	24人					
	計	60人	45人					
	(4) 認知症ケア							

(イ) 認知症ケア (2回・定員各30人)	実施日	参加定員	参加者数	講座内容		参加者数	参加者数	定員に比べ9人減 前年度より7人減
				講座内容	講座内容			
(ウ) 体位変換・ポジショニング ケア (3回・定員各30人)	令和5年 5月31日	30人	27人	・認知症疾患別援助の方法 ・事例を通しての理解 (グループワーク)	・褥瘡の基礎知識 ・座位、寝姿勢別体位変換、 ポジショニング方法 ・車いすのシーティング方法	27人	27人	定員に比べ21人減 前年度より19人増
	令和5年 9月 2日	30人	24人					
	令和5年 11月24日	30人	24人					
	計	60人	51人					
(エ) 排泄ケアⅠ (2回・定員各20人)	令和5年 6月30日	30人	27人	・排泄やアセスメントについ ての基礎知識 ・おむつの選び方・あて方 ・福祉用具を使った排泄の 介助方法	・褥瘡の基礎知識 ・座位、寝姿勢別体位変換、 ポジショニング方法 ・車いすのシーティング方法	27人	27人	定員に比べ12人減 前年度より3人減
	令和5年 9月 2日	30人	24人					
	令和5年 11月 9日	20人	12人					
	計	40人	28人					
(オ) 排泄ケアⅡ (2回・定員各20人)	令和5年 6月21日	20人	16人	・身体状況に応じたおむつの 種類と選び方 ・おむつのあて方のポイント	・褥瘡の基礎知識 ・座位、寝姿勢別体位変換、 ポジショニング方法 ・車いすのシーティング方法	16人	16人	定員に比べ7人減 前年度より6人増
	令和5年 7月26日	20人	17人					
	令和5年 12月 6日	20人	16人					
	計	40人	33人					

4	介護実習・普及センターの運営	所管部署 介護実習・普及センター																										
事業実施概要等																												
令和5年度事業計画	<p>(ハ) 感染症予防対策と褥瘡ケア & 救急対応 (2回・定員各30人)</p> <table border="1" data-bbox="256 734 564 1610"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加定員</th> <th>参加者数</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年6月9日</td> <td>30人</td> <td>24人</td> <td rowspan="3">・褥瘡ケア、感染症の予防 対策・汚染物の処理方法</td> </tr> <tr> <td>令和5年11月10日</td> <td>30人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60人</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	参加定員	参加者数	講座内容	令和5年6月9日	30人	24人	・褥瘡ケア、感染症の予防 対策・汚染物の処理方法	令和5年11月10日	30人	24人	計	60人	48人												
実施日	参加定員	参加者数	講座内容																									
令和5年6月9日	30人	24人	・褥瘡ケア、感染症の予防 対策・汚染物の処理方法																									
令和5年11月10日	30人	24人																										
計	60人	48人																										
<p>カ 専門職団体等連携講座 (3回)</p>	<p>(ヒ) 感染症予防対策と褥瘡ケア & 救急対応</p> <p>各職能団体と連携し、地域における在宅介護や施設介護のリーダー育成を図るための講義や実技等の講座開催を支援した。</p> <table border="1" data-bbox="569 734 983 1610"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県言語聴覚士会</td> <td>令和5年5月14日</td> <td>リモート独自開催32人</td> </tr> <tr> <td>県理学療法士協会</td> <td>令和5年10月22日</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>県作業療法士協会</td> <td>令和6年2月4日</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>126人</td> </tr> </tbody> </table>		団体名	実施日	参加者数	県言語聴覚士会	令和5年5月14日	リモート独自開催32人	県理学療法士協会	令和5年10月22日	37人	県作業療法士協会	令和6年2月4日	57人	計		126人											
団体名	実施日	参加者数																										
県言語聴覚士会	令和5年5月14日	リモート独自開催32人																										
県理学療法士協会	令和5年10月22日	37人																										
県作業療法士協会	令和6年2月4日	57人																										
計		126人																										
<p>(4) 福祉用具・バリアフリー住宅の展示・相談、福祉用具の情報収集・提供等</p>	<p>専門職の知識・技術の向上につながった。</p>																											
<p>(4) 福祉用具・バリアフリー住宅の展示・相談、福祉用具の情報収集・提供等</p>	<p>県民への福祉用具・介護用品等への周知に寄与できた。</p> <table border="1" data-bbox="992 734 1386 1610"> <thead> <tr> <th rowspan="2">人数等</th> <th colspan="2">〔来所者数〕</th> </tr> <tr> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来所者数</td> <td>8,721人</td> <td>7,582人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>309日</td> <td>307日</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td>28人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,139人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>		人数等	〔来所者数〕		令和5年度	令和4年度	来所者数	8,721人	7,582人	開所日数	309日	307日	1日平均	28人	24人			増減			1,139人			2日			4人
人数等	〔来所者数〕																											
	令和5年度	令和4年度																										
来所者数	8,721人	7,582人																										
開所日数	309日	307日																										
1日平均	28人	24人																										
		増減																										
		1,139人																										
		2日																										
		4人																										

[相談件数]		(単位:件)		
相談内容	年度	令和5年度	令和4年度	増減
介護保険		370	377	△7
研修関係		962	511	451
移動機器		257	252	5
排泄		274	133	141
入浴		270	114	156
起居移乗		153	157	△4
資格		4	55	△51
住宅改修		271	250	21
障害福祉		80	164	△84
図書ビデオ		41	34	7
自具		119	114	5
介護食		52	174	△122
その他		1,042	1,559	△517
計		3,895	3,894	1
[展示数]		(単位:点)		
分類別	年度	令和5年度	令和4年度	増減
治療訓練用具		17	17	0
義肢・装具		0	0	0
ハ・リハビリ関連用具		248	253	△5
移動機器		148	145	3
家事用具		94	94	△1
家具・建具建築設備		40	45	△5

4	介護実習・普及センターの運営		介護実習・普及センター
令和5年度事業計画		事業実施概要等	
	コミュニケーション関連用具	17	16
	操作用具	16	16
	環境改善機器・作業用具	0	0
	レクリエーション用具	6	6
	その他	51	44
	計	637	636
		107社の福祉用具販売（貸与）事業所・メーカーによる使用貸借契約等による展示品	

Ⅲ 推進体制の充実・強化

Ⅲ-1 社会福祉施設・団体等の活動促進		総務部、地域福祉部 生活支援部
1	市町村社協経営基盤強化の促進	所管部署
令和5年度事業計画		具体的成果等
(1) 市町村社会福祉協議会会長及び事務局長会議の開催	<p>令和5年度の県社協の事業概要の説明を行う他、各部所から市町村社会福祉協議会への連絡事項等について説明を行った。</p> <p>〈期 日〉令和5年4月17日(月)</p> <p>〈会 場〉マリnpパレスかごしま</p> <p>〈内 容〉・令和5年度事業概要説明 ・県社協各部所連絡事項</p>	市町村社協へ県社協の事業に係る情報の提供及び連絡事項の説明を行ったことにより、市町村社協及び各部所の円滑な事業執行に資することができた。
(2) 市町村社協経営セミナーの開催(1回)	<p>県外の先駆的な社協活動の実践報告を参考に、県内市町村社協の今後の社協活動の展開につながるヒントを提供するため開催した。</p> <p>〈期 日〉令和5年4月17日(月)</p> <p>〈会 場〉マリnpパレスかごしま(オンライン併用)</p> <p>〈参加者数〉80人</p> <p>〈内 容〉</p> <p>講演 大垣市における持続可能な組織を目指した人材育成 講師 岐阜県大垣市社会福祉協議会 事務局長 大橋 奈麻輝 氏</p>	先進的な実践事例を直接学ぶことにより、社協経営の効率化に向けた意識の醸成が図られた。
(3) 制度改正等説明会(2回)	<p>市町村社協等に対し、制度改正の情報提供や対応について支援を行うため開催した。</p> <p>〈期 日〉令和6年3月12日(火)</p> <p>〈形 式〉オンライン(Zoom)</p> <p>〈参加者数〉108人</p> <p>〈内 容〉</p> <p>講 義:「地域共生社会」の実現に向けた重層的支援体制整備事業の活用について</p> <p>説 明Ⅰ:生活福祉資金特例貸付の取組について</p> <p>説 明Ⅱ:令和6年度介護報酬改定について</p> <p>説 明Ⅲ:令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について</p> <p>報 告:能登半島地震への対応状況等について</p> <p>説 明:買物弱者支援促進事業について</p>	社協活動に関連する法制度等の改正や、今後の社協活動のあり方について、必要な情報を提供することができた。

1	市町村社協経営基盤強化の促進	総務部，地域福祉部 生活支援部	所管部署
事業実施概要等			
(4) 市町村社協の経営に関する指導 及び助言	市町村社協からの役員会等の運営や規程関係の相談等に対し、適宜対応し、指導・助言を行った。	具体的成果等 社協の役員会等の運営や規程等について、必要な情報を提供することができた。 生活支援体制整備事業に取り組み市町村社協間の情報交換並びにネットワークの構築が図られ、今後の事業展開に資することができた。	
(5) 生活支援体制整備事業連絡会の開催（2回）	<p>①第1回 〈期 日〉 令和5年6月8日（水） 〈会 場〉 県社会福祉センター 別館 〈参加者数〉 23人 〈内 容〉 説明：県内の生活支援体制整備事業の状況について 情報交換：住民・協議体の様子を踏まえた本年度の活動について</p> <p>②第2回 〈期 日〉 令和6年3月15日（金） 〈形 式〉 オンライン（Zoom） 〈参加者数〉 25人 〈内 容〉 報告：校区コミュニティで行う高齢者への恩返しの仕事づくり 情報交換：地域の変化と評価、今後の活動展開について</p>		
(6) 生活困窮者自立支援事業市町村社協担当職員研修会（2回）	<p>生活困窮者自立支援事業を受託している社協を中心に、それぞれの取組状況を把握・共有し、効果的な相談支援業務を展開するため担当職員研修会を開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和6年2月26日(月) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 25人 〈内 容〉 実践報告「徳之島の居住支援の状況について」 グループワーク「どうする？今後のわが街の居住支援！」 講師：社会福祉法人南恵会 徳之島しごと・くらしサポートセンター センター長 有山さつ美 氏</p>	社協活動に関連する法制度等の改正や、今後の社協活動のあり方について、必要な情報を提供することができた。	
(7) 県市町村社会福祉協議会連絡協議会の運営 了 諸会議の開催	鹿兒島市町村社会福祉協議会会則に基づき、県内市町村社会福祉協議会相互間の連携を強め、組織の強化と活動の充実を図り、地域福祉の増進に寄与することを目的とする市町村社協連		

<p>イ 研修会の開催 ウ 調査研究事業の実施</p>	<p>協の事務局を担い、総会、常任委員会、監事会の諸会議、各種研修会の開催、調査研究事業を行った。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 総会（1回） ② 常任委員会（2回） ③ 監事会（1回） イ 研修会の開催（5回） ① 総会時研修会 ② 市町村社協管理職員等研修会 ③ 市町村社協会計職員等研修会 ④ 市町村社協事業継続計画（BCP）策定支援研修会 ⑤ 市町村社協職員研修会 ウ 調査研究事業の実施 研究テーマ「移動支援における社協の取組」 ① 小委員会の開催（5回） ② 「社協が関わる移動支援の取組における実践レポート」の作成</p>	<p>られるとともに、県内の市町村社協間の連携並びに組織力の強化に寄与することができた。</p>																																																																																										
<p>2 社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整</p> <p>(1) 社会福祉施設経営相談・指導の実施 ア 個別相談及び集団指導の実施 福祉施設経営相談コーナーを設置し、専任職員及び兼任指導員による社会福祉施設経営上の各種相談に応じるとともに、役員を対象に相談会等を行う。 (ア) 相談コーナーの運営 (主に会計・税務相談)</p>	<p>専任指導員1人、兼任指導員1人を配置し相談に応じた。 (相談件数 46件) 〔相談内容別実績〕</p> <table border="1" data-bbox="1002 824 1417 1568"> <tr> <td>区分</td> <td>経営一般</td> <td>会計・税務</td> <td>入会・退会</td> <td>職員待遇</td> <td>安全管理</td> <td>衛生管理</td> <td>施設整備</td> <td>人材確保</td> <td>労働問題</td> <td>預り金</td> <td>地域交流</td> <td>定款管理</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>訪問相談</td> <td></td> <td>12</td> <td></td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>来所相談</td> <td></td> <td>32</td> <td></td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>電話・支書</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>集団指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1</td> <td>44</td> <td></td> <td>1</td> <td>46</td> </tr> </table>	区分	経営一般	会計・税務	入会・退会	職員待遇	安全管理	衛生管理	施設整備	人材確保	労働問題	預り金	地域交流	定款管理	その他	合計	訪問相談		12											1	13	来所相談		32												33	電話・支書	1														集団指導															計	1	44											1	46	<p>所管部署 総務部, 地域福祉部長寿社会推進部</p> <p>公認会計士・税理士を配置し、専門的な指導・助言により県下の社会福祉施設等の健全な運営に寄与できた。 ① 相談内容は、会計・税務に関するものが46件であった。 ② 施設別では、障害者支援福祉施設11件、老人福祉施設9件、児童福祉施設3件、その他の施設等(市町村社協)6件、法人本部17件となっている。</p>
区分	経営一般	会計・税務	入会・退会	職員待遇	安全管理	衛生管理	施設整備	人材確保	労働問題	預り金	地域交流	定款管理	その他	合計																																																																														
訪問相談		12											1	13																																																																														
来所相談		32												33																																																																														
電話・支書	1																																																																																											
集団指導																																																																																												
計	1	44											1	46																																																																														

2 社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整		総務部, 地域福祉部 長寿社会推進部	所管部署																																								
令和5年度事業計画		具体的成果等																																									
イ	福祉施設経営指導連絡協議会の開催	円滑かつ効果的な事業推進を図るため、県・市の行政関係職員及び福祉団体役員で構成する経営指導連絡協議会を開催した。 (1) 開催日：令和5年5月8日(月) (2) 会場：県社会福祉センター (3) 出席者：県・市福祉関係課長、県経営協正副会長等12人のうち12人出席	経営指導事業を推進するに当たり、情報収集及び関係行政機関・福祉団体との意見交換が図られた。																																								
ウ	社会福祉法人会計研修の実施	① 第1回会計研修 [令和5年 7月 7日(金), 参加者数：117人] ② 第2回会計研修 [令和5年10月31日(火), 参加者数：92人] ③ 第3回会計研修 [令和6年 1月30日(火), 参加者数：90人]	社会福祉法人会計の間違えや正しい科目と仕訳など、基本的な会計や決算時の会計処理と計算書類の作成時のポイントなどに関する研修を実施し、適正な会計事務及び健全な施設経営に寄与した。																																								
ア	(2) すこやか基金による活動助成等 民間社会福祉活動等への助成 (14件)	すこやか基金の運用果実により、次の県内の新型コロナウイルス感染症拡大後の地域における住民の生活支援活動を行う民間社会福祉団体等やNPO法人に活動に必要な機器等の備品購入助成を行った。 [実績：14件 1,365,391円]	財政基盤の弱い福祉事業所への助成を通じて、活動支援に資することができた。																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業所名</th> <th>助成額(円)</th> <th>整備物品等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>みんなの食堂 暖家</td> <td>100,000</td> <td>炊飯器, 冷凍庫</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>細山田校区子ども食堂</td> <td>100,000</td> <td>冷凍庫</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>桜島子ども食堂</td> <td>100,000</td> <td>冷凍庫</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ひっくらはらいつぱ食堂</td> <td>91,200</td> <td>ホットカーペット, 掃除機 ファンヒーター</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>特定非営利活動法人 あいら子育て・地域支援情報局みちみち</td> <td>100,000</td> <td>iPad mini</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>汐見ちよこつとおたすけ隊</td> <td>100,000</td> <td>デジタルカメラ, 複合プリンター</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>特定非営利活動法人 命の歌を伝えていこう</td> <td>94,600</td> <td>PAシステム, スピーカースタンド</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>志布志子ども食堂</td> <td>97,000</td> <td>冷蔵庫</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>NPO法人がんじん・里づくり秋目ネット</td> <td>100,000</td> <td>洗濯機</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業所名	助成額(円)	整備物品等	1	みんなの食堂 暖家	100,000	炊飯器, 冷凍庫	2	細山田校区子ども食堂	100,000	冷凍庫	3	桜島子ども食堂	100,000	冷凍庫	4	ひっくらはらいつぱ食堂	91,200	ホットカーペット, 掃除機 ファンヒーター	5	特定非営利活動法人 あいら子育て・地域支援情報局みちみち	100,000	iPad mini	6	汐見ちよこつとおたすけ隊	100,000	デジタルカメラ, 複合プリンター	7	特定非営利活動法人 命の歌を伝えていこう	94,600	PAシステム, スピーカースタンド	8	志布志子ども食堂	97,000	冷蔵庫	9	NPO法人がんじん・里づくり秋目ネット	100,000	洗濯機
No.	事業所名	助成額(円)	整備物品等																																								
1	みんなの食堂 暖家	100,000	炊飯器, 冷凍庫																																								
2	細山田校区子ども食堂	100,000	冷凍庫																																								
3	桜島子ども食堂	100,000	冷凍庫																																								
4	ひっくらはらいつぱ食堂	91,200	ホットカーペット, 掃除機 ファンヒーター																																								
5	特定非営利活動法人 あいら子育て・地域支援情報局みちみち	100,000	iPad mini																																								
6	汐見ちよこつとおたすけ隊	100,000	デジタルカメラ, 複合プリンター																																								
7	特定非営利活動法人 命の歌を伝えていこう	94,600	PAシステム, スピーカースタンド																																								
8	志布志子ども食堂	97,000	冷蔵庫																																								
9	NPO法人がんじん・里づくり秋目ネット	100,000	洗濯機																																								

	<table border="1"> <tr> <td>10</td> <td>子どもロマン食堂</td> <td>82,591</td> <td>プリンター, 台車, ノートPC</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>子ども食堂マーガレット</td> <td>100,000</td> <td>ノートPC</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>なかす子ども食堂</td> <td>100,000</td> <td>冷蔵庫</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>一般社団法人グリーンテラス菜の花</td> <td>100,000</td> <td>冷蔵庫</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>垂水子どもみんな食堂</td> <td>100,000</td> <td>ノートPC</td> </tr> <tr> <td></td> <td>助成総額</td> <td>1,365,391</td> <td></td> </tr> </table>	10	子どもロマン食堂	82,591	プリンター, 台車, ノートPC	11	子ども食堂マーガレット	100,000	ノートPC	12	なかす子ども食堂	100,000	冷蔵庫	13	一般社団法人グリーンテラス菜の花	100,000	冷蔵庫	14	垂水子どもみんな食堂	100,000	ノートPC		助成総額	1,365,391	
10	子どもロマン食堂	82,591	プリンター, 台車, ノートPC																						
11	子ども食堂マーガレット	100,000	ノートPC																						
12	なかす子ども食堂	100,000	冷蔵庫																						
13	一般社団法人グリーンテラス菜の花	100,000	冷蔵庫																						
14	垂水子どもみんな食堂	100,000	ノートPC																						
	助成総額	1,365,391																							
<p>イ 福祉団体九州ブロック大会等 助成</p>	<p>福祉団体主催の全国・九州ブロック大会等へ助成を行った。</p> <p>(1) 〈大会〉 特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動がごしま大会 オープン協議 第25回九州ふうせんバレーボール交歓大会INかごしま 〈開催日〉 令和5年10月29日 〈助成額〉 100千円</p> <p>(2) 〈大会〉 鹿児島県における民生委員創設100周年記念「鹿児島県民生委員児童委員大会」 〈開催日〉 令和5年5月30日 〈助成額〉 100千円</p> <p>(3) 〈大会〉 特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動がごしま大会 オープン協議 電動車椅子サッカー 〈開催日〉 令和5年10月21日・22日 〈助成額〉 100千円</p>																								
<p>ウ シルバー文化作品展「寺園賞」等の贈呈</p> <p>(3) 民生委員児童委員との連絡調整及び支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会の開催 ウ 民生委員100周年記念事業の実施 エ その他必要な業務支援</p>	<p>すこやか基金の運用果実により、シルバー文化作品展入賞者へ記念品の贈呈を行った。 〈助成内容〉 寺園勝志賞・県社協会長賞 〈助成額〉 40,040円</p> <p>地域福祉の最前線で活動する民生委員児童委員を会員とする県民生委員児童委員協議会の事務局業務を一部担い、その発展と円滑な運営を図るとともに、諸会議や研修会等を実施した。また、鹿児島県における民生委員創設100周年を記念した事業を実施した。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 正副会長会 (5回) ② 理事会 (2回) ③ 監事監査 ④ 総会 ⑤ 専門委員会 (計8回) ⑥ 100周年記念事業実行委員会</p> <p>高齢者の創作活動への励みとなっており、高齢者の生きがいづくりにつながった。</p> <p>県内の民生委員児童委員で組織される「鹿児島県民生委員児童委員協議会」との連携が図られるとともに、民生委員児童委員の資質向上と活動の推進に寄与することができた。</p>																								

2	社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整	総務部, 地域福祉部長寿社会推進部
令和5年度事業計画	事業実施概要等	具体的成果等
イ 研修会の開催 ①会長・事務担当者研究協議会（参加者数：195人） ②副会長研究協議会（参加者数：144人） ③民生委員児童委員研修会（参加者数：115人・オンライン参加：26会場） ④児童委員研修会（参加者数：115人・オンライン参加：26会場）	ウ 民生委員100周年記念事業の実施 ①鹿児島県民生委員児童委員大会の開催 〈期 日〉令和5年5月30日(火) 〈会 場〉城山ホテル鹿児島 〈参加者〉民生委員・児童委員及び関係者（約2,000人） 〈内 容〉式典, パネルディスカッション, 大会宣言 等 ②住民等に向けた広報活動の充実 ・キャラクターの作成 ・公共交通機関等へのポスター掲示 ・鹿児島県庁におけるパネル展示 ③民生委員・児童委員活動の更なる活性化に向けた取り組み ・「鹿児島県 民生委員児童委員の活動の方針」の策定	
(4) 県社会福祉法人経営者協議会活動の支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会・セミナーの開催 ウ 社会福祉法人経営者大会の開催 エ 保育部会の運営 オ 青年経営者部会の運営 カ ごしまおもいやりネットワ キ 事業の運営 ク 広報及び関係団体との連絡調整	ア 諸会議の開催 ①総会 ②監事会・新旧役員会 ③協議員会（2回） ④正副会長会（2回） ⑤研修・広報部会（3回） イ 研修会・セミナーの開催 ①総会時研修	県内の社会福祉施設法人経営者で組織される「鹿児島県社会福祉法人経営者協議会」との連携が図られるとともに、社会福祉法人の存在価値の向上と育成に寄与することができた。

<p>(5) 県社会就労センター協議会の業務支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会の開催 ウ ナイスハートバザールの開催 エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整</p>	<p>② 経営協セミナー (2回) ③ 社会福祉法人会計研修 (3回) ④ 制度改正対応等研修 ウ 鹿児島県社会福祉法人経営者大会 エ 保育部会の運営 ① 保育部会 (2回) ② 保育部会研修 オ 青年経営者部会の運営 ① 役員会 (3回) ② 定期総会 (2回) ③ 研修会 (3回) ④ 研修企画会議 (3回) カ かもしまおもいやりネットワーク事業の運営 総合生活支援相談件数：157件 現物給付支援件数：197件 現物給付支援金額：5,115,212円 ① 監事会・総会 ② 運営委員会 (3回) ③ 事業部会 (3回) ④ ワーキング部会 (2回) ⑤ 相談員・コミュニティワーカー研修会 (1回) キ 広報及び関係団体との連絡調整 ① 会報誌「共生」の発行 (3回) ② 非会員法人への各研修会等の参加案内</p>	
	<p>鹿児島県社会就労センター協議会規約に基づき、障害者の生産活動及び障害福祉サービス事業の進展等を図ることにより、障害者の福祉に寄与することを目的とする県セルブ協の事務局を担い、施設長会、三役会、理事会、監事会、委員会、研修会、ナイスハートバザールの開催等を行った。 ア 諸会議の開催 ① 施設長会 (1回) ② 三役会 (5回) ③ 理事会 (4回) ④ 監事会 (1回) ⑤ 委員会 (2回) イ 研修会の開催 ① 九州社会就労センター研究大会 (1回、熊本市) ② 施設長・管理者等研修会 (2回)</p>	<p>県内の社会福祉法人が経営する社会就労センターで組織される「鹿児島県社会就労センター協議会」との連携が図られるとともに、障害者の生産活動及び障害福祉サービスの進展に寄与することができた。</p>

2	社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整	所管部署	総務部, 地域福祉部 長寿社会推進部
令和5年度事業計画		具体的成果等	
事業実施概要等			
<p>ウ 第35回ナイスハートバザールin鹿児島の開催 令和6年2月21日(水)～27日(火)の7日間、16事業所が参加して、山形屋6階南催場及び2号館入口前イベント広場において展示販売を行い、多くの方々のご来場を頂いた。</p> <p>エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整</p> <p>オ 全国・九社連社会就労センター協議会の会議・研修会の案内及び参加を行うと共に、県経営協と連携して福祉政策に関する知事、自由民主党鹿児島県支部連合会への要望書提出等の活動を行った。</p>	<p>イ 鹿児島県母子生活支援施設協議会会則に基づき、社会的養護を担う施設の中で唯一母と子が共に生活しながら支援を受けることができ、児童福祉施設の充実と会員施設職員の一層の資質向上を図ることを目的とする県母施協の事務局を担い、諸会議及び研修会等を開催した。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 理事会 (3回) ② 監事会 (1回)</p> <p>イ 施設職員研修会の開催 (1回)</p> <p>ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整を図った。</p>	<p>イ 県母子生活支援施設協議会の業務支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会の開催 ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整</p>	<p>県内の母子生活支援施設で組織される「鹿児島県母子生活支援施設協議会」との連携を図られるとともに、母子生活支援施設の充実と資質向上に寄与することができた。</p>
<p>ウ 第35回ナイスハートバザールin鹿児島の開催 令和6年2月21日(水)～27日(火)の7日間、16事業所が参加して、山形屋6階南催場及び2号館入口前イベント広場において展示販売を行い、多くの方々のご来場を頂いた。</p> <p>エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整</p> <p>オ 全国・九社連社会就労センター協議会の会議・研修会の案内及び参加を行うと共に、県経営協と連携して福祉政策に関する知事、自由民主党鹿児島県支部連合会への要望書提出等の活動を行った。</p>	<p>イ 鹿児島県母子生活支援施設協議会会則に基づき、社会的養護を担う施設の中で唯一母と子が共に生活しながら支援を受けることができ、児童福祉施設の充実と会員施設職員の一層の資質向上を図ることを目的とする県母施協の事務局を担い、諸会議及び研修会等を開催した。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 理事会 (3回) ② 監事会 (1回)</p> <p>イ 施設職員研修会の開催 (1回)</p> <p>ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整を図った。</p>	<p>イ 県母子生活支援施設協議会の業務支援 ア 諸会議の開催 イ 「小さな親切」作文コンクールの実施 ウ 「小さな親切」手のひら感謝状コンクールの実施 エ 「小さな親切」実行草の推薦・表彰 オ 「小さな親切」運動実践推進協力校の指定</p>	<p>「小さな親切」の心を育てる実践活動を推進することにより、思いやりあふれる温かな社会環境作りに寄与することができた。</p>
<p>ウ 第35回ナイスハートバザールin鹿児島の開催 令和6年2月21日(水)～27日(火)の7日間、16事業所が参加して、山形屋6階南催場及び2号館入口前イベント広場において展示販売を行い、多くの方々のご来場を頂いた。</p> <p>エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整</p> <p>オ 全国・九社連社会就労センター協議会の会議・研修会の案内及び参加を行うと共に、県経営協と連携して福祉政策に関する知事、自由民主党鹿児島県支部連合会への要望書提出等の活動を行った。</p>	<p>イ 鹿児島県母子生活支援施設協議会会則に基づき、社会的養護を担う施設の中で唯一母と子が共に生活しながら支援を受けることができ、児童福祉施設の充実と会員施設職員の一層の資質向上を図ることを目的とする県母施協の事務局を担い、諸会議及び研修会等を開催した。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 理事会 (3回) ② 監事会 (1回)</p> <p>イ 施設職員研修会の開催 (1回)</p> <p>ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整を図った。</p>	<p>イ 県母子生活支援施設協議会の業務支援 ア 諸会議の開催 イ 「小さな親切」作文コンクールの実施 ウ 「小さな親切」手のひら感謝状コンクールの実施 エ 「小さな親切」実行草の推薦・表彰 オ 「小さな親切」運動実践推進協力校の指定</p>	<p>「小さな親切」の心を育てる実践活動を推進することにより、思いやりあふれる温かな社会環境作りに寄与することができた。</p>
<p>ウ 第35回ナイスハートバザールin鹿児島の開催 令和6年2月21日(水)～27日(火)の7日間、16事業所が参加して、山形屋6階南催場及び2号館入口前イベント広場において展示販売を行い、多くの方々のご来場を頂いた。</p> <p>エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整</p> <p>オ 全国・九社連社会就労センター協議会の会議・研修会の案内及び参加を行うと共に、県経営協と連携して福祉政策に関する知事、自由民主党鹿児島県支部連合会への要望書提出等の活動を行った。</p>	<p>イ 鹿児島県母子生活支援施設協議会会則に基づき、社会的養護を担う施設の中で唯一母と子が共に生活しながら支援を受けることができ、児童福祉施設の充実と会員施設職員の一層の資質向上を図ることを目的とする県母施協の事務局を担い、諸会議及び研修会等を開催した。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 理事会 (3回) ② 監事会 (1回)</p> <p>イ 施設職員研修会の開催 (1回)</p> <p>ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整を図った。</p>	<p>イ 県母子生活支援施設協議会の業務支援 ア 諸会議の開催 イ 「小さな親切」作文コンクールの実施 ウ 「小さな親切」手のひら感謝状コンクールの実施 エ 「小さな親切」実行草の推薦・表彰 オ 「小さな親切」運動実践推進協力校の指定</p>	<p>「小さな親切」の心を育てる実践活動を推進することにより、思いやりあふれる温かな社会環境作りに寄与することができた。</p>

<p>力 使用済み切手収集・寄贈 キ 中央本部との連携事業の実施及び連絡調整 ク 広報紙「小さな親切」運動県だよりの発行及び配布 その他、関係団体との連絡調整</p>	<p>キ 中央本部との連携事業の実施及び連絡調整 令和6年2月9日 事務局局長会議 ク 広報紙「小さな親切」運動県だよりの発行及び配布 令和6年2月13日 5,000部発行、 市町村、市町村社会福祉協議会、会員等に配付。</p>	<p>所管部署 総務部、地域福祉部</p>
<p>3 九州地区の地域福祉推進に係る連絡調整</p>		
<p>(1) ア 九社連事務局の運営 理事会の開催(1回：大分県) イ 九社連会長表彰の審査・決定 ウ 「九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づく幹事県社協として、九州ブロック幹事県社協としての連絡調整</p>	<p>理事会の開催 〈日 時〉 令和6年1月31日(水) 午後3時15分～ 〈場 所〉 ホテル日航大分オアシスタワー イ 九社連会長表彰の審査・決定 1,250人 ウ 「九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づき、幹事県社協として、九州ブロックの派遣調整を行った。 ア 久留米市豪雨災害派遣 イ 令和5年7月～8月 延べ408人派遣 能登半島地震災害派遣 令和6年2月～3月 延べ155人派遣 イ 九社連幹事県として、随時、全社協や応援派遣社協との連絡調整を行った。</p>	<p>九社連事務局及び九社連地域福祉委員会の事務局を担うことにより、九州地区の社協の現状を正確に把握することができた。</p>
<p>(2) 九社連地域福祉委員会事務局の運営 ア 九社連地域福祉委員会の開催 第1回九社連地域福祉委員会 ・期日：令和5年4月26日(水) ・場所：鹿児島市内 (4) 第2回九社連地域福祉委員会 ・期日：令和6年1月16日(火)(予定) ・場所：鹿児島市内 イ 全社協地域福祉推進委員会との連絡調整</p>	<p>九州社会福祉協議会地域福祉委員会規程に基づき、九州地区における各社協の連携強化と活動の充実を図り、もって地域福祉の推進することを目的とする九州ブロック地域福祉協議会(鹿児島大会)を開催した。 ① 第1回九社連地域福祉委員会 〈期 日〉 令和5年4月26日(水) 〈会 場〉 ホテルマイステイズ鹿児島天文館 〈参加者〉 地域福祉委員会及び九州各県・指定都市社協担当者等 〈内 容〉 令和4年度事業報告(案)及び収支決算(案)について、役員改選、令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、その他、実践報告、情報交換</p>	<p>九州社会福祉協議会地域福祉委員会規程に基づき、九州地区における各社協の連携強化と活動の充実を図り、もって地域福祉の推進することを目的とする九州ブロック地域福祉協議会(鹿児島大会)を開催した。</p>

九州地区の地域福祉推進に係る連絡調整		所管部署	総務部、地域福祉部
令和5年度事業計画		具体的成果等	
(3) 九州ブロック地域福祉研究会 議の開催 ・期日：令和6年1月17日(水)～ 18日(木)2日間 ・場所：鹿児島市内	② 全社協地域福祉推進委員会との連絡調整 ③ 令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会) 令和6年1月17日(水)～18日(木) 鹿児島サンロイヤルホテル 九州各県・指定都市社協役員等地域福祉関係団体等 342名 開会式典・基調報告・分科会・施策の動向・記念講演		
(4) 九州各県・指定都市社協業務部 課長会議の開催 ・期日：令和5年4月27日(木) ・場所：鹿児島市内	④ 九州各県・指定都市社協業務部課長会議 令和5年4月27日(木) ホテルマイステイズ鹿児島天文館 九州各県・指定都市社協地域福祉担当部課長等 提出議題に対する質疑応答、意見交換等		
Ⅱ-2 法人運営の機能強化			
1 組織体制・財政基盤の強化		所管部署	総務部
(1) 役員会等の開催 ア 理事会の開催(3回)	① 第217回理事会(令和5年度第1回) 〈日時〉令和5年5月26日(金)午後1時30分～ 〈場所〉鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上程議案〉 令和4年度事業報告について 令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計決算に ついて 理事候補者の選定について 評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会 の開催について 令和5年度定時評議員会の招集について 会計監査人の報酬について 会計監査人の報酬について 令和4年度福祉サービス運営適正化委員会業務 報告第1号 報告第2号	本会の経営に重要な事業計画、 予算、役員等改選及び諸規程等 改正の審議のため、適宜理事会 ・評議員会を開催し、効率的か つ適正・確実な法人経営が図ら れた。	

	<p>② 第218回理事会（令和5年度第2回） 〈日 時〉 令和5年6月13日(火) 午後1時30分～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上 程 議 案〉 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について 第2号議案 評議員選任・解任委員会の選任について 第3号議案 理事候補者の選定について 第4号議案 評議員会の決議の省略について</p> <p>③ 第219回理事会（令和5年度第3回） 〈日 時〉 令和6年3月18日(月) 午後3時～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上 程 議 案〉 第1号議案 令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計資金 収支補正予算（案）について 第2号議案 令和6年度事業計画（案）について 第3号議案 令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計資金 収支予算（案）について 第4号議案 第196回評議員会の招集について 報告第1号 令和5年度生活福祉資金会計第1次資金収支補正 予算の件 専第2号 事務局規程の一部改正の件 専第3号 職員給与規程の一部改正の件 専第4号 職員就業規則及び職員給与規程の一部改正の件 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について</p>
<p>イ 評議員会の開催（2回）</p>	<p>① 第194回評議員会（定時評議員会） 〈日 時〉 令和5年6月13日(火) 午前10時～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上 程 議 案〉 第1号議案 令和4度事業報告について 第2号議案 令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計決算 について 第3号議案 理事及び監事の選任について</p> <p>② 第195回評議員会（書面決議） 〈日 時〉 令和5年6月27日(水) 〈上 程 議 案〉 第1号議案 理事1名の選任の件</p>

1 組織体制・財政基盤の強化	事業実施概要等	所管部署	総務部
令和5年度事業計画	<p>事業実施概要等</p> <p>③ 第196回評議員会（令和5年度第3回） 〈日時〉 令和6年3月25日(月) 午後1時30分～ 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上程議案〉 第1号議案 令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計資金 収支補正予算（案）について 第2号議案 令和6年度事業計画（案）について 第3号議案 令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計資金 収支予算（案）について</p>		<p>具体的成果等</p>
ウ 監事会の開催（1回）	<p>令和5年度第1回監事会 〈日時〉 令和5年5月19日(金) 午前10時30分～ 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 〈協議事項〉 ・ 会計監査人の報酬に関する同意について ・ 監事選任議案に関する同意について 〈監査事項〉 ・ 令和4年度事業実施報告、令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計決算について ・ 財務諸表及び証拠書類等の監査 ・ 監査結果の講評</p>		<p>当初の予定どおり令和4年度の監査を行い、適正に処理されていることが認められた。</p>
工 評議員選任・解任委員会の開催	<p>令和5年度第1回評議員選任・解任委員会 〈日時〉 令和5年5月26日(金) 午後4時～ 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 〈審議事項〉 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会評議員の選任について（4名辞任に伴う後任の選任）</p>		
(2) 会計監査人の設置	<p>経営組織のガバナンスの強化や財務規律の強化を図るため、会計監査人を設置し、会計監査人による監査を下記の日程で実施した。</p> <p>① 1回目：令和5年5月11日(木)、12日(金)、13日(土) ② 2回目：令和5年11月1日(水)、2日(木) ⑤ 3回目：令和6年3月5日(火)</p>		<p>会計監査人と連携して、内部管理体制の充実を図ることで、適正に業務を実施する体制を整備できた。</p>
(3) 組織体制の整備	<p>効率的な業務執行を行うため、組織体制を見直し、総務部所管の2階センター管理業務及び地域福祉部所管の4階施設福祉の業務を</p>		<p>別階で行っていた業務を部内に移動し、一体的に執り行うこ</p>

<p>(4) 自主財源の確保</p>	<p>それぞれの部内に移動し、一体的に業務を執り行うこととした。</p> <p>社会福祉に関する書籍等や帳簿類の販売・斡旋を行い、自主財源の確保に努めた。</p> <p>〈書籍等販売・斡旋〉 民生委員・社会福祉手帳 ボランティアTシャツ等 市町村社協帳簿用紙 介護体験ノート 地域見守りネットワーク冊子 全社協等外部発行図書 その他自動車保険の団体加入</p>	<p>とで、より効率的効果的な業務体制を執ることができた。</p> <p>書籍等販売・斡旋を通じて、社会福祉関係者等への福祉関連書籍等を円滑に提供できた。</p>
<p>2</p>	<p>職員の資質向上</p>	<p>所管部署</p> <p>総務部</p>
<p>(1) 新任職員研修会の開催 (2) 全社協等研修会への職員派遣 (3) その他</p>	<p>県社協職員として、必要とされる知識や能力の向上を図るため、新任職員研修会を実施した他、全社協等が実施する外部研修への職員派遣を行った。</p> <p>新任職員研修会 〈日時〉 令和5年4月5日(水) 午後1時30分～4時30分 令和5年4月6日(木) 午後1時30分～4時30分 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 大会議室 〈内容〉 ・1日目 ア 本会の概要 イ 事業計画及び予算の概要 ウ 職員の服務、給与、福利厚生、社会保険等 ・2日目 エ 会計について オ グループウェアについて</p>	<p>職員研修を充実させることにより、職員の資質向上に資することができた。</p>
<p>3</p>	<p>広報・情報発信の強化</p>	<p>所管部署</p> <p>総務部</p>
<p>(1) 広報委員会の開催 (2) 広報紙「ふくしのひろば」の発行 ア 発行回数：年4回</p>	<p>県民の関心と理解を深めるため、効率的な広報の在り方について協議するため広報委員会を開催した。</p> <p>県民の福祉への関心と理解を深めるため、広報紙「ふくしのひろば」を発行し、福祉関係情報を提供した。</p> <p>〈発行回数等〉 年3回 〈発行部数〉 各回13,700部（12ページ/1部あたり）</p>	<p>県民への効率的・効果的な情報発信に資することができた。</p> <p>当初の予定どおり定期的に発行し、福祉関係者のみならず幅広い県民への広報に資することができた。</p>

3 広報・情報発信の強化	事業実施概要等		総務部												
令和5年度事業計画			具体的成果等												
イ 発行部数: 13,700部/1回あたり	<p>〈配布先〉市町村,市町村社協,民生委員,社会福祉施設,小・中・高校,警察署,病院,金融機関ほか県内外関係機関・団体等</p> <p>本会ホームページを通して,実施事業等の案内,保健福祉に関する情報等の提供に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="384 734 523 1496"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5年度実績</th> <th>R4年度実績</th> <th>対前年度(件数)割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス件数</td> <td>73,581</td> <td>74,997</td> <td>△1,416</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>98.1%</td> </tr> </tbody> </table>			R5年度実績	R4年度実績	対前年度(件数)割合	アクセス件数	73,581	74,997	△1,416				98.1%	<p>福祉関係者を含む一般県民等幅広い閲覧者に対して,社協活動への理解促進につながった。</p>
	R5年度実績	R4年度実績	対前年度(件数)割合												
アクセス件数	73,581	74,997	△1,416												
			98.1%												
(3) 本会ホームページの運営 (URL http://www.kaken-shakyo.jp/)	<p>広報紙「ふくしのひろば」及びホームページのリニューアル</p>		<p>広報紙「ふくしのひろば」及びホームページをリニューアルしたことで,情報発信力の強化に資することができた。</p>												
(4) 広報紙「ふくしのひろば」及びホームページのリニューアル	<p>広報委員会を開催し,ホームページのリニューアルについて協議した他,令和5年度よりリニューアルを行った広報紙「ふくしのひろば」について,県民へ親しみのある情報発信に努めた。</p>		<p>情報発信へ適宜対応することによって,県民への広報に資することができた。</p>												
(5) SNS等の活用	<p>福祉関係者のみならず,幅広く県内外の方々に当会の活動に関する理解と関心を深めるため,県民へ親しみのある情報発信に努めた。</p> <p>フェイスブックによる情報発信回数:85回(月平均7回)</p>														
(6) 広報手法の職員研修会の開催	<p>福祉人材・研修センターが行っている福祉施設・事業所広報力アップSNS講座に参加した他,職員向けにリニューアルしたホームページの操作等説明会を行った。</p>														
4 社会福祉センターの整備,維持管理及び利用促進	維持管理及び利用促進		総務部												
(1) 県社会福祉センターの維持管理(緊急を要する修繕工事のほか,法令等に基づく設備等の更新・改修工事等を含む)	<p>民間社会福祉団体の活動拠点施設として,適切かつ効率的な管理運営に努め利用促進等を図った。</p> <p>① 法定による保守点検等の実施と届出「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく保守点検及び消防用設備等の必要な維持管理を行った。</p>		<p>経年劣化等に伴う不具合等については速やかに修繕を行うとともに,更新が必要な設備等の調査等を行うなど施設利用者等の利便性向上に寄与した。</p>												

	<p>② 施設整備（小規模補修は除く）</p> <p>(1) プロテイル屋外消火配管盛替工事</p> <p>(2) 1階駐輪場雨樋・天井補修工事</p> <p>(3) 別館下駐車場照明器具LED取替工事</p> <p>(4) 別館汚水水中ポンプ取替工事</p> <p>(5) 3階役員室他LEDランプ取替工事</p> <p>(6) 1階テナント出入口等漏水補修工事</p>																																															
<p>(2) 会議室、宿泊室の利用促進</p>	<p>本会ホームページの掲載内容直しのほか、来館者にリーフレットや「宿泊室のご案内」のチラシを配布するなど、会議室・宿泊室の利用促進を図った。</p> <p>なお、会議室及び宿泊室の利用状況は下表のとおり。</p> <p>〔会議室利用状況〕</p> <table border="1" data-bbox="635 421 774 1615"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">福祉関係</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>金額(円)</th> <th>回数</th> <th>金額(円)</th> <th>回数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>554</td> <td>3,955,510</td> <td>259</td> <td>3,119,870</td> <td>813</td> <td>7,075,380</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>517</td> <td>3,982,680</td> <td>286</td> <td>3,173,950</td> <td>803</td> <td>7,156,630</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔宿泊施設利用状況〕</p> <table border="1" data-bbox="815 952 954 1615"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">合計</th> <th colspan="2">対前年度</th> </tr> <tr> <th>人員</th> <th>金額</th> <th>人員比較</th> <th>金額比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>320</td> <td>919,400</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>536</td> <td>1,550,800</td> <td>167.5%</td> <td>168.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	福祉関係		一般		合計		回数	金額(円)	回数	金額(円)	回数	金額(円)	令和4年度	554	3,955,510	259	3,119,870	813	7,075,380	令和5年度	517	3,982,680	286	3,173,950	803	7,156,630	区分	合計		対前年度		人員	金額	人員比較	金額比較	令和4年度	320	919,400	—	—	令和5年度	536	1,550,800	167.5%	168.6%	<p>全会議室にインターネット環境を整備したことにより利用促進及び利便性向上に寄与した。</p>
区分	福祉関係		一般		合計																																											
	回数	金額(円)	回数	金額(円)	回数	金額(円)																																										
令和4年度	554	3,955,510	259	3,119,870	813	7,075,380																																										
令和5年度	517	3,982,680	286	3,173,950	803	7,156,630																																										
区分	合計		対前年度																																													
	人員	金額	人員比較	金額比較																																												
令和4年度	320	919,400	—	—																																												
令和5年度	536	1,550,800	167.5%	168.6%																																												
<p>(3) 省エネルギー対策の推進</p>	<p>① 休憩時間における照明の消灯やクールビズ・ウォームビズによる空調機器利用抑制等の省エネルギー対策を推進した。</p> <p>② 県社会福祉センター事務室内の照明器具をLED照明に改修するなど、消費電力の低減に努めた。</p>	<p>宿泊施設利用は長期滞在者の利用により増となった。</p> <p>ハードとソフト両面からの省エネルギー対策を推進することで、職員も省エネルギーについての意識が高まった。</p>																																														
<p>(4) そのほか入居団体との連絡調整等</p>	<p>県社会福祉センターにおける消防訓練（同時訓練）の実施など共通して取り組むべきこと及び県社会福祉センターの管理運営上協力が必要な事項や工事に伴うこと等について、随時入居団体と連絡調整を行った。</p>	<p>入居団体及び県青少年会館と連携することで、同一敷地内に勤務する全ての職員の防災意識等の向上や連携・協力体制の構築に資することができた。</p>																																														

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償
ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から補償(*)		
地震・噴火・津波による死傷		×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険)
 ホームページ

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
 なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 〈保険会社〉
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

保険期間 1年

① 基本補償(賠償・見舞費用)

▶ 保険金額

	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度
	傷害見舞費用	死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円
--------------	---	---

- ② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事 引受幹事 引受幹事〉
損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)